

一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事

図面リスト

意匠図									
A-01	改修特記仕様書(1)	A-11	立面図1	A-21	北舎屋外階段	A-31	屋内運動場矩計図2	A-41	建具表3【参考図】
A-02	改修特記仕様書(2)	A-12	立面図2	A-22	中舎矩計図1	A-32	屋内運動場屋外階段平面図・断面図	A-42	建具表4【参考図】
A-03	改修特記仕様書(3)	A-13	立面図3	A-23	中舎矩計図2	A-33	渡り廊下1矩計図	A-43	建具表5【参考図】
A-04	改修特記仕様書(4)	A-14	立面図4	A-24	中舎矩計図3	A-34	渡り廊下2矩計図	A-44	建具表6【参考図】
A-05	配置図・付近見取り図・仮設計画図	A-15	1階天井伏図	A-25	中舎屋外階段平面詳細図	A-35	1階建具位置図【参考図】	A-45	建具表7【参考図】
A-06	1階平面図・仮設計画図	A-16	2階天井伏図	A-26	中舎屋外階段断面図	A-36	2階建具位置図【参考図】		
A-07	2階平面図・仮設計画図	A-17	3階天井伏図	A-27	南舎矩計図1	A-37	3階建具位置図【参考図】		
A-08	3階平面図【参考図】	A-18	4階天井伏図	A-28	南舎矩計図2	A-38	4階建具位置図【参考図】		
A-09	4階平面図【参考図】	A-19	北舎矩計図1	A-29	南舎矩計図3	A-39	建具表1【参考図】		
A-10	P.H平面図【参考図】	A-20	北舎矩計図2	A-30	屋内運動場矩計図1	A-40	建具表2【参考図】		

2026.04		項目	特記事項
一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事 特記仕様書			
I 工事概要			
1. 工事場所	高知市一宮南町1丁目3番1号		
2. 工事種目	【北舎】 鉄筋コンクリート造 2階建て 延べ面積737.25㎡ 【中舎】 鉄筋コンクリート造 4階建て 延べ面積3,481.73㎡ 【南舎】 鉄筋コンクリート造 4階建て 延べ面積2,714.34㎡ 【屋内運動場】 鉄筋コンクリート造 2階建て 延べ面積1,765.48㎡ 【渡り廊下1】 鉄筋コンクリート造 4階建て 延べ面積439.48㎡ 【渡り廊下2】 鉄筋コンクリート造 平家建て 延べ面積108.00㎡ 1) 外壁改修 一式 2) 防水改修 一式		
3. 関連工事等	・電気設備工事 ・機械設備工事 ・ガス設備工事 ・昇降機設備工事 ・植栽工事 ・合併処理装置設置工事 ・外構工事 ○一宮中学校貯水槽更新工事 (令和8年7月から9月頃予定)		
4. 概成工期	完成期限の()日前 (令和 年 月 日)		
5. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項)	令和 年 月 日からは、全ての室内部分を使用する。		
II 建築工事仕様			
1. 特記仕様	1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の[]内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の< >内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。		
2. 適用基準等	図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通省(建設)大臣官房官営繕部監修の以下による。 ・公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ・公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ・建築工事標準詳細図 (令和4年版) ・敷地調査共通仕様書 (令和4年版) ・建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版)		
3. 「週休2日制工事」の実施について	※対象 ○選択-I型 ・選択-II型) 本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休工日の基本とする「週休2日制工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制工事」実施要領(営繕工事編)による。 (https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/syukyuhutsuka.html) ・対象外(理由:)		
4. 「猛暑による作業不能日数」の実施について	※対象 ○見込んでいない(理由: ※過去のWBGT値に基づき算定した日数が0日のため) ○見込んでいる(作業不能日数: ※現場説明書による) ・対象外(理由:)		
項目	特記事項		
一般共通事項			
① 工事実績情報サービス(CORINS)への登録(請負金額500万円以上)(受注、変更、完成時)	登録の手続きについては、(一財)日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリンズテクリス登録等に関する規約」による。 [1.1.4]		
2 総合工程表	原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。		
3 総合図	工事の施工に先立ち別契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の承諾を受ける。 [1.2.3]		
④ 工事日誌	週ごとに工事の全般的な経過及び次週の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。 [1.2.4] また、工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。		
⑤ 工事写真	工事写真は1版程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。(A4版台紙) [1.2.4] 撮影方法は、「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による。 デジタル工事写真の黒板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。 なお、実施については、国営建技第14号(令和5年3月1日付)「デジタル工事写真の黒板情報電子化について」による。		
⑥ 下請負者の報告	各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。		
7 電気保安技術者	適用する。 [1.3.3]		
⑧ 施工条件	施工日及び施工時間 ※1.3.5(1)(7)による。 [1.3.5] ・ 施工順序 ・ 図示 工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※ 仮囲い ・ 図示 その他の施工条件 ○資機材の搬入時には、専任の誘導員を配置する。その他の場合でも、工事関係車両(乗用車も含む)が敷地内を通行する際には必ず誘導するものをつけ、公道まで徐行する。 ○昼下校時間帯や休み時間等は車両の通行を中止する等必要な配慮をする。 ○図示(A-05、A-06、A-07)		
⑨ 交通誘導警備員	交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法(昭和47年法律第117号)第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させないこととする。ただし、一時的な作業等で、安全確保に対処できると監督職員が認めたものについては、この限りでないものとする。 配置人員等 ・ 令和 年 月 日から令和 年 月 日までの間は 名常駐する。 ・ 作業日は 名常駐する。その他監督職員と協議し、適宜配置する。 ○監督職員と協議し、適宜配置する。		

項目	特記事項									
⑩ 工事安全計画書	配置人員の資格 ・ 1名以上/1班は交通誘導警備業務に係る検定合格者(1級又は2級)を配置する工事。 ※ 交通誘導に関し、1名以上/1班は専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置する工事。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格</th> <th>資格要件</th> <th>配置人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1, 2級交通誘導警備員(交通誘導警備員A)</td> <td>交通誘導警備員に関して、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有すると認めたもの</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>交通誘導に関し、専門的な知識及び技能を有する警備員等(交通誘導警備員B)</td> <td>警備業法における指定講習を受講したもので、2条第1項第2号の警備業務を現に受けているもので、交通誘導に関する警備業務に従事した期間(実務経験年数)が1年以上であるもの</td> <td>110人</td> </tr> </tbody> </table> なお、事前に監督職員に検定合格証の写し等の資格要件の確認できる資料を提出する。また、警備員等に変更が生じた場合は、速やかに監督職員に同様の資料を提出する。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。 労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。	資格	資格要件	配置人数	1, 2級交通誘導警備員(交通誘導警備員A)	交通誘導警備員に関して、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有すると認めたもの	人	交通誘導に関し、専門的な知識及び技能を有する警備員等(交通誘導警備員B)	警備業法における指定講習を受講したもので、2条第1項第2号の警備業務を現に受けているもので、交通誘導に関する警備業務に従事した期間(実務経験年数)が1年以上であるもの	110人
資格	資格要件	配置人数								
1, 2級交通誘導警備員(交通誘導警備員A)	交通誘導警備員に関して、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有すると認めたもの	人								
交通誘導に関し、専門的な知識及び技能を有する警備員等(交通誘導警備員B)	警備業法における指定講習を受講したもので、2条第1項第2号の警備業務を現に受けているもので、交通誘導に関する警備業務に従事した期間(実務経験年数)が1年以上であるもの	110人								
⑪ 統括安全衛生管理義務者の指名	労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。									
⑫ 発生材の処理	産業廃棄物の運搬、処分等については、1.3.12により適切に処分するものとし、 [1.3.12] 事前に監督職員に処理計画書を提出する。 産業廃棄物の運搬、あるいは処分を他業者に委託する場合は、書面による委託契約を行い、処理計画書にその写しを添付する。 自己処分場で処分する場合は、その処分場が関係法令の規定に適合する旨の資料を提出し、監督職員の現地立会を受けたうえで承諾を得る。(積替・保管についても同様とする) 産業廃棄物の収集・運搬に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下廃棄物処理法という)施行令に基づく車両への表示及び書面の備え付けを行うこと。 また、産業廃棄物を搬出する車両について、処分場ごとに1台のみ写真撮影(現場搬出時及び処分場到着時)し、随時監督職員に報告する。 廃棄物処理法を遵守し、工期内に最終処分(埋立処分、海洋投入処分又は再生)を終了しなければならない。 また、産業廃棄物管理票(以下マニフェストという)により適正に処理されていることを確認するとともに、監督職員にそのE票の写しを提出する。 ただし、廃棄物処理法を遵守した上で、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合で、監督職員が認める場合においては、工期内に中間処理業者への搬入を終了すればよいものとする。この場合、マニフェストにより適正に中間処理業者へ搬入されていることを確認するとともに、監督職員にそのB2票の写しを提出する。また、最終処分終了後速やかにE票の写しを提出する。 なお、廃棄物処理法に定める電子情報処理組織を使用する場合は別途協議する。 ・ 引渡しを要するもの () ・ 現場再利用を図るもの () ○再資源化を図るもの (※コンクリート ※コンクリート及び鉄から成る建設資材 ※木材 ※アスファルトコンクリート)									
	特別管理産業廃棄物の施工計画調査 ※行う ・行わない 分析調査 ※施工計画調査の結果により、監督職員と協議する。 ・ 行う () ・行わない ()									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>PCBを含む機器類</th> <th>PCB含有シーリング材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 変圧器 コンデンサ 蛍光灯、HID灯具の安定器 その他() </td> <td></td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 廃油 廃酸 廃アルカリ 臭化リチウム水溶液 電池の溶解液 ダイオキシソ類 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	PCBを含む機器類	PCB含有シーリング材	<ul style="list-style-type: none"> 変圧器 コンデンサ 蛍光灯、HID灯具の安定器 その他() 		<ul style="list-style-type: none"> 廃油 廃酸 廃アルカリ 臭化リチウム水溶液 電池の溶解液 ダイオキシソ類 				
PCBを含む機器類	PCB含有シーリング材									
<ul style="list-style-type: none"> 変圧器 コンデンサ 蛍光灯、HID灯具の安定器 その他() 										
<ul style="list-style-type: none"> 廃油 廃酸 廃アルカリ 臭化リチウム水溶液 電池の溶解液 ダイオキシソ類 										
⑬ 再生資源利用(促進)計画書及び実施書の提出(請負金額100万円以上)	再生資源利用(促進)計画書及び実施書を、建設副産物情報交換システム(コプリス・プラス)により作成し、提出は以下による。 a) コプリス・プラスについては、建設副産物情報センターのホームページ(https://fkplus.jacic.or.jp)より、利用申請等を行うことができる。 b) 建設資材の利用量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式1)を、完成資料として監督職員に提出する。 c) 建設副産物の発生量及び搬出量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用促進計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式2)を、完成資料として監督職員に提出する。 d) 受注者は再生資源利用(促進)計画書(現場掲示用様式)を工事現場の見やすい場所に掲げること。 e) 受注者は作成したデータを含め、再生資源利用(促進)計画書及び実施書を工事完成後5年間保存する。									
⑭ 工事の保険	工事請負契約後、速やかに工事目的物、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する保険を締結する。保険期間は、工事着工のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。 ※ 金銭的保証方式 ・ 有 ○無									
⑮ 契約保証										
⑯ 前払金支出割合区分補正										
⑰ 証明書の提出(グリーン購入法)	「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」(グリーン購入法)及び「高知県グリーン購入基本方針及び実施計画」に基づき、重点調達品目については、積極的に利用すること。なお、重点調達品目の中で木材・木材製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に調する法律に照らして合法なものを使用する。 木材・木材製品等については、県産木材納入証明書、県外産合法木材納入証明書を監督職員に提出すること。 [1.4.2]									
⑱ 石綿含有建材の調査	事前調査の報告 一定規模以上の工事は労働基準監督署と高知市に報告が必要となる 事前調査範囲 ※ 改修範囲 [1.5.1] 貸与資料 ※ 有 (○既存の設計図書 ○石綿含有分析調査表) ・ 無									
	分析結果 【外部】リソ吹付、吹付材: 含有無し									
	分析調査 ※ 書面調査及び現地での目視調査の結果により、監督職員と協議する。 ・ 行う (調査建材使用部位 調査建材名 検体数) 分析方法 ※ 定性分析 定性分析の結果により、定量分析を行う場合は監督職員と協議する。									

項目	特記事項																																						
⑲ 施工数量調査	調査範囲 ○改修建物の外壁、軒天、バラベット [1.6.2] 調査方法 ※ 外部足場を使用した目視及び打診 破壊部分の補修方法 ※ 現状に復旧 外壁調査は、外壁改修フローに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。 また、その調査の結果を添付図等に記載し集計表を添えて電子データと共に、監督職員に報告する。(必要に応じ写真等を添付する)																																						
⑳ 技能士及び技能資格者	※ 適用する (○: 一級, ●: 二級) [1.7.2][1.7.3] <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種別</th> <th>技能検定の作業の種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○仮設工事</td> <td>※ ●とび作業(又は足場組立作業主任者)</td> </tr> <tr> <td>・鉄筋工事</td> <td>※ ○鉄筋組立て作業</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート工事</td> <td>・ ○コンクリート圧送工事作業 ・ ○型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td>・鉄骨工事</td> <td>※ ●とび作業</td> </tr> <tr> <td>・ブロック・ALCパネル工事</td> <td>・ ○コンクリートブロック工事作業 ・ (単一)エーエルシーパネル工事作業</td> </tr> <tr> <td>○防水工事</td> <td>・ ○アスファルト防水工事作業 ・ ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○合成ゴムシート防水工事作業 ・ ○塩化ビニルシート防水工事作業 ・ ○セメント系防水工事作業 ○○シーリング防水工事作業 ・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ ○FRP防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・石工事</td> <td>※ ○石張り作業</td> </tr> <tr> <td>・タイル工事</td> <td>※ ○タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>・木工事</td> <td>※ ○大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>・屋根及びびとい工事</td> <td>・ ○かわらぶき ・ ●スレート工事作業 ・ ○内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>・金属工事</td> <td>・ ○鋼製下地工事作業 ・ (単一)金属製バルコニー工事作業</td> </tr> <tr> <td>・左官工事</td> <td>※ ○左官作業</td> </tr> <tr> <td>・建具工事</td> <td>・ ○ビル用サッシ施工作業 ・ ○木製建具製作 ・ ○ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>・カーテンウォール工事</td> <td>※ ○金属製カーテンウォール工事作業</td> </tr> <tr> <td>・塗装工事</td> <td>※ ○建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>・内装工事</td> <td>・ ○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ ○壁装作業 ・ ●カーベット系床仕上げ工事作業 ・ ○畳製作作業 ・ ○ボード仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td>・植栽工事</td> <td>※ ○造園工事作業</td> </tr> <tr> <td>○その他</td> <td>○樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) 又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ・ ○家具手加工作業</td> </tr> </tbody> </table> 適用する技能士について、当該資格を有することが確認できる書類及び資格者が特定できる書類(運転免許証等)の写しを提出する。	工事種別	技能検定の作業の種別	○仮設工事	※ ●とび作業(又は足場組立作業主任者)	・鉄筋工事	※ ○鉄筋組立て作業	・コンクリート工事	・ ○コンクリート圧送工事作業 ・ ○型枠工事作業	・鉄骨工事	※ ●とび作業	・ブロック・ALCパネル工事	・ ○コンクリートブロック工事作業 ・ (単一)エーエルシーパネル工事作業	○防水工事	・ ○アスファルト防水工事作業 ・ ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○合成ゴムシート防水工事作業 ・ ○塩化ビニルシート防水工事作業 ・ ○セメント系防水工事作業 ○○シーリング防水工事作業 ・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ ○FRP防水工事作業	・石工事	※ ○石張り作業	・タイル工事	※ ○タイル張り作業	・木工事	※ ○大工工事作業	・屋根及びびとい工事	・ ○かわらぶき ・ ●スレート工事作業 ・ ○内外装板金作業	・金属工事	・ ○鋼製下地工事作業 ・ (単一)金属製バルコニー工事作業	・左官工事	※ ○左官作業	・建具工事	・ ○ビル用サッシ施工作業 ・ ○木製建具製作 ・ ○ガラス工事作業	・カーテンウォール工事	※ ○金属製カーテンウォール工事作業	・塗装工事	※ ○建築塗装作業	・内装工事	・ ○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ ○壁装作業 ・ ●カーベット系床仕上げ工事作業 ・ ○畳製作作業 ・ ○ボード仕上げ工事作業	・植栽工事	※ ○造園工事作業	○その他	○樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) 又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ・ ○家具手加工作業
工事種別	技能検定の作業の種別																																						
○仮設工事	※ ●とび作業(又は足場組立作業主任者)																																						
・鉄筋工事	※ ○鉄筋組立て作業																																						
・コンクリート工事	・ ○コンクリート圧送工事作業 ・ ○型枠工事作業																																						
・鉄骨工事	※ ●とび作業																																						
・ブロック・ALCパネル工事	・ ○コンクリートブロック工事作業 ・ (単一)エーエルシーパネル工事作業																																						
○防水工事	・ ○アスファルト防水工事作業 ・ ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○合成ゴムシート防水工事作業 ・ ○塩化ビニルシート防水工事作業 ・ ○セメント系防水工事作業 ○○シーリング防水工事作業 ・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ ○FRP防水工事作業																																						
・石工事	※ ○石張り作業																																						
・タイル工事	※ ○タイル張り作業																																						
・木工事	※ ○大工工事作業																																						
・屋根及びびとい工事	・ ○かわらぶき ・ ●スレート工事作業 ・ ○内外装板金作業																																						
・金属工事	・ ○鋼製下地工事作業 ・ (単一)金属製バルコニー工事作業																																						
・左官工事	※ ○左官作業																																						
・建具工事	・ ○ビル用サッシ施工作業 ・ ○木製建具製作 ・ ○ガラス工事作業																																						
・カーテンウォール工事	※ ○金属製カーテンウォール工事作業																																						
・塗装工事	※ ○建築塗装作業																																						
・内装工事	・ ○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ ○壁装作業 ・ ●カーベット系床仕上げ工事作業 ・ ○畳製作作業 ・ ○ボード仕上げ工事作業																																						
・植栽工事	※ ○造園工事作業																																						
○その他	○樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) 又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ・ ○家具手加工作業																																						
㉑ 化学物質の室内濃度の測定	化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、 [1.7.9] 報告書を監督職員に提出する。ただし、完成検査前に報告書の提出が困難な場合は、事前に信頼のおける速報等の資料を監督職員に提出する。この場合、後日に正式な報告書を送速に監督職員に提出しなければならない。 測定する業者の選定にあたっては、あらかじめ監督職員に報告すること。 測定方法 ※ 厚生労働省「室内空気中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について」による。 測定対象化学物質 ※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キシレン ※エチルベンゼン ※スチレン ※パラジクロロベンゼン 測定箇所 ()箇所 施工前・施工後(計 回測定) 測定対象室 () なお、測定結果が厚生労働省の定める指針値を超えている場合は、原則として本工事の引き渡しを行わないこととする。ただし、次のいずれかに該当する場合は除く。 1 何らかの対策が施された結果、揮発性有機化合物の濃度が厚生労働省の定める指針値以下となったことが確認された場合。 2 濃度測定の結果が、本工事の施工により生じたものでないことが明確である場合。 3 濃度測定が、使用開始後(備品の搬入等を含む)に行われた場合。 本工事の引き渡し後、あるいは、使用開始後に室内の揮発性有機化合物(VOC)の濃度測定が行われ、測定結果が厚生労働省の指針値を超えている場合については、受注者は、工事引き渡し後であっても、その原因究明に当たって協力しなければならない。 また、本工事の施工が原因となって、化学物質の濃度が厚生労働省の定める指針値を超えたものであることが判明した場合は、受注者の負担により、その対策を講じなければならない。																																						
㉒ 直接仮設の養生	内部養生に合板又は構造用パネルを使用する場合、その合板または構造用パネルのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆、又はそれと同等と認められる製品を使用する。																																						
㉓ 建築材料等	本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。(記載順序は不同)また、「評価名簿による」と特記されたものについては、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」によるもの、又は評価の内容についてこれらと同等と認められるものとする。 ただし、同等とする場合は、監督職員の承諾を受ける。																																						
㉔ 特別な材料の工法	県内産資材の優先使用 本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督職員の確認を受けること。 注1: 県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。 ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたものとする。 注2: 県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。																																						
㉕ 風圧力	公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員に承諾を受けて当該材料製造所の指定する工法による。 本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したのとし、速度圧を求める場合の風速(Vo)及び地面粗土区分は、次の数値とする。 風速(Vo): ※ 38m/sec ・ 36m/sec 地面粗土区分: ※ III ・ II																																						
㉖ 仕上面の出隅処理	内外部とも仕上出隅で利用者の手の届く範囲は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。 木部(家具を含む) 6mm程度 コンクリート、モルタル部 20mm程度 鉄部、金属部 3mm程度 建具類等、上記により難い場合は、監督職員と協議する。																																						

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名 一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事 係 和 田 係長 齋 田 課長補佐 濱 口 課長 松 木 図面番号 A-01
図面名 改修特記仕様書(1)		2026.04 縮 尺 1 / 作 図 令和8年 2月 日

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
27 事業損失補償	※現場説明書による。	5 監督職員の備品等	備品等の設置 [2.4.1] 備品の種類 机・椅子 書棚 黒板 PC 掛時計 数量 組 台 台 台 台 備品の種類 温度計 ゴム長靴 雨がっぱ 保護帽 懐中電灯 数量 個 足 着 個 個 備品の種類 衣類ロッカー 冷暖房機器 消火器 湯沸器 加入電話付扇器 数量 人用 台 個 台 台 備品の種類 掃除具 数量 個	5 シーリング	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4~3.7.7][表3.1.2] ・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ポンドブローカー張り ・エッジング材張り ・適用する ・適用する シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.2][表3.7.1] ※下表による(下表以外は表3.7.1による) 種類(記号) 主成分による区分 施工箇所 ・SR-1 シリコン系 ・SR-2 シリコン系 ・MS-2 変成シリコン系 建具廻り、防水端部押え ・PS-2 ポリサルファイド系 上記以外 ・PU-2 ポリウレタン系 ・ 仕上げを行わない箇所 () [表3.7.1] シーリング材の目地寸法 [3.7.3] 箇所 打継ぎ/ひび割れ誘発目地 ガラス回りの目地 左記以外の目地 幅(mm) ※20以上 ※幅及び深さ5以上[5.13] ※10以上 深さ(mm) ※10以上 ※10以上 ※10以上 接着性試験 [3.7.8] ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 材料 [3.8.2][表3.8.1] 材種 寸法 施工箇所 ・硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ※たてどい ・硬質ポリ塩化ビニル管カラー(カラーVP) φ100 ※たてどい ・硬質塩化ビニル雨どい φ100半割 ※軒どい たてどい とくい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔 [3.8.2] 材種: ※ステンレス製 ・溶融亜鉛めっき その他: ※表3.8.2による 防露材のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆ 既存のとくいその他の撤去 ※図示 降雨等に対する養生方法 ※監督職員と協議による 図示 鋼管製とくい防露巻き ※表3.8.4による たてどい受金物の取付け 図示 ルーフトレンの取付け ・水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する。 受注者、施工者、材料製造所連名による 10年保証(完成届提出日より15日後から) JIS K 5675 (屋根用高日射反射率塗料) に適合するもの、または、グリーン購入法の高日射反射率防水に適合する保護塗料とする。
28 完成時の提出図書	完成図(作成範囲・配置図・平面図・立面図・断面図) [1.9.1][1.9.2] ・完成図(CADデータの提出 ※する(CD-R等) ・しない) ・保全に関する資料(提出部数 ※2部 ・部) [1.9.3] 上記のほか、使用材料のメーカー名、品番、色(マンセル値等)をCADデータ等で監督職員に提出する。 工種別下請負者の一覧表を提出する。 施工図、施工計画書 [1.9.2] 提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	6 工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ⊙利用できる (※有償 ・無償) ※利用できない 構内既存の施設(電力) ⊙利用できる (※有償 ・無償) ※利用できない 構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)~c)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、既設負荷への波及がないようにする。 また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。 構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)~c)に下記d)~e)を加える。 d) 工事用水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施工使用するものとする。 e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。 四国電力送配電線などの架空線に防護網の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。	6 とい	保証書 (シーリング除く) 8 高日射反射率塗料塗り
29 完成写真	下表のものを監督職員に提出する。 位置 分類・規格 撮影枚数 部数 原版の大きさ(mm) ・各室 手札版(L版) ※2枚 ・枚 ※1部 ・部 ・100×125以上 ・外部 キャビネ版 ※4枚 ・枚 ※1部 ・部 ・24×36以上 ・外部 半切パネル(木製枠※アルミ枠) ※1枚 ・枚 ※1部 ・部 ・ スライド ※1部 ・部 カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。 撮影箇所は監督職員と協議する。 上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等にて提出する。 画像形式等 フォーマット: JPEG 画質: 標準 画像サイズ: 1024×768ピクセル程度	7 仮囲い	※図示	7 保証書 (シーリング除く)	外壁改修工事(共通事項)
30 別途設備工事との取合い	施工範囲 ・貫通孔、開口部の補強 ※下表 図示 ・壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※下表 図示 ・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ・ 補強種別 内容 貫通孔、開口部の補強 梁 壁 スラブ 壁切込み及び補強 天井切込み及び補強	8 仮設物撤去後の整地・跡片付け	※原形の復旧 ・良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ() [2.5.1]	7 保証書 (シーリング除く)	8 高日射反射率塗料塗り
31 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。	防水改修工事	※3.1.3(5)による [3.1.3] 既存下地の処理 [3.2.6] 既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ※図示 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸扉の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部等の納まり処理 ※図示(図示のない場合は監督職員と協議による) ・製造所の仕様による [3.5.2][表3.5.1~表3.5.2]	7 保証書 (シーリング除く)	8 高日射反射率塗料塗り
32 不当要求等への対応	暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次による。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出しなければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者が、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	工法 種別 施工箇所 厚さ(mm) 仕上塗料 高日射反射率塗料の適用 備考 ・POS ・S-F1 ※1.2 ※製造所の仕様による ・改修用ドレン ・S4S ・S-F2 ※2.0 ※製造所の仕様による ・設ける ・S-M1 ※1.5 ※製造所の仕様による ・設けない ・S-M2 ※1.5 ※製造所の仕様による ・ ・S3S ・S-F1 ※1.2 ※製造所の仕様による ・改修用ドレン ・S-F2 ※2.0 ※製造所の仕様による ・設ける ・S-M1 ※1.5 ※製造所の仕様による ・設けない ・S-M2 ※1.5 ※製造所の仕様による ・ ・POSI ・SI-F1 ※1.2 ※製造所の仕様による ・改修用ドレン ・S3SI ・SI-F2 ※2.0 ※製造所の仕様による ・設ける ・S4SI ・S-F1 ※1.5 ※製造所の仕様による ・設けない ・M4SI ・SI-M1 ※1.5 ※製造所の仕様による ・ ・SI-M2 ※1.5 ※製造所の仕様による ・ ・PIS ・S-C1 ※1.0 ※製造所の仕様による ・立上り保護 モルタルの塗厚 ・図示 ・7mm 断熱工法に用いる断熱材(SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) [3.5.2] 工法 材料 厚さ 機械的 JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 ・ 固定工法 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 接着工法 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 ・ 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 S-M2及びSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ [表3.1.1] 工法: ※図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械固定工法(厚さ mm) 立上り部等の防水層撤去 ・行う ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行う ・行わない POS工法及びPOSI工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)(g)による [3.5.2] 固定金具の材質及び形状 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ(mm) ※0.4以上 [3.5.2] S-M1及びSI-M2の絶縁シート及び可塑性移行防止用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート [3.5.3] 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の仕様による [表3.5.2] SI-M1及びSI-M2の防護用フィルムの設置 ※設けない ・設ける [3.5.4] プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合) ・行う(・図示) ・行わない [3.5.4] S-F1及びSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り ・行う(・図示) ・行わない 一般部のルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合 建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3] 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 仕上塗料 高日射反射率塗料の適用 備考 ・POX ・X-1 ※2成分形アクリル樹脂系 ※製造所の仕様による 改修用ドレン ・L4X ・X-1H 図示 ・ふっ素樹脂系 ・設けない ・X-2 ・アクリル樹脂系 ・X-2H 絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による [3.6.3] ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの		
33 消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。	4 塗膜防水	防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3] 工法 種別 施工箇所 仕上塗料 高日射反射率塗料の適用 備考 ・POX ・X-1 ※2成分形アクリル樹脂系 ※製造所の仕様による 改修用ドレン ・L4X ・X-1H 図示 ・ふっ素樹脂系 ・設けない ・X-2 ・アクリル樹脂系 ・X-2H 絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による [3.6.3] ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの	7 保証書 (シーリング除く)	8 高日射反射率塗料塗り
34 工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。	4 塗膜防水	防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3] 工法 種別 施工箇所 仕上塗料 高日射反射率塗料の適用 備考 ・POX ・X-1 ※2成分形アクリル樹脂系 ※製造所の仕様による 改修用ドレン ・L4X ・X-1H 図示 ・ふっ素樹脂系 ・設けない ・X-2 ・アクリル樹脂系 ・X-2H 絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による [3.6.3] ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの	7 保証書 (シーリング除く)	8 高日射反射率塗料塗り
仮設工事(改修)	内部足場 ※きやつ、足板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 図示 外部足場の養生 ※図示 防護シート ・マッシュシート ・防音シート ・防音パネル 材料、撤去材の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示)	4 塗膜防水	防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3] 工法 種別 施工箇所 仕上塗料 高日射反射率塗料の適用 備考 ・POX ・X-1 ※2成分形アクリル樹脂系 ※製造所の仕様による 改修用ドレン ・L4X ・X-1H 図示 ・ふっ素樹脂系 ・設けない ・X-2 ・アクリル樹脂系 ・X-2H 絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による [3.6.3] ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの	7 保証書 (シーリング除く)	8 高日射反射率塗料塗り
1 足場その他	・ 屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。 ○ 高さ1.8m以下の範囲は金網とし、関係者以外が進入できないように施錠すること。	4 塗膜防水	防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3] 工法 種別 施工箇所 仕上塗料 高日射反射率塗料の適用 備考 ・POX ・X-1 ※2成分形アクリル樹脂系 ※製造所の仕様による 改修用ドレン ・L4X ・X-1H 図示 ・ふっ素樹脂系 ・設けない ・X-2 ・アクリル樹脂系 ・X-2H 絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による [3.6.3] ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの	7 保証書 (シーリング除く)	8 高日射反射率塗料塗り
2 養生	○ 既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 [2.3.1] ○ 既存家具、既存設備等の養生 ※ビニルシート等 ○ 既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※図示 ・ 固定された備品等の移動 ※図示 ○ 開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。	4 塗膜防水	防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3] 工法 種別 施工箇所 仕上塗料 高日射反射率塗料の適用 備考 ・POX ・X-1 ※2成分形アクリル樹脂系 ※製造所の仕様による 改修用ドレン ・L4X ・X-1H 図示 ・ふっ素樹脂系 ・設けない ・X-2 ・アクリル樹脂系 ・X-2H 絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による [3.6.3] ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの	7 保証書 (シーリング除く)	8 高日射反射率塗料塗り
3 仮設間仕切り(屋内)	設置箇所 ※図示 [2.3.2][表2.3.1] 間仕切り種別 ・A種 ・B種 ※C種 A種、B種の場合 仕上げの材質 ※せつこうボード 厚さ9.5mm ・合板(普通合板) 厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ・行う ※行わない 仮設扉設置箇所 ※図示 仮設扉種別 ・合板張り木製原程度 ・図示	4 塗膜防水	防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3] 工法 種別 施工箇所 仕上塗料 高日射反射率塗料の適用 備考 ・POX ・X-1 ※2成分形アクリル樹脂系 ※製造所の仕様による 改修用ドレン ・L4X ・X-1H 図示 ・ふっ素樹脂系 ・設けない ・X-2 ・アクリル樹脂系 ・X-2H 絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による [3.6.3] ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの	7 保証書 (シーリング除く)	8 高日射反射率塗料塗り
4 監督職員事務所	・ 設ける (nr程度) ※設けない	4 塗膜防水	防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3] 工法 種別 施工箇所 仕上塗料 高日射反射率塗料の適用 備考 ・POX ・X-1 ※2成分形アクリル樹脂系 ※製造所の仕様による 改修用ドレン ・L4X ・X-1H 図示 ・ふっ素樹脂系 ・設けない ・X-2 ・アクリル樹脂系 ・X-2H 絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による [3.6.3] ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの	7 保証書 (シーリング除く)	8 高日射反射率塗料塗り
4 材料品質	可とう性エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による 比重 押出し性(秒) スランプ(Mm) 質量変化率(%) 引張り強さ(MPa) 破断時伸び(%) 引張り接着性 表示値 ±0.10 60以下 3.0以下 5.0以下 低温 1.0以上 低温 30.0以上 最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3) 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 パテ状エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による 初期硬化性(MPa) 接着強さ(MPa) 圧縮強さ(MPa) 曲げ強さ(MPa) 硬化収縮率(%) 標準2.0以上 標準6.0以上 50.0以上 30.0以上 3.0以下 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3) 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 4) 試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。 エポキシ樹脂モルタル [4.2.4] JIS A 6024による だれ 接着強さ(MPa) 圧縮強さ(MPa) 曲げ強さ(MPa) 形状に異常がなく、だれが生じないこと 1.0以上 20.0以上 10.0以上 (3日後の値) 1) こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がり良好であること。 2) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3) 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 4) 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目の規定に適合していること。 ポリマーセメントモルタル [4.2.4] だれ 表面状態 曲げ強さ(N/mm2) 圧縮強さ(N/mm2) 接着強さ(N/mm2) 特殊条件 5mm以内 ひびわれの発生がないこと 6.0以上 20.0以上 標準条件 1.0以上 0.8以上 0.5以上 1) 透水性 裏面のぬれ、水滴の付着がないこと。 2) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3) ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルジョンは、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。 ポリマーセメントスラリー [4.3.5] だれ 引きり速度(cm/s) 長さ変化率(%) 引張接着性(材齢28日)(N/mm2) 曲げ強度(材齢28日)(N/mm2) 吸水率(72時間)(%) 劣化曲げ強さ(N/mm2) 3以上 3以下 0.49以上 4.9以上 15以下 4.9以上 1) 保水係数 0.35~0.55 2) 粘調係数 0.50~1.00 3) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 4) ポリマーセメントスラリー用の材料は、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。				
工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
高知市 都市建設部 公共建築課	一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事	和	田	豊	口
図面名	縮尺	作図	令和8年	2月	A-02

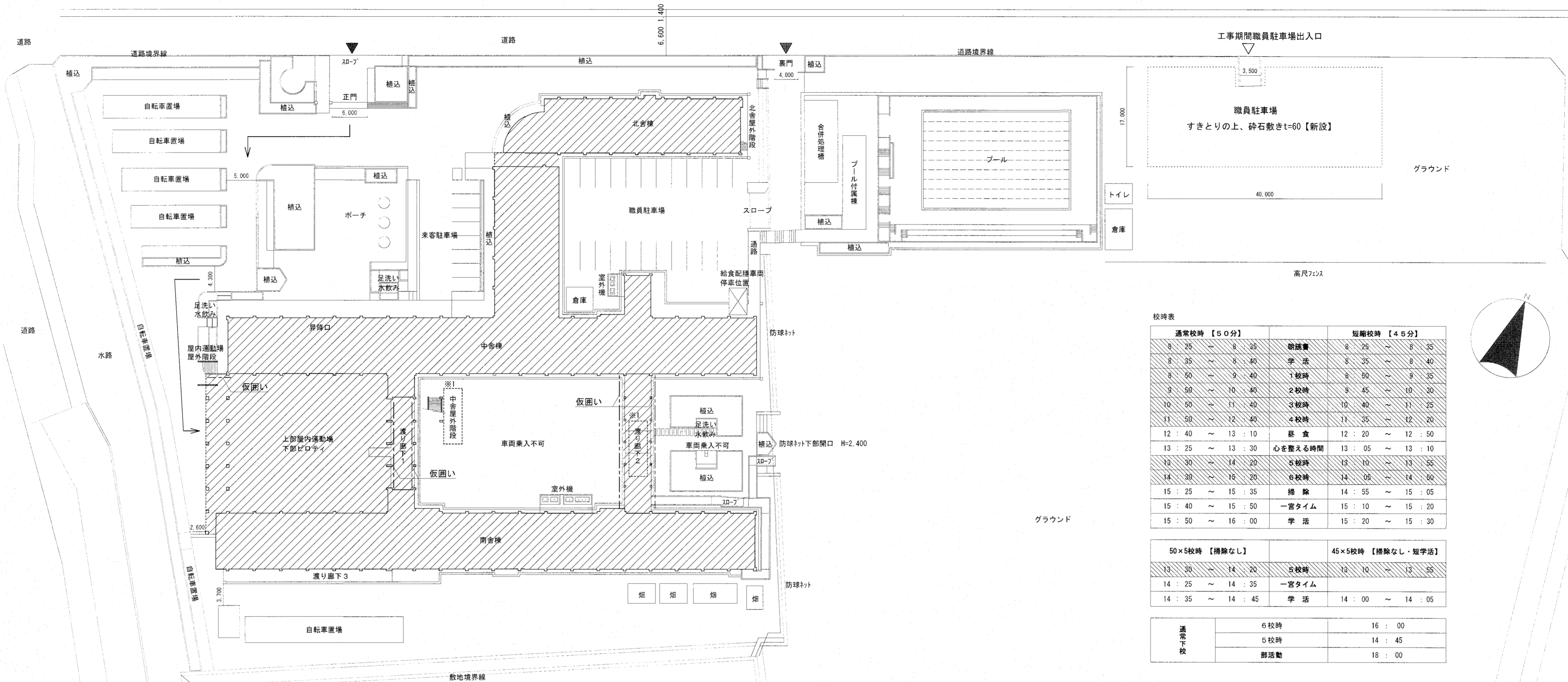
高知市 都市建設部 公共建築課

一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事

図面名 改修特記仕様書(2) 縮尺 1/

作図 令和8年 2月 日

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																		
	<p>既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、 混和材等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>保水率 (%)</th> <th>単位容積質量 (kg/L)</th> <th>接着強度</th> <th>長さ変化率 (%)</th> <th>曲げ強さ (N/mm²)</th> </tr> <tr> <td>70.0以上</td> <td>1.8以上</td> <td>0.6N/mm²以上 0.4N/mm²以上</td> <td>0.2以下</td> <td>4.0以上</td> </tr> </table> <p>[4.3.10]</p>	保水率 (%)	単位容積質量 (kg/L)	接着強度	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm ²)	70.0以上	1.8以上	0.6N/mm ² 以上 0.4N/mm ² 以上	0.2以下	4.0以上	② ひび割れ部改修工法	<p>※樹脂注入工法 [4.2.5][4.4.2][4.4.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>※ 200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※ 50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満 0.5以上1.0以下</td> <td>※ 100~200 ※ 150~250</td> <td>※70 ※130</td> </tr> </table> <p>コア抜き取り検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>・タイル部分張替え工法 [4.4.5][4.4.7] 張付け材料の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・有機系接着剤 ※JIS A 5557による一液反応硬化形成シリコン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法 [4.4.2][4.4.5][4.4.8] 張付けモルタル ・現場調合モルタル ・既調合モルタル 伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地の位置 ※表4.4.2による ・図示 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・行う ・行わない</p> <p>・セメントモルタルによるタイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤によるタイル張り タイルの種類 () 目地詰め ・行う ・行わない ()</p> <p>・下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※目荒し工法 [4.4.8]</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満 0.5以上1.0以下	※ 100~200 ※ 150~250	※70 ※130	③ 仕上塗材仕上げ	<p>薄付け仕上げ塗材 [4.1.5][4.5.2][4.5.6][表4.5.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>吹付け ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状</td> <td>吹付け ローラー こて塗り ローラー こて塗り 吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け こて塗り ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材E</td> <td>・ゆず肌状 ・凹凸状</td> <td>ローラー 吹付け</td> <td>増塗材 ・適用する</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> </table> <p>厚付け仕上げ塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材C</td> <td>・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし</td> <td>吹付け こて塗り</td> <td>セメント系以外の上塗材</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材Si</td> <td>・吹放し ・平たん状</td> <td>吹付け</td> <td>上塗材</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材E</td> <td>・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし</td> <td>吹付け こて塗り ローラー</td> <td>・適用する</td> </tr> </table> <p>覆層仕上げ塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・複層塗材CE ・複層塗材Si</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td>耐候性 ※耐候形3種</td> </tr> <tr> <td>○複層塗材E ・複層塗材RE</td> <td>・凸部処理 ・凹凸状</td> <td>吹付け</td> <td>上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7リットル以上あり</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材CE</td> <td>・ゆず肌状 ・凸部処理</td> <td>ローラー 吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E</td> <td>・ゆず肌状 ・凸部処理</td> <td>ローラー 吹付け</td> <td>増塗材 ・適用する</td> </tr> </table> <p>防火材料の指定 ※なし ・あり (※図示)</p>	呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け ローラー		・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	吹付け ローラー		○外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状	吹付け ローラー こて塗り ローラー こて塗り 吹付け		・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状	吹付け こて塗り ローラー		・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・凹凸状	ローラー 吹付け	増塗材 ・適用する	・外装薄塗材S	・砂壁状	吹付け		呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・外装厚塗材C	・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし	吹付け こて塗り	セメント系以外の上塗材	・外装厚塗材Si	・吹放し ・平たん状	吹付け	上塗材	・外装厚塗材E	・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし	吹付け こて塗り ローラー	・適用する	呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・複層塗材CE ・複層塗材Si	・ゆず肌状	ローラー	耐候性 ※耐候形3種	○複層塗材E ・複層塗材RE	・凸部処理 ・凹凸状	吹付け	上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7リットル以上あり	・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状 ・凸部処理	ローラー 吹付け		・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E	・ゆず肌状 ・凸部処理	ローラー 吹付け	増塗材 ・適用する																																																								
保水率 (%)	単位容積質量 (kg/L)	接着強度	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm ²)																																																																																																																																																			
70.0以上	1.8以上	0.6N/mm ² 以上 0.4N/mm ² 以上	0.2以下	4.0以上																																																																																																																																																			
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)																																																																																																																																																				
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																																																				
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40																																																																																																																																																				
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満 0.5以上1.0以下	※ 100~200 ※ 150~250	※70 ※130																																																																																																																																																				
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																																																																				
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け ローラー																																																																																																																																																					
・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	吹付け ローラー																																																																																																																																																					
○外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状	吹付け ローラー こて塗り ローラー こて塗り 吹付け																																																																																																																																																					
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状	吹付け こて塗り ローラー																																																																																																																																																					
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・凹凸状	ローラー 吹付け	増塗材 ・適用する																																																																																																																																																				
・外装薄塗材S	・砂壁状	吹付け																																																																																																																																																					
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																																																																				
・外装厚塗材C	・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし	吹付け こて塗り	セメント系以外の上塗材																																																																																																																																																				
・外装厚塗材Si	・吹放し ・平たん状	吹付け	上塗材																																																																																																																																																				
・外装厚塗材E	・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし	吹付け こて塗り ローラー	・適用する																																																																																																																																																				
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																																																																				
・複層塗材CE ・複層塗材Si	・ゆず肌状	ローラー	耐候性 ※耐候形3種																																																																																																																																																				
○複層塗材E ・複層塗材RE	・凸部処理 ・凹凸状	吹付け	上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7リットル以上あり																																																																																																																																																				
・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状 ・凸部処理	ローラー 吹付け																																																																																																																																																					
・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E	・ゆず肌状 ・凸部処理	ローラー 吹付け	増塗材 ・適用する																																																																																																																																																				
外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ ① ひび割れ部改修工法	<p>①樹脂注入工法 [4.2.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※ 200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※ 50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満 0.5以上1.0以下</td> <td>※ 100~200 ※ 150~250</td> <td>※70 ※130</td> </tr> </table> <p>コア抜き取り検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>②カットシーリング材充填工法 [4.2.6]</p> <p>③シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>④シーリング工法 [4.2.7]</p> <p>・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>⑤充填工法 [4.2.8]</p> <p>※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満 0.5以上1.0以下	※ 100~200 ※ 150~250	※70 ※130	3 欠損部改修工法	<p>[4.2.11~16][4.4.9~4.4.15]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)</th> <th colspan="2">アンカーの本数</th> <th colspan="2">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分指定部分 本/m²</th> <th>狭幅部 本/m</th> <th>一般部分指定部分 箇所/m²</th> <th>狭幅部 箇所/m</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>—</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 50mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 50mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイプ固定工法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>アンカーピン</p> <p>※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。 注入口付アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm</p> <p>・タイル部分張替え工法 [4.4.7] 張付け材料の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・有機系接着剤 ※JIS A 5557による一液反応硬化形成シリコン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法 [4.4.8] 張付けモルタル ・現場調合モルタル ・既調合モルタル 伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地の位置 ※表4.4.2による ・図示 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・行う ・行わない ・セメントモルタルによるタイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤によるタイル張り ・下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※目荒し工法</p> <p>⑤目地改修工法 [4.4.16]</p> <p>・目地ひび割れ部改修工法 [4.4.16] ・伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示</p>	改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーの本数		注入口の箇所数		備考	一般部分指定部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分指定部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	—	注入量 ※ 25mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 25mL	・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 50mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	—	—	—	注入量 ※ 25mL	○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 25mL	・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 50mL	・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイプ固定工法	・	・	・	・	・	・	・	④ 浮き部改修工法																																																																			
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)																																																																																																																																																				
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																																																				
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40																																																																																																																																																				
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満 0.5以上1.0以下	※ 100~200 ※ 150~250	※70 ※130																																																																																																																																																				
改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーの本数		注入口の箇所数		備考																																																																																																																																																		
	一般部分指定部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分指定部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m																																																																																																																																																			
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	—	注入量 ※ 25mL																																																																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 25mL																																																																																																																																																
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 50mL																																																																																																																																																
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	—	—	—	注入量 ※ 25mL																																																																																																																																																
○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 25mL																																																																																																																																																
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 50mL																																																																																																																																																
・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイプ固定工法	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																
外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ 1 ひび割れ部改修工法	<p>①樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※ 200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※ 50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満 0.5以上1.0以下</td> <td>※ 100~200 ※ 150~250</td> <td>※70 ※130</td> </tr> </table> <p>コア抜き取り検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>②カットシーリング材充填工法 [4.2.6][4.3.7]</p> <p>③シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>④シーリング工法 [4.2.7][4.3.8]</p> <p>・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>⑤充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9]</p> <p>※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>⑥モルタル塗替え工法 [4.3.10]</p> <p>仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満 0.5以上1.0以下	※ 100~200 ※ 150~250	※70 ※130	2 欠損部改修工法	<p>[4.3.11~16]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーの本数</th> <th colspan="2">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分指定部分 本/m²</th> <th>狭幅部 本/m</th> <th>一般部分指定部分 箇所/m²</th> <th>狭幅部 箇所/m</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 50mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 25mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 50mL</td> </tr> </table> <p>アンカーピン</p> <p>※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。 注入口付アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm</p> <p>・タイル部分張替え工法 [4.4.7] 張付け材料の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・有機系接着剤 ※JIS A 5557による一液反応硬化形成シリコン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法 [4.4.8] 張付けモルタル ・現場調合モルタル ・既調合モルタル 伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地の位置 ※表4.4.2による ・図示 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・行う ・行わない ・セメントモルタルによるタイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤によるタイル張り ・下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※目荒し工法</p> <p>⑤目地改修工法 [4.4.16]</p> <p>・目地ひび割れ部改修工法 [4.4.16] ・伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示</p>	改修工法の種類	アンカーの本数		注入口の箇所数		備考	一般部分指定部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分指定部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	—	—	注入量 ※ 25mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 25mL	・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 50mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	—	—	—	注入量 ※ 25mL	○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 25mL	・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 50mL	3 浮き部改修工法																																																																										
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)																																																																																																																																																				
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																																																				
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40																																																																																																																																																				
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満 0.5以上1.0以下	※ 100~200 ※ 150~250	※70 ※130																																																																																																																																																				
改修工法の種類	アンカーの本数		注入口の箇所数		備考																																																																																																																																																		
	一般部分指定部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分指定部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m																																																																																																																																																			
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	—	—	注入量 ※ 25mL																																																																																																																																																	
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 25mL																																																																																																																																																
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 50mL																																																																																																																																																
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	—	—	—	注入量 ※ 25mL																																																																																																																																																
○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 25mL																																																																																																																																																
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 50mL																																																																																																																																																
外壁改修工事 タイル張り仕上げ 1 タイル材料	<p>①タイルの形状、寸法等 [4.4.5]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th colspan="3">吸水率の区分</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍 害性</th> <th rowspan="2">耐滑 り性</th> <th rowspan="2">役物の 適用</th> <th rowspan="2">品質 (公表単価 (円/m²))</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする。 タイルの試験張り ※行わない ・行う [4.4.8] タイルの見本焼き ※行わない ・行う [4.4.8]</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分			色	耐凍 害性	耐滑 り性	役物の 適用	品質 (公表単価 (円/m ²))	I類	II類	III類			・	・	・	・	・	・	・	・	① 既存塗膜等の除去及び 下地処理	<p>既存塗膜の劣化部の除去及び下地の処理の工法 [4.5.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> </tr> <tr> <td>※水洗い工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> </tr> </table> <p>石綿含有仕上塗材の除去は、環境配慮改修工事による。</p> <p>材料 ※下地調整塗材 ※C-1() ・ C-2() ・ CM-2() [4.5.2~4.5.4] ・ポリマーセメントモルタル ・合成樹脂エマルジョンシーラー</p> <p>工法 ※製造所の仕様による [4.5.4]</p>	工法	処理範囲	・サンダー工法	※既存仕上面全体	・高圧水洗工法	※既存仕上面全体	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	※水洗い工法	※既存仕上面全体	② 下地調整材																																																																																																																		
施工箇所	形状寸法(mm)			吸水率の区分								色	耐凍 害性	耐滑 り性	役物の 適用	品質 (公表単価 (円/m ²))																																																																																																																																							
		I類	II類	III類																																																																																																																																																			
		・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																														
工法	処理範囲																																																																																																																																																						
・サンダー工法	※既存仕上面全体																																																																																																																																																						
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体																																																																																																																																																						
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体																																																																																																																																																						
※水洗い工法	※既存仕上面全体																																																																																																																																																						
① 一般事項	<p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆とする [7.1.3] 防火材料 ・屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする。 [7.1.3] ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：)</p>	2 下地調整	<p>塗替えR B種の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す [7.2.1] [7.2.2~7.2.7][表7.2.1~表7.2.7]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">下地面の種類</th> <th>下地調整の種類</th> <th>ひび割れの補修</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗り 透明塗料塗り</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>透明塗料塗り</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>・</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>モルタル面、プラスター面</td> <td>・</td> <td>※R B種</td> <td>・ ・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)・ALCパネル面</td> <td>・</td> <td>※R B種</td> <td>・ ・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)・押出成形セメント版面</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ ・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面・その他ボード面</td> <td>・</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> </tr> </table>	下地面の種類		下地調整の種類	ひび割れの補修	木部	不透明塗料塗り 透明塗料塗り	※R B種	・	鉄鋼面	透明塗料塗り	※R B種	・	亜鉛めっき鋼面	・	※R B種	・	モルタル面、プラスター面	・	※R B種	・ ・行う ・行わない	コンクリート面(DP以外)・ALCパネル面	・	※R B種	・ ・行う ・行わない	コンクリート面(DP)・押出成形セメント版面	・	・	・ ・行う ・行わない	せつこうボード面・その他ボード面	・	※R B種	・	3 素地ごしらえ	<p>[7.3.2~7.3.7][表7.3.1~表7.3.7]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">下地面等</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗り 透明塗料塗り</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP以外)</td> <td>透明塗料塗り</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP)</td> <td>・</td> <td>・ A種 ・ B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>・</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びプラスター面</td> <td>・</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート・ALCパネル面(DP以外)</td> <td>・</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート(DP)</td> <td>・</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント版面</td> <td>・</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面(継目処理工法)</td> <td>・</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面(継目処理以外)・その他ボード面</td> <td>・</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> </table>	下地面等		種別	木部	不透明塗料塗り 透明塗料塗り	※A種 ・ B種	鉄鋼面(DP以外)	透明塗料塗り	・ A種 ※B種	鉄鋼面(DP)	・	・ A種 ・ B種 ※C種	亜鉛めっき鋼面	・	・ A種 ・ B種	モルタル面及びプラスター面	・	・ A種 ※B種	コンクリート・ALCパネル面(DP以外)	・	・ A種 ※B種	コンクリート(DP)	・	・ A種 ・ B種	押出成形セメント版面	・	・ A種 ・ B種	せつこうボード面(継目処理工法)	・	※A種 ・ B種	せつこうボード面(継目処理以外)・その他ボード面	・	・ A種 ※B種	4 錆止め塗料の種別	<p>[7.3.3, 7.4.2~7.4.3][表7.3.3, 表7.4.1~表7.4.6]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">鉄鋼面</th> <th rowspan="2">SOP</th> <th colspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">塗料</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え 新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分</th> <th>塗替え</th> <th>※A種</th> <th>※B種</th> <th>※C種</th> <th>・ B種</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">塗替え</td> <td>1回目</td> <td>C種</td> <td>※A種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>2, 3回目</td> <td>D種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内(EP-G)</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">塗替え</td> <td>1回目</td> <td>C種</td> <td>※A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td>2, 3回目</td> <td>D種</td> <td>※B種</td> <td>・ A種</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td rowspan="2">SOP</td> <td rowspan="2">塗替え</td> <td>1回目</td> <td>C種</td> <td>※A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>D種</td> <td>※B種</td> <td>・ A種</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">塗替え</td> <td>1回目</td> <td>C種</td> <td>※A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>D種</td> <td>※B種</td> <td>・ A種</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内(EP-G)</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">塗替え</td> <td>1回目</td> <td>C種</td> <td>※A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>D種</td> <td>※B種</td> <td>・ A種</td> <td>・ C種</td> </tr> </table>	鉄鋼面	SOP	塗装面		塗料		工程		塗替え 新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	塗替え	※A種	※B種	※C種	・ B種	DP		塗替え	1回目	C種	※A種	・	・	2, 3回目	D種	・	・	・	屋内(EP-G)		塗替え	1回目	C種	※A種	・ B種	・ C種	2, 3回目	D種	※B種	・ A種	・ C種	亜鉛めっき鋼面	SOP	塗替え	1回目	C種	※A種	・ B種	・ C種	2回目	D種	※B種	・ A種	・ C種	DP		塗替え	1回目	C種	※A種	・ B種	・ C種	2回目	D種	※B種	・ A種	・ C種	屋内(EP-G)		塗替え	1回目	C種	※A種	・ B種	・ C種	2回目	D種	※B種	・ A種	・ C種
下地面の種類		下地調整の種類	ひび割れの補修																																																																																																																																																				
木部	不透明塗料塗り 透明塗料塗り	※R B種	・																																																																																																																																																				
鉄鋼面	透明塗料塗り	※R B種	・																																																																																																																																																				
亜鉛めっき鋼面	・	※R B種	・																																																																																																																																																				
モルタル面、プラスター面	・	※R B種	・ ・行う ・行わない																																																																																																																																																				
コンクリート面(DP以外)・ALCパネル面	・	※R B種	・ ・行う ・行わない																																																																																																																																																				
コンクリート面(DP)・押出成形セメント版面	・	・	・ ・行う ・行わない																																																																																																																																																				
せつこうボード面・その他ボード面	・	※R B種	・																																																																																																																																																				
下地面等		種別																																																																																																																																																					
木部	不透明塗料塗り 透明塗料塗り	※A種 ・ B種																																																																																																																																																					
鉄鋼面(DP以外)	透明塗料塗り	・ A種 ※B種																																																																																																																																																					
鉄鋼面(DP)	・	・ A種 ・ B種 ※C種																																																																																																																																																					
亜鉛めっき鋼面	・	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																					
モルタル面及びプラスター面	・	・ A種 ※B種																																																																																																																																																					
コンクリート・ALCパネル面(DP以外)	・	・ A種 ※B種																																																																																																																																																					
コンクリート(DP)	・	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																					
押出成形セメント版面	・	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																					
せつこうボード面(継目処理工法)	・	※A種 ・ B種																																																																																																																																																					
せつこうボード面(継目処理以外)・その他ボード面	・	・ A種 ※B種																																																																																																																																																					
鉄鋼面	SOP	塗装面		塗料		工程																																																																																																																																																	
		塗替え 新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	塗替え	※A種	※B種	※C種	・ B種																																																																																																																																																
DP		塗替え	1回目	C種	※A種	・	・																																																																																																																																																
			2, 3回目	D種	・	・	・																																																																																																																																																
屋内(EP-G)		塗替え	1回目	C種	※A種	・ B種	・ C種																																																																																																																																																
			2, 3回目	D種	※B種	・ A種	・ C種																																																																																																																																																
亜鉛めっき鋼面	SOP	塗替え	1回目	C種	※A種	・ B種	・ C種																																																																																																																																																
			2回目	D種	※B種	・ A種	・ C種																																																																																																																																																
DP		塗替え	1回目	C種	※A種	・ B種	・ C種																																																																																																																																																
			2回目	D種	※B種	・ A種	・ C種																																																																																																																																																
屋内(EP-G)		塗替え	1回目	C種	※A種	・ B種	・ C種																																																																																																																																																
			2回目	D種	※B種	・ A種	・ C種																																																																																																																																																

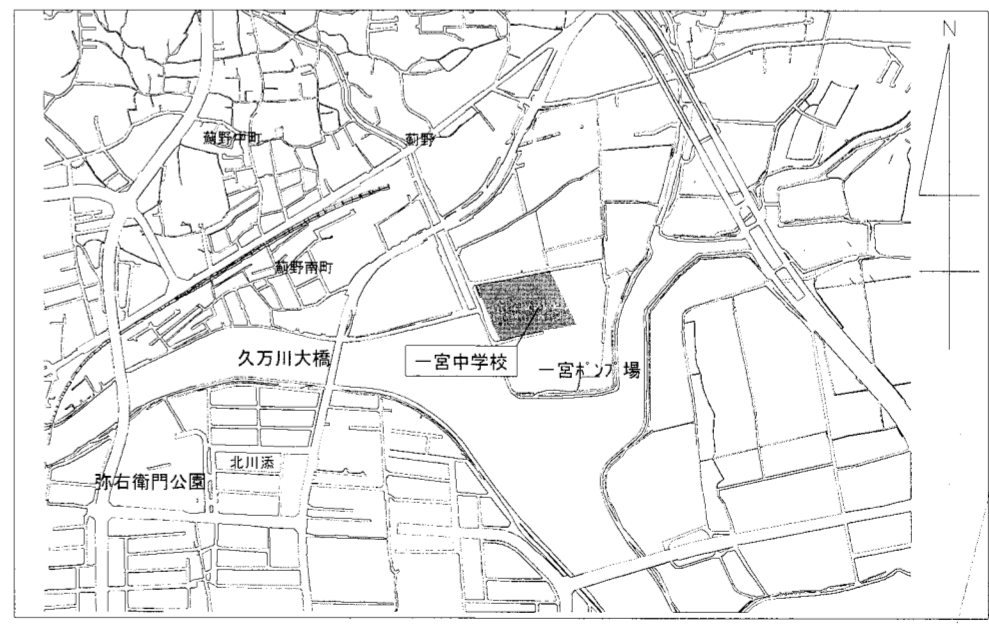
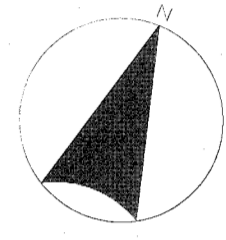


校時表

通常校時【50分】		短縮校時【45分】	
8:25 ~ 8:35	朝読書	8:25 ~ 8:35	
8:35 ~ 8:40	学活	8:35 ~ 8:40	
8:50 ~ 9:40	1校時	8:50 ~ 9:35	
9:50 ~ 10:40	2校時	9:45 ~ 10:30	
10:50 ~ 11:40	3校時	10:40 ~ 11:25	
11:50 ~ 12:40	4校時	11:35 ~ 12:20	
12:40 ~ 13:10	昼食	12:20 ~ 12:50	
13:25 ~ 13:30	心を整える時間	13:05 ~ 13:10	
13:30 ~ 14:20	5校時	13:10 ~ 13:55	
14:30 ~ 15:20	6校時	14:05 ~ 14:50	
15:25 ~ 15:35	掃除	14:55 ~ 15:05	
15:40 ~ 15:50	一宮タイム	15:10 ~ 15:20	
15:50 ~ 16:00	学活	15:20 ~ 15:30	

50×5校時【掃除なし】	45×5校時【掃除なし・短学活】
13:20 ~ 14:20	5校時
14:25 ~ 14:35	一宮タイム
14:35 ~ 14:45	学活

通常下校	6校時	16:00
	5校時	14:45
	部活動	18:00



付近見取り図

- ▼ : 工事車両出入口を示す。
- : 工事車両駐車場への工事車両動線を示す。
- : 仮囲い ガードフェンス H=1,800程度を示す。
- ▨ : 改修対象建物を示す。

※ ビロイ部分は工事ヤード、資機材置場、工事車両駐車場とする。
 ビロイ部分施工の際は、車両等移動させながらの施工とする。

- ※ 施工条件、安全対策等
- ・登下校時間帯(学期中 7:50~8:30 16:00~16:30)は工事関係車両の出入りを禁止とする。
 - ・工事に支障がない範囲で、屋内の換気が行えるように配慮すること。
 - ・躯体の削孔及びびつり作業は、授業中の作業を禁止とする。(作業禁止時間は校時表による。)
 - ・外壁面に設置されている設備(配線・配管・室外機など)は既存のままとし、養生のうえ作業を行うこと。
 - ・防犯カメラ、スピーカーは、外部足場設置後に足場へ移設を行い、工事完了後元の位置に再設置すること。
 - ・夏季休業期間: 令和8年7月18日から8月24日

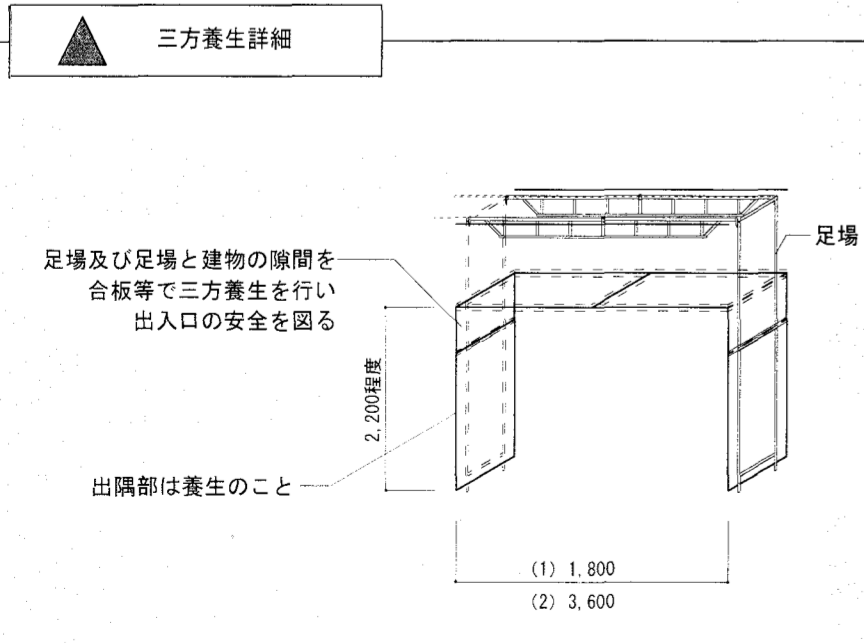
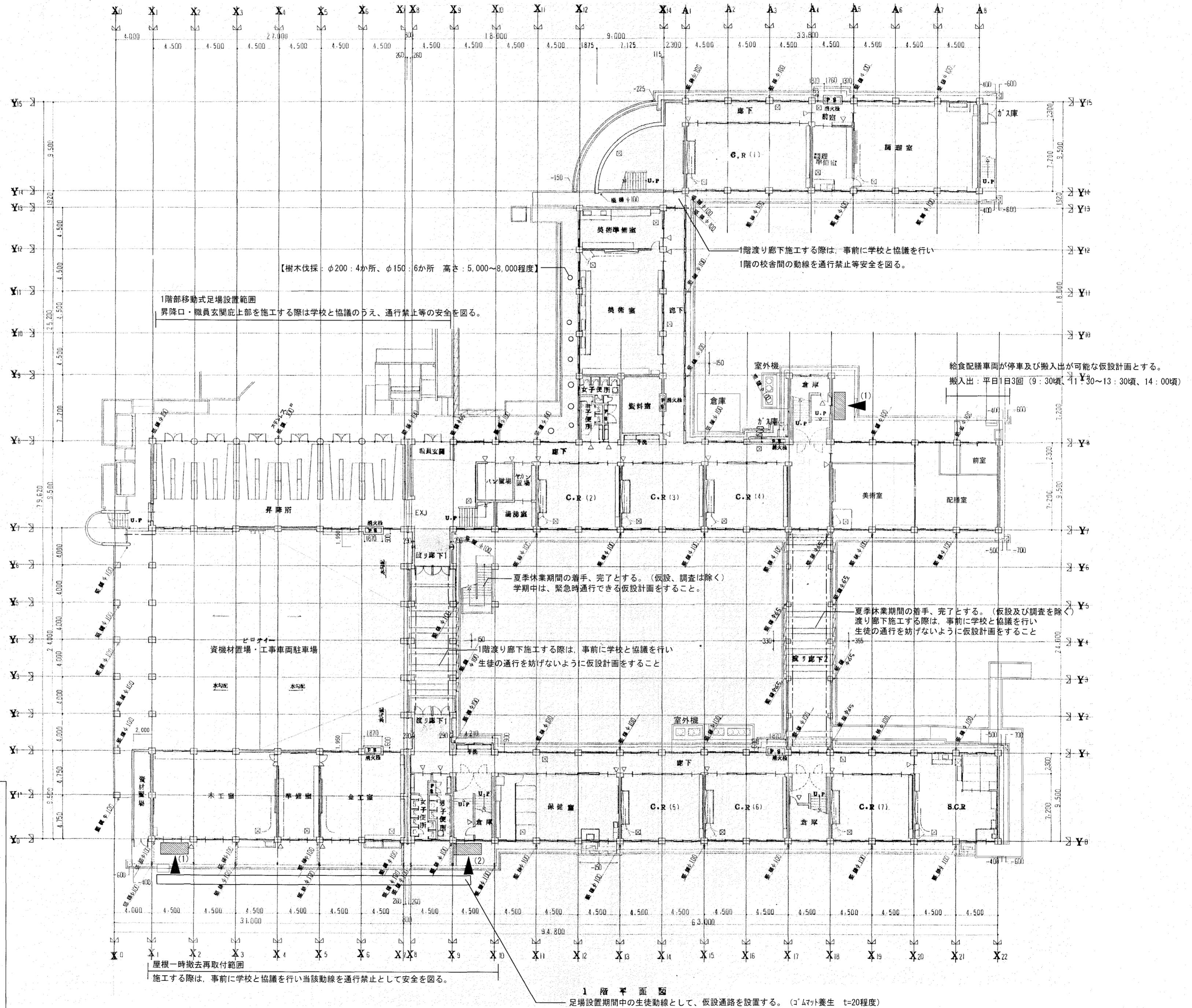
※1 中舎屋外階段及び渡り廊下2の施工は、夏季休業期間での着手、完了とすること。

- ※ 現場作業不可日(予定は変更となる可能性があるため事前に施設管理者に確認すること。)
 (作業不可日)【構内】: 学校内立入作業禁止 【校舎名】: 記載校舎の作業禁止。学校内への立入及び、記載のない校舎の作業は可能。
 令和8年6月2日(終日)【南舎・中舎】、6月25日(午前)【南舎・中舎】、6月26日(午前)【南舎・中舎】
 令和8年7月17日(午前)【屋内運動場】
 令和8年8月25日(午前)【屋内運動場】、8月26日(終日)【南舎・中舎】
 令和8年10月2日(終日)【南舎・中舎】、10月10日(終日)【構内】、10月11日(終日)【構内】、10月30日(終日)【南舎・中舎】
 令和8年11月26日(午前)【南舎・中舎】、11月27日(午前)【南舎・中舎】
 令和8年12月2日(午後)【構内】、12月25日(午前)【屋内運動場】

配置図 S=1:500

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	一宮中学校校舎 屋内運動場外壁改修工事				係長	和田	課長補佐	山口	課長	松本	図面番号	A-05
図面名	配置図	付近見取り図	仮設計画図	縮尺	1 / 500	作図	令和8年	2月	日			



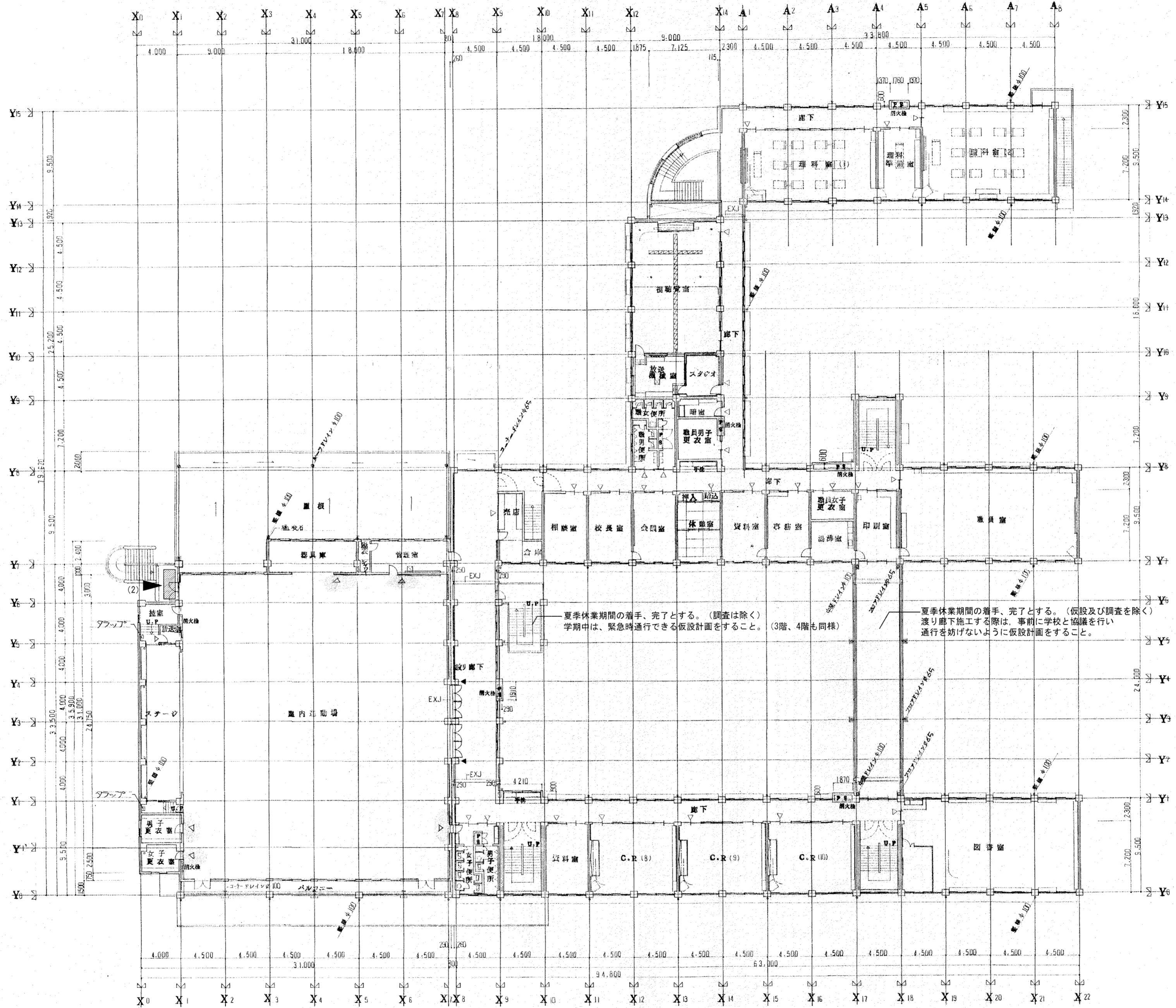
屋根一時撤去再取付範囲
 施工の際は、事前に学校と協議を行い当該動線を通行禁止として安全を図る。

1階平面図
 足場設置期間中の生徒動線として、仮設通路を設置する。(コマット養生 t=20程度)

----- : 仮囲い ガードフェンス H=1,800程度を示す

高知市 都市建設部 公共建築課

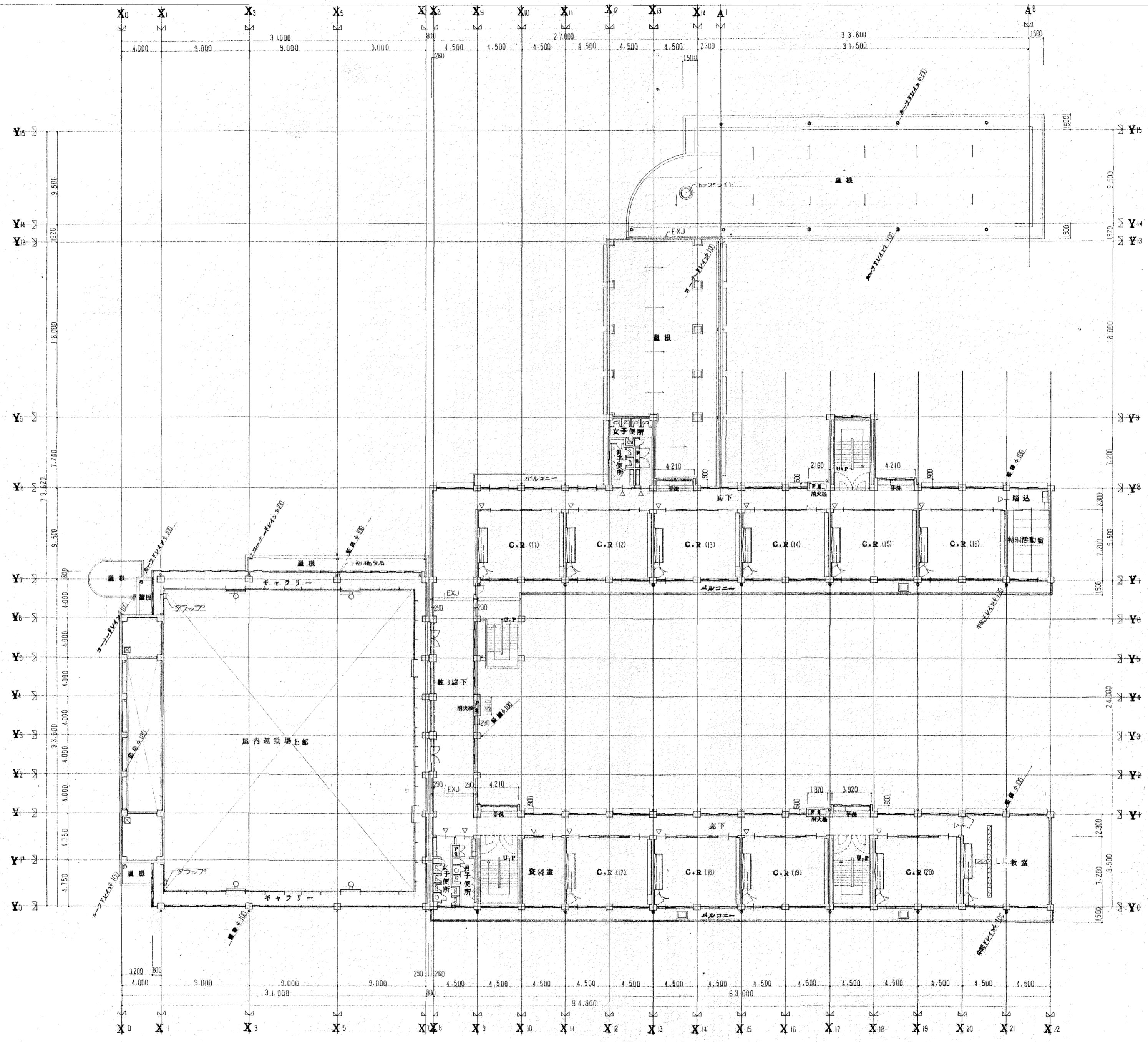
工事名	一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事	係長	和	課長補佐	田	課長	濱	図面番号	A-06
図面名	1階平面図・仮設計画図	縮尺	1 / 300	作図	令和8年	2月	日		



2階平面図

高知市 都市建設部 公共建築課

工 事 名	一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事	係	和 田	係 長	豊 田	課 長 補 佐	濱 口	課 長	松 本	図 面 番 号	A-07
図 面 名	2階平面図・仮設計画図	縮 尺	1 / 300	作 図	令和8年	2 月	日				

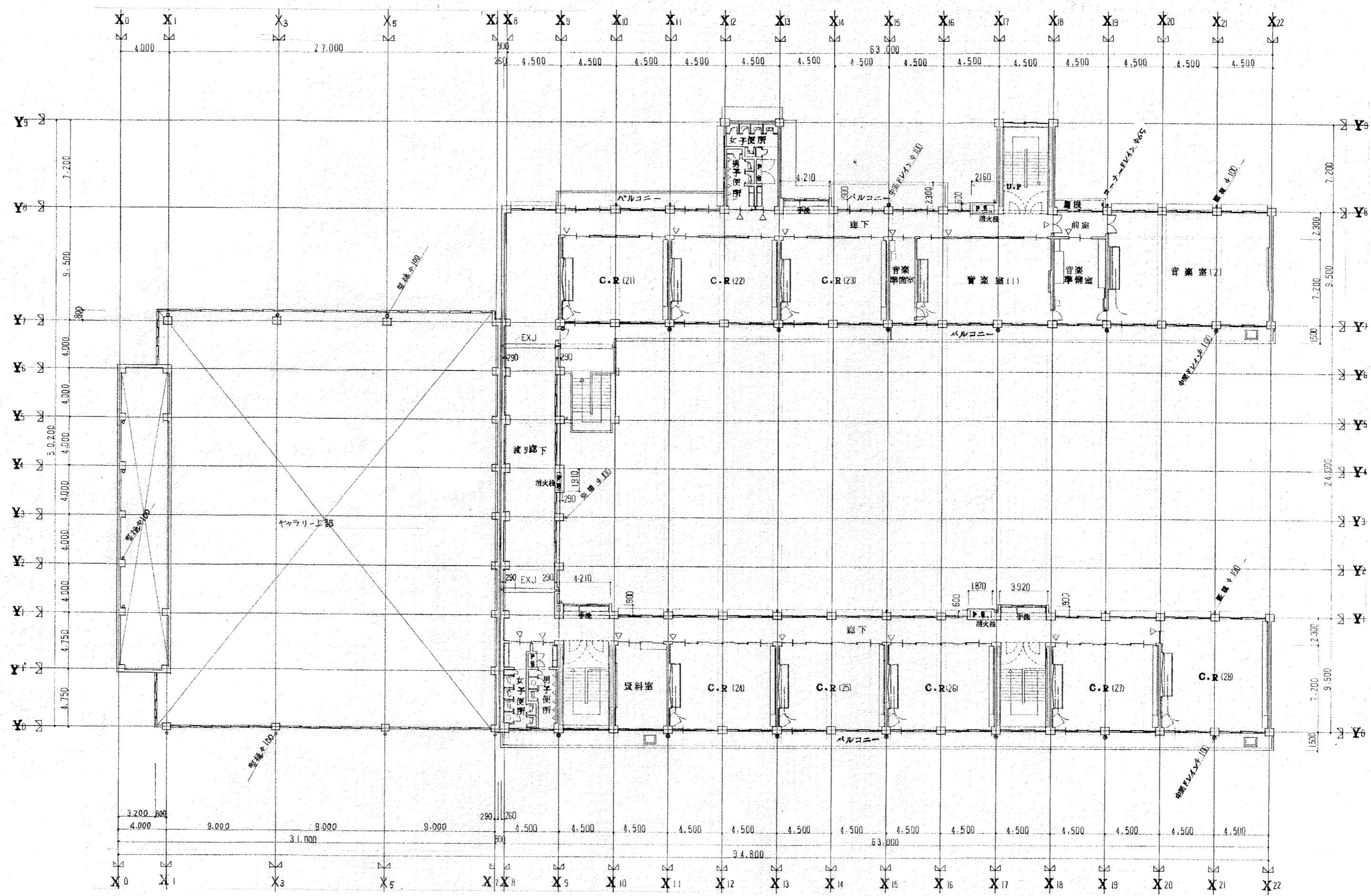


3階平面図

【 参考図 】

高知市 都市建設部 公共建築課

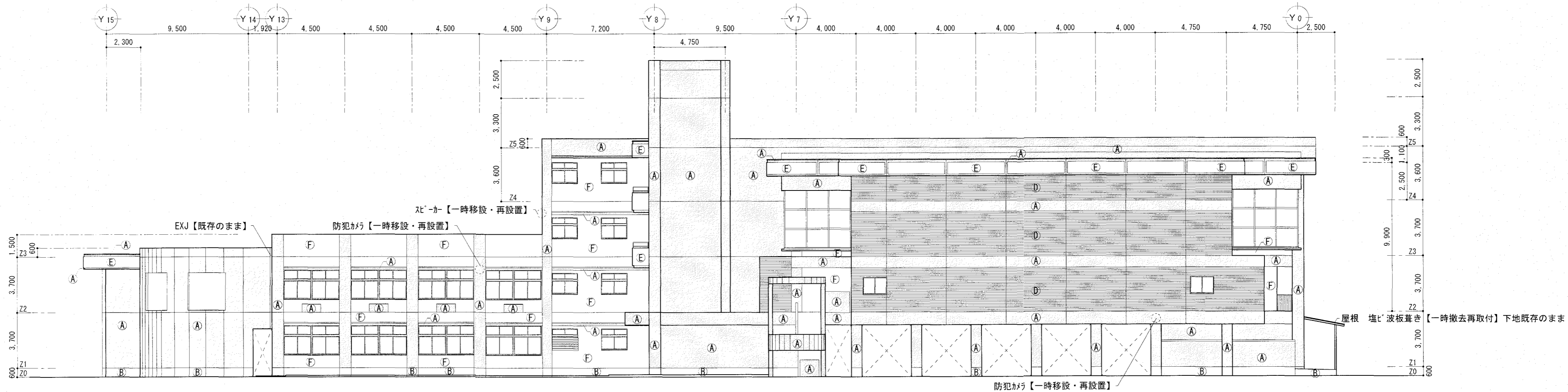
工事名	一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	3階平面図【参考図】	縮尺	1 / 300	作図	令和8年 2月 日	A-08



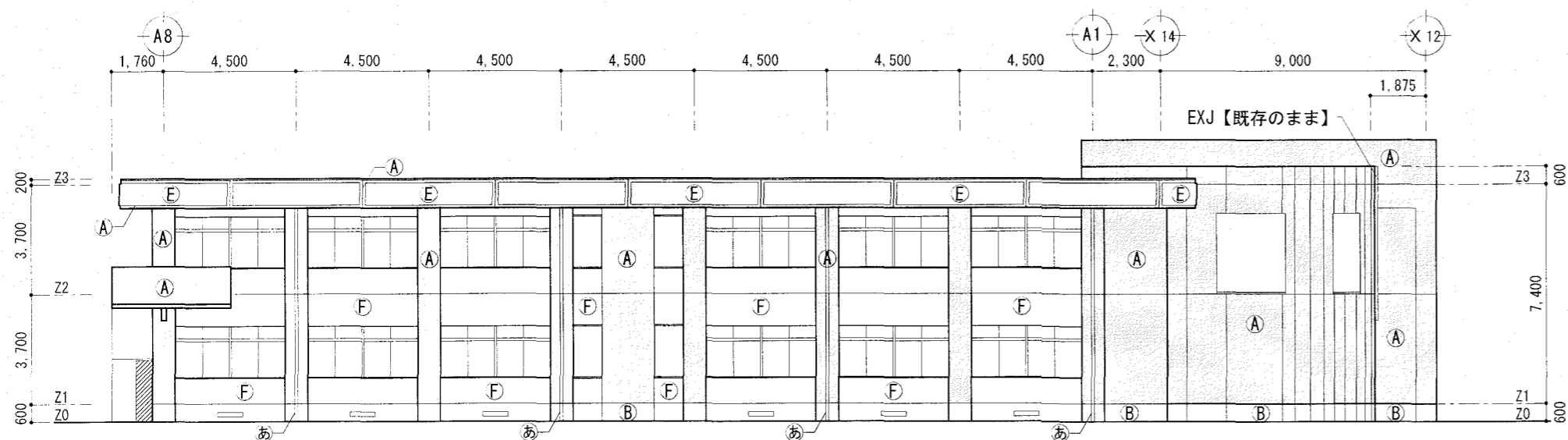
4階平面図

【 参考図 】

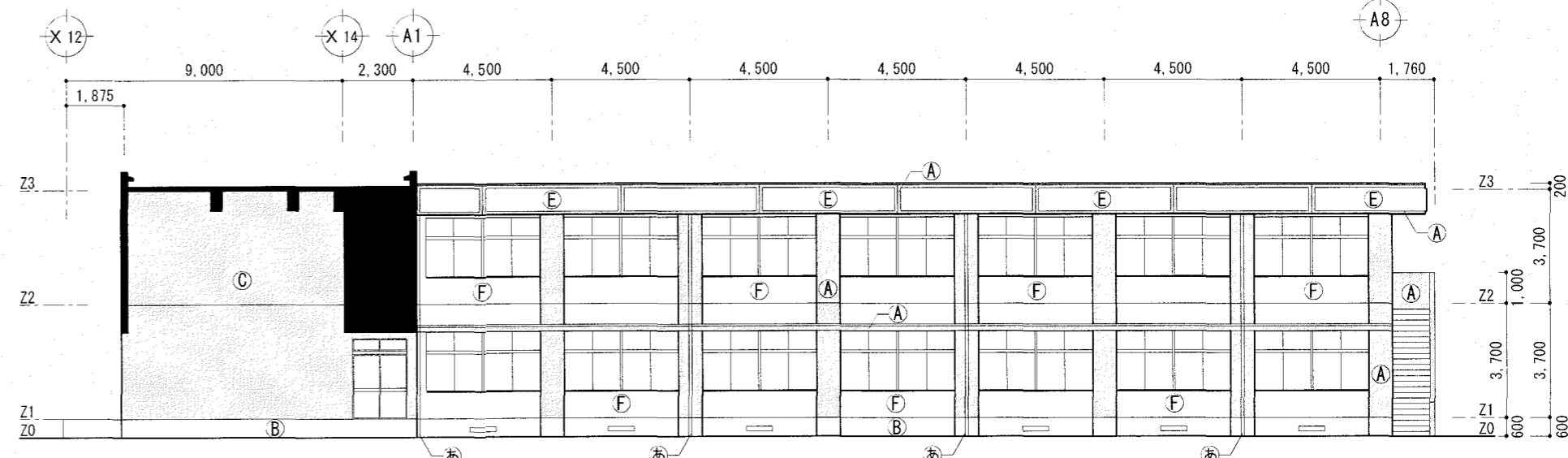
		高知市 都市建設部 公共建築課		工事名 一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事		係	係長	課長補佐	課長	図面番号 A-09
				図面名 4階平面図【参考図】		縮尺 1 / 300		作図 令和8年 2月 日		



西立面図 北舎・中舎・屋内運動場 1/200



北立面図 北舎 1/200



南立面図 北舎 1/200

外壁改修【コンクリート打放し仕上げ】		合計
ひび割れ (0.2以上~1.0mm未満)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	100.0 m
ひび割れ (1.0mm以上)	ウツソル材充填工法	0.5 m
欠損	充填工法 (エポキシ樹脂モルタル)	20.00 m ²

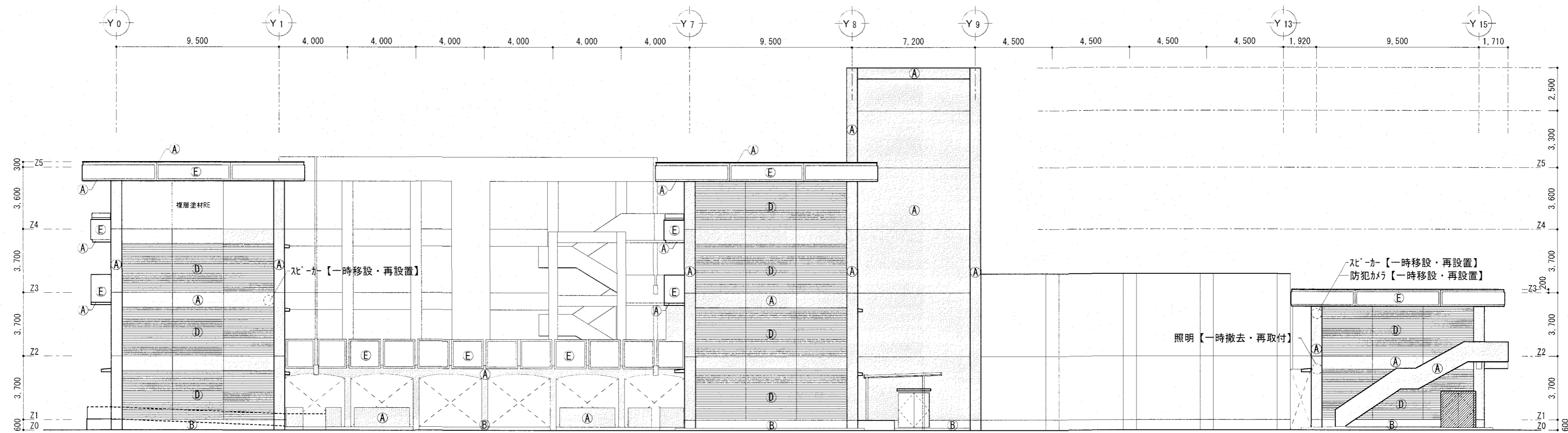
外壁改修【タイル張り仕上げ】		合計
ひび割れ (0.2以上~1.0mm未満)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	10.00 m
ひび割れ (1.0mm以上)	ウツソル材充填工法	
浮き (一般部)	注入口付アンカビシニング全面珪矽樹脂注入工法	5.00 m ²
浮き (指定部)	注入口付アンカビシニング全面珪矽樹脂注入工法	
浮き (挟幅部)	注入口付アンカビシニング全面珪矽樹脂注入工法	
欠損	タイル張替え工法	

- ※ 数量及び工法は想定とし、施工数量調査の結果により変更する。
- ※ EXJ及び [斜線] 部は、施工数量調査範囲外とする。
- ※ 外壁面既存サッシ廻りシーリング MS-2(10×10)二重水切り共、撤去・新設とする。
- ※ 目地シーリング PS-2(15×15)たてよこ共、Z1目地シーリングPS-2 (20×10) 撤去・新設とする。

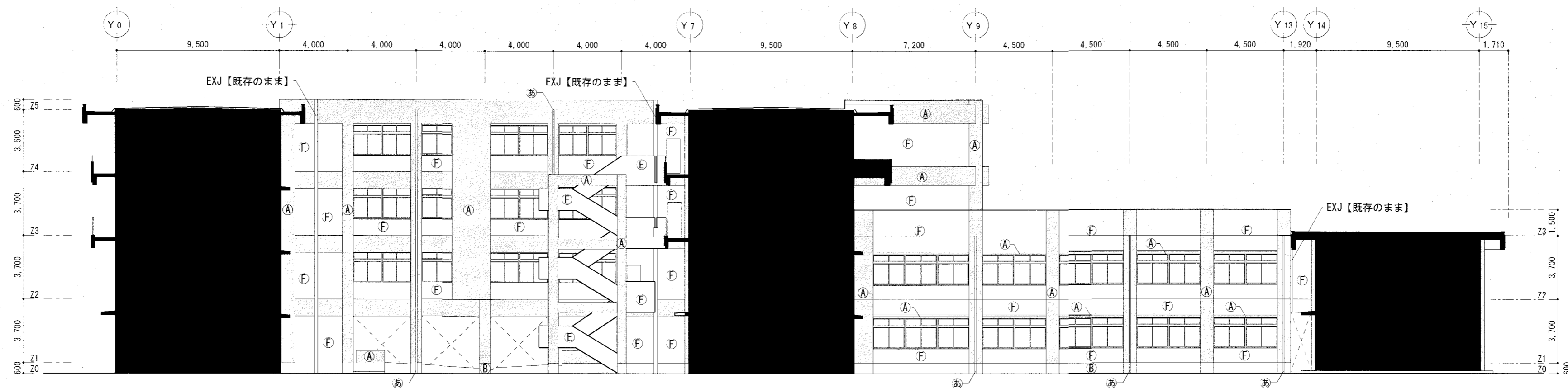
既存仕上表	改修後仕上表
(A) ベニヤ型枠コンクリート打放し浸透性防水材吹付	(A) 水洗い工法
(B) モルタル引抜き	(B) 水洗い工法
(C) コンクリート打放し	(C) 水洗い工法
(D) 2丁掛タイル貼り	(D) 水洗い工法
(E) ベニヤ型枠コンクリート打放し吹付タイル	(E) 水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
(F) ベニヤ型枠コンクリート打放し吹付	(F) 水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
あ 樋-VPφ100 VP塗(摺り金物共)	あ 既存【撤去】、お-VPφ100 (摺り金物共) 【新設】

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事	係	和	係長	田	課長補佐	濱	課長	松	図面番号	A-11
図面名	立面図 1	縮尺	1/200	作図	令和8年	2月	日				



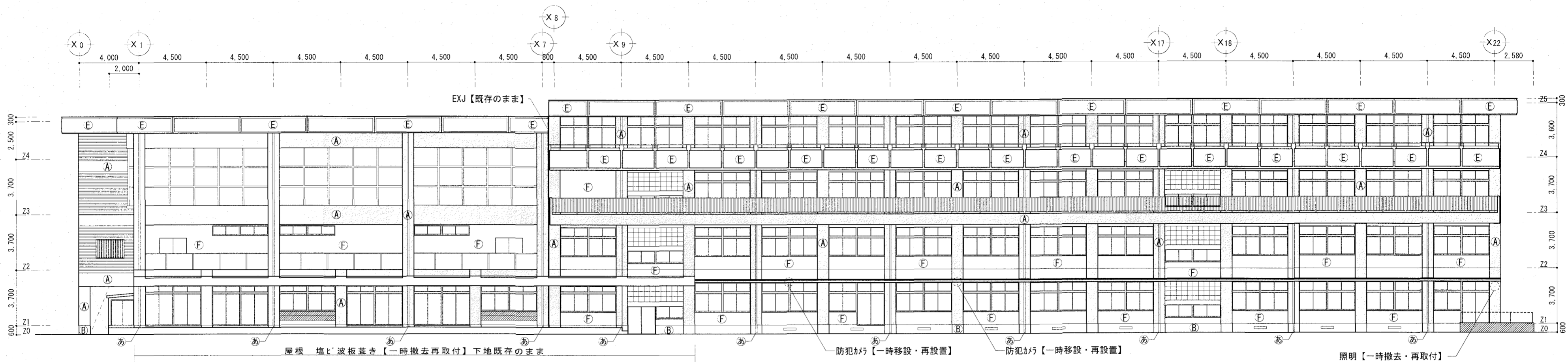
東立面図 南舎・渡り廊下2・中舎・北舎 1/200



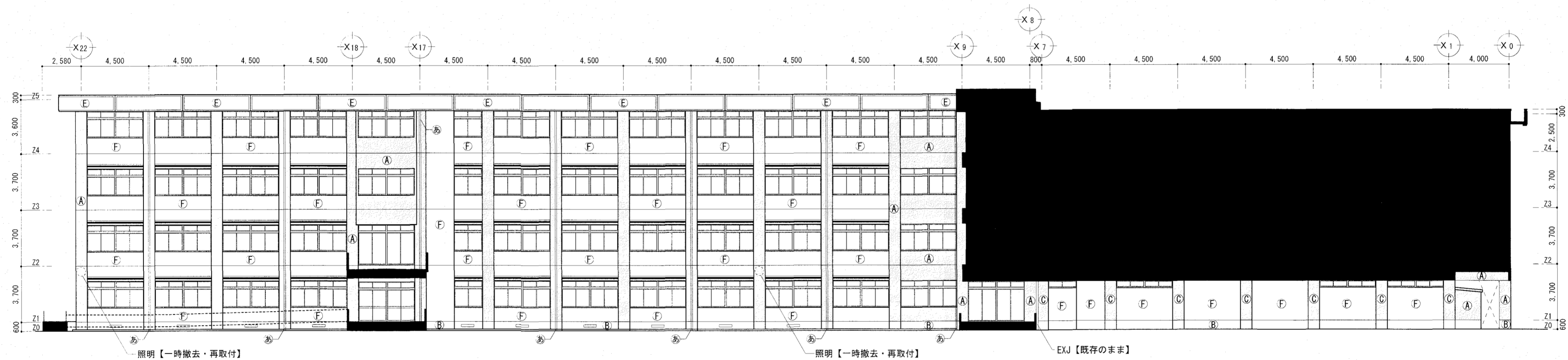
東立面図 渡り廊下1・中舎 1/200

- ※ 数量及び工法は想定とし、施工数量調査の結果により変更する。
- ※ EXJ及び 部は、施工数量調査範囲外とする。
- ※ 外壁面既存サッシ廻りシーリング MS-2(10×10)二重水切り共、撤去・新設とする。
- ※ 目地シーリング PS-2(15×15)たてよこ共、Z1目地シーリングPS-2(20×10)撤去・新設とする。

既存仕上表	改修後仕上表
A ベニヤ型枠コンクリート打放し浸透性防水材吹付	A 水洗い工法
B モルタル刷毛引き	B 水洗い工法
C コンクリート打放し	C 水洗い工法
D 2丁掛タイル貼り	D 水洗い工法
E ベニヤ型枠コンクリート打放し吹付タイル	E 水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
F ベニヤ型枠コンクリート打放しリソ吹付 複層塗材RE	F 水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E 水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
あ 樋-VPφ100 DP塗(掴み金物共)	あ 既存【撤去】、-VPφ100(掴み金物共)【新設】



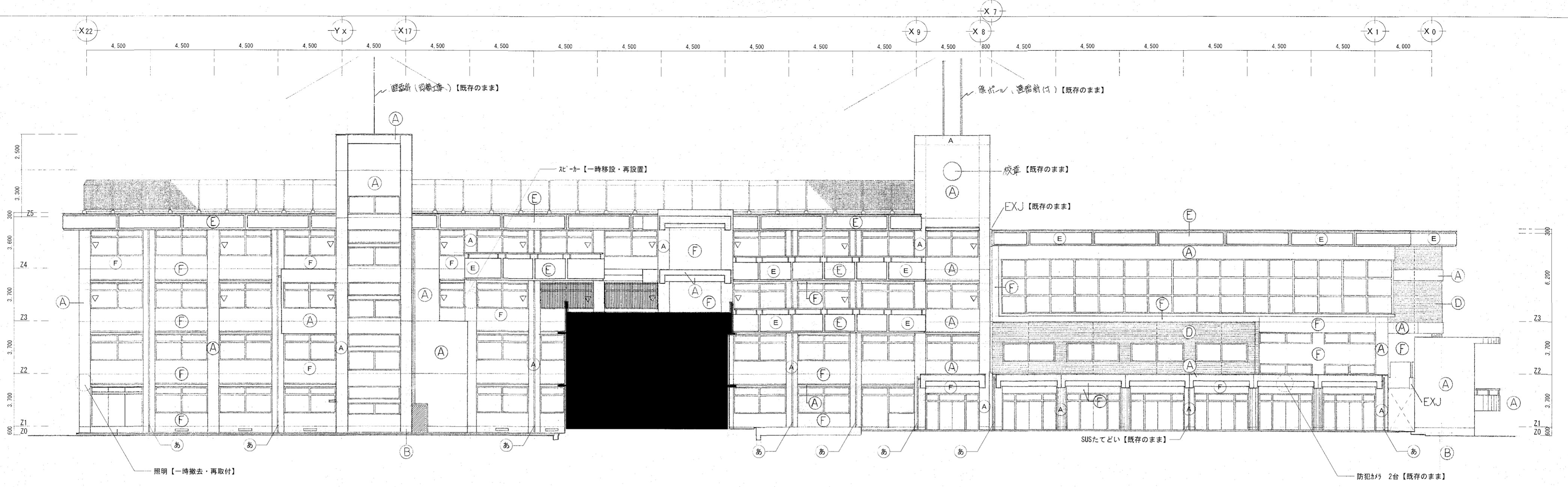
南舎南面立面図 1/200



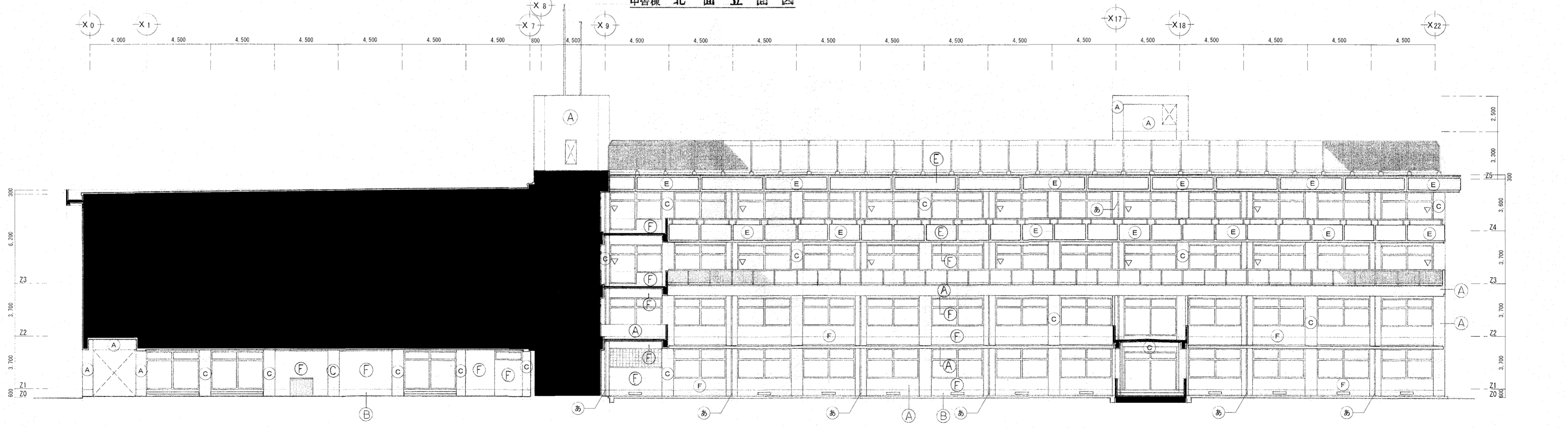
南舎北面立面図 1/200

- ※ 数量及び工法は想定とし、施工数量調査の結果により変更する。
- ※ EXJ及び 部は、施工数量調査範囲外とする。
- ※ 外壁面既存サッシ廻りシーリング MS-2(10×10)二重水切り共、撤去・新設とする。
- ※ 目地シーリング PS-2(15×15)たてよこ共、Z1目地シーリング PS-2(20×10) 撤去・新設とする。


既存仕上表	改修後仕上表
A ベニヤ型枠コンクリート打放し浸透性防水材吹付	A 水洗い工法
B モルタル刷毛引き	B 水洗い工法
C コンクリート打放し	C 水洗い工法
D 2丁掛タイル貼り	D 水洗い工法
E ベニヤ型枠コンクリート打放し吹付タイル	E 水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
F ベニヤ型枠コンクリート打放しリソ吹付	F 水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
あ 樋-VPφ100 DP塗(掴み金物共)	あ 既存【撤去】、カー-VPφ100(掴み金物共)【新設】



中舎棟 北面立面図






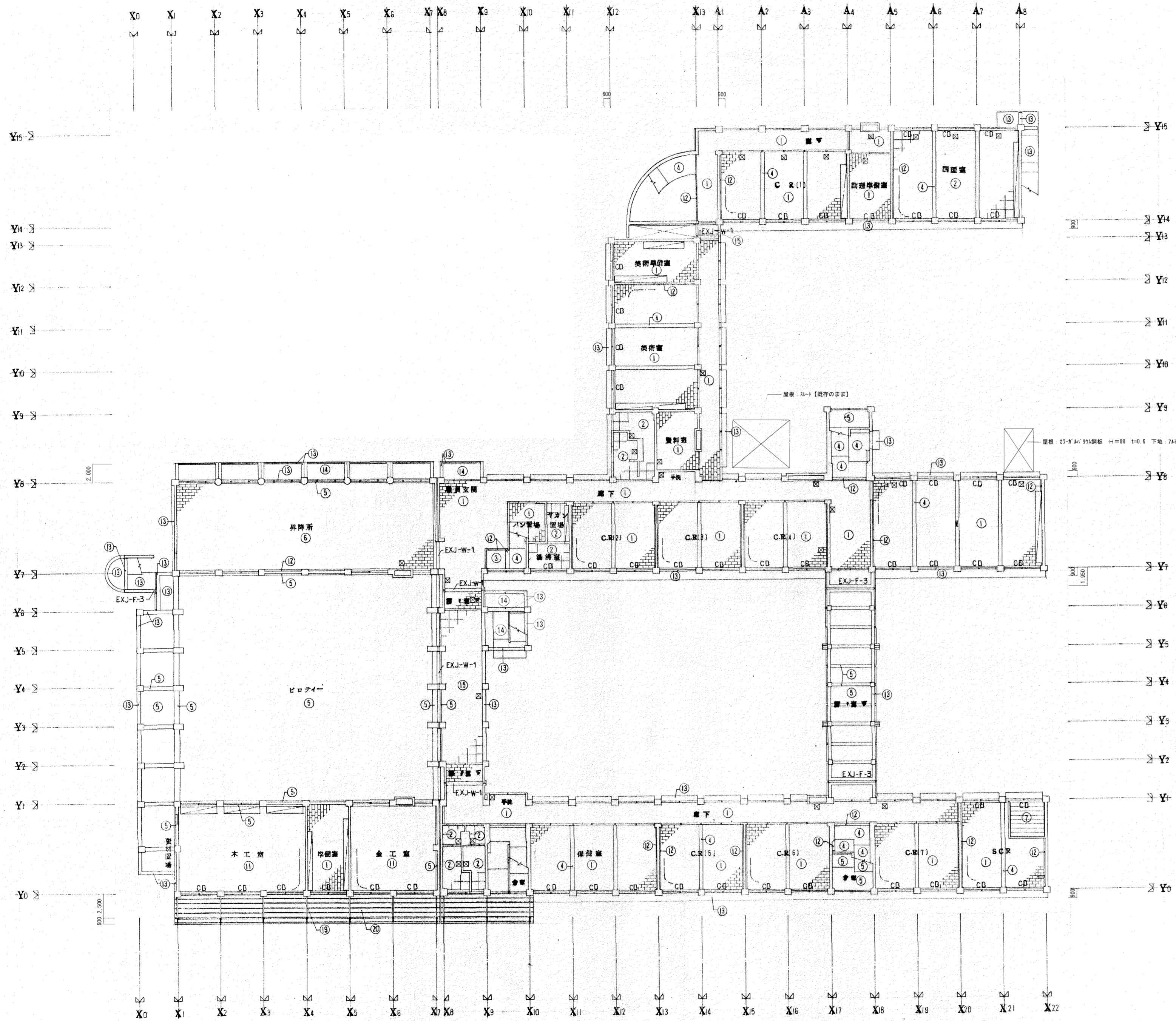
中舎棟 南面立面図

※ 数量及び工法は想定とし、施工数量調査の結果により変更する。
 ※ EXJ及び  部は、施工数量調査範囲外とする。
 ※ 外壁面既存サッシ廻りシーリング MS-2(10×10)二重水切り共、撤去・新設とする。
 ※ 目地シーリング PS-2(15×15)たてよこ共、Z1目地シーリングPS-2(20×10)撤去・新設とする。

既存仕上表		改修後仕上表	
A	ペニヤ型枠コンクリート打放し浸透性防水材吹付	A	水洗い工法
B	モルタル刷毛引き	B	水洗い工法
C	コンクリート打放し	C	水洗い工法
D	2丁掛タイル貼り	D	水洗い工法
E	ペニヤ型枠コンクリート打放し吹付タイル	E	水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
F	ペニヤ型枠コンクリート打放しリソウ吹付	F	水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
あ	幅VPφ100 DP塗(掴み金物共)	あ	既存【撤去】、幅VPφ100(掴み金物共)【新設】

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事				係長		課長補佐		課長		図面番号	A-14
図面名	立面図 4	縮尺	1 / 200	作図	令和8年	2月	日					



天井仕上表 改修後仕上げ表

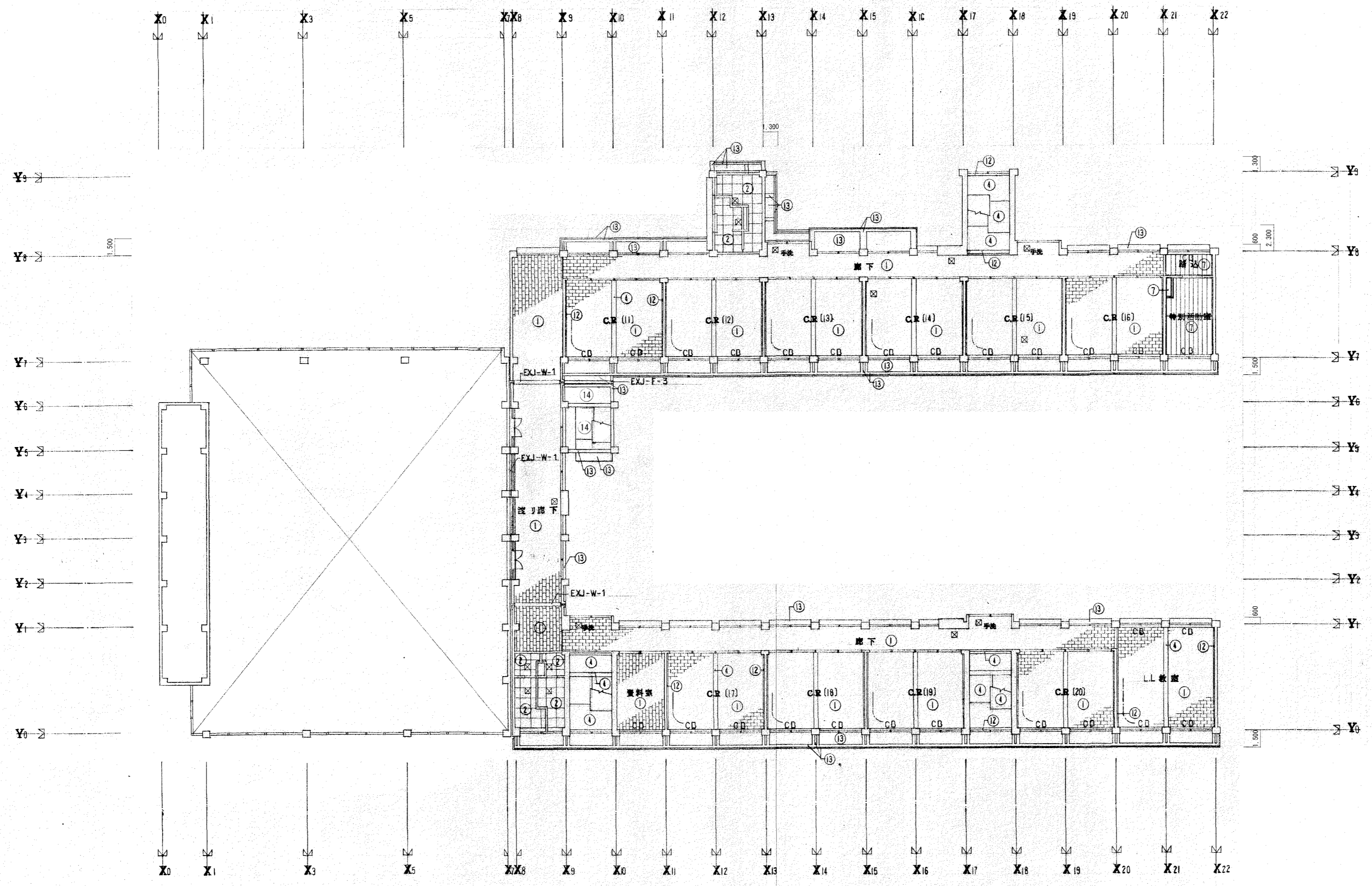
①	石膏ボード(PB付指貼)	
②	耐熱加工紙(防湿貼VPロー)	
③	PP①2目巻貼 OPロー	
④	ベニヤ板付設(一部取付済)	水洗い工法
⑤	ベニヤ板付設	水洗い工法
⑥	耐熱加工紙(防湿貼)	
⑦	珪藻土板(防湿ボード付)	
⑧	珪藻土板(防湿ボード付)	
⑨	耐熱加工紙(防湿貼)	
⑩	石膏ボード(防湿貼)	
⑪	石膏ボード(防湿貼)	
⑫	石膏ボード(防湿貼)	
⑬	ベニヤ板付設(一部取付済)	水洗い工法
⑭	ベニヤ板付設(一部取付済)	水洗い工法の上、外装薄塗E
⑮	耐熱加工紙(防湿貼)	既存のまま
⑯	珪藻土板(防湿ボード付)	既存のまま
⑰	A.L.C.板 EP取付	既存のまま
⑱	鉄骨見出し OP	一時撤去再取付
⑲	鉄骨見出し FE	既存のまま
⑳	珪藻土板	一時撤去再取付
㉑	石膏ボード(防湿貼)	既存のまま

□ 一天井換気口 450x450
 □ 一天井換気口 600x600 (鏡付)
 ※ 数量及び工法は想定とし、施工数量調査の結果により変更する。
 ※ 屋内及びEXJは、施工数量調査及び施工範囲対象外とし、既存のままとする。

1 階 天井伏図

高知市 都市建設部 公共建築課

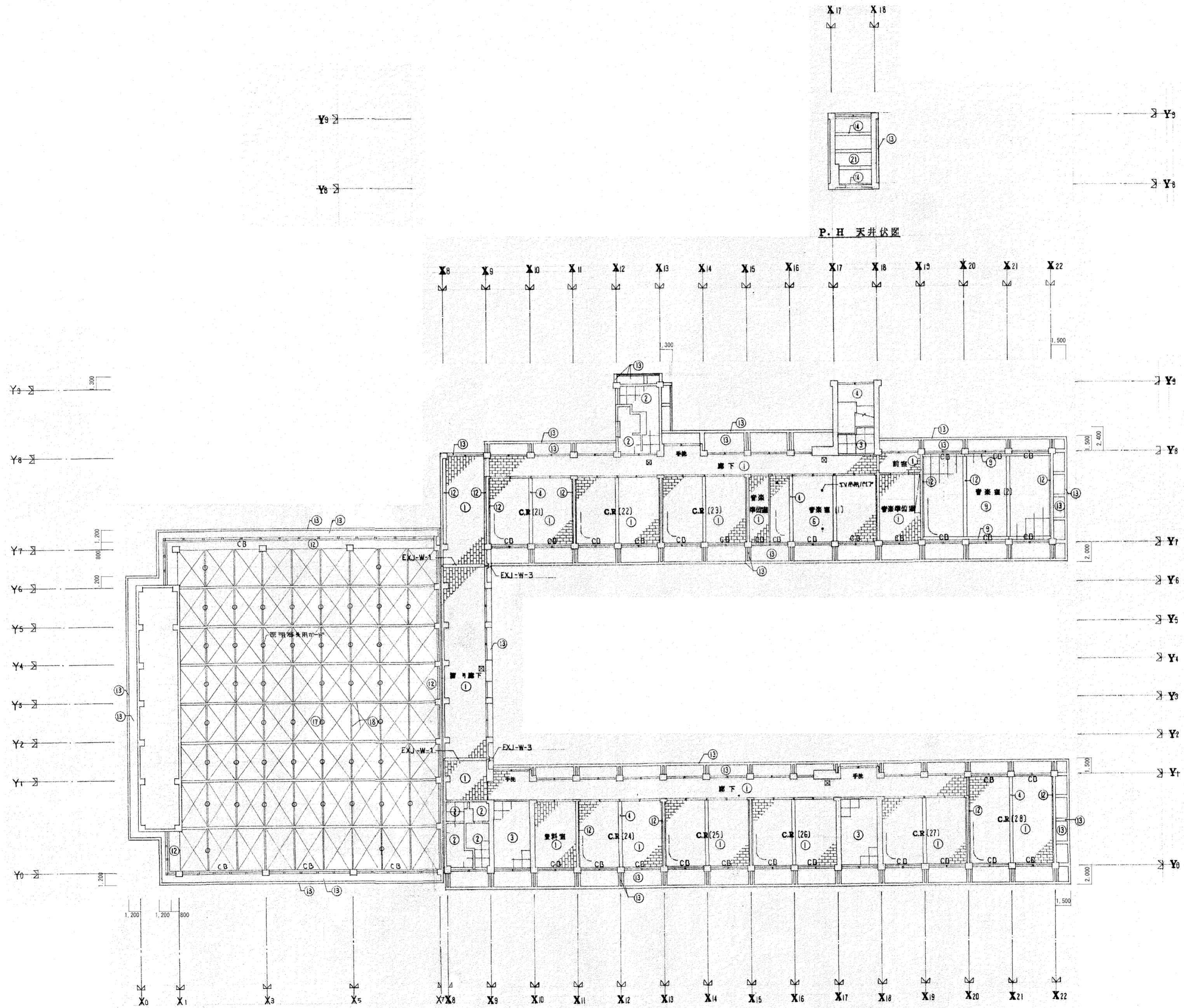
工事名	一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事			
係	和	田	川	口
係長	和	田	川	口
課長補佐	和	田	川	口
課長	和	田	川	口
図面番号	A-15			
図面名	1階天井伏図	縮尺	1 / 300	作図
令和8年	2月	日		



3階天井伏図

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事				図面番号	A-17
係	係長	課長補佐	課長	作図	令和8年	2月
図面名	3階天井伏図	縮尺	1 / 300	日		

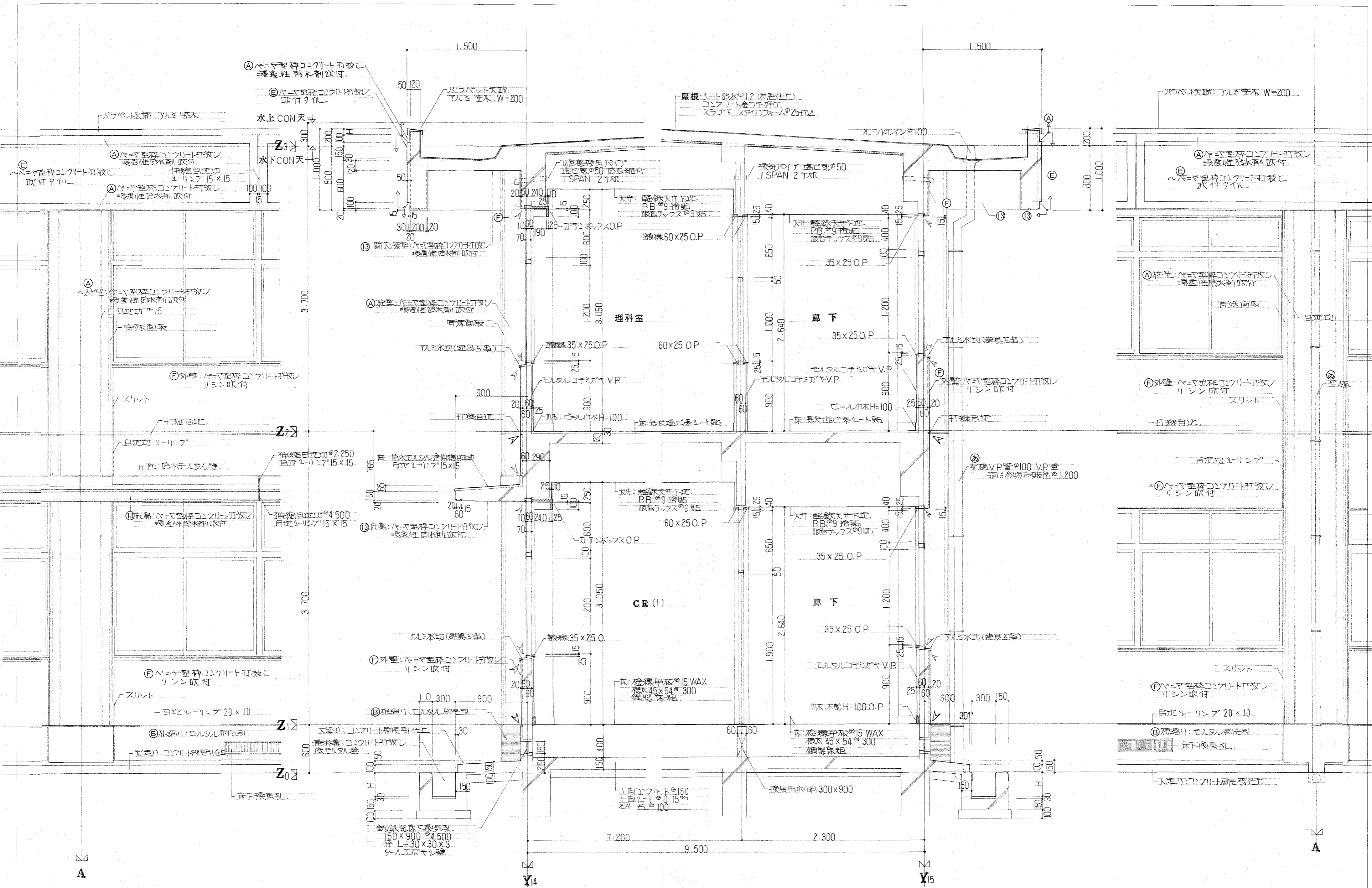


4階天井伏図

P.H.天井伏図

高知市 都市建設部 公共建築課

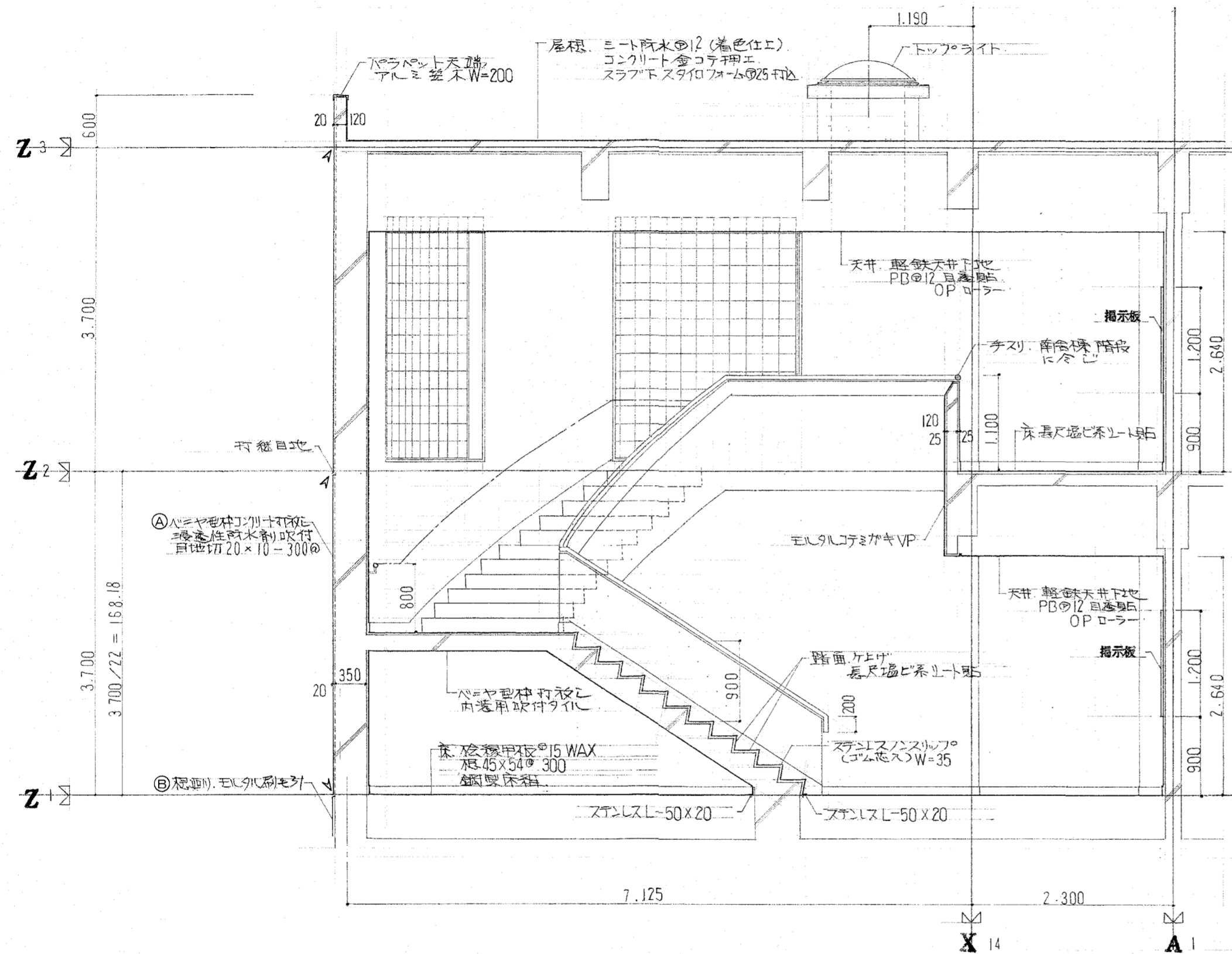
工事名	一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事	係	和	係長	田	課長補佐	濱	課長	松	図面番号	A-18
図面名	4階天井伏図	縮尺	1 / 300	作図	令和8年	2月	日				



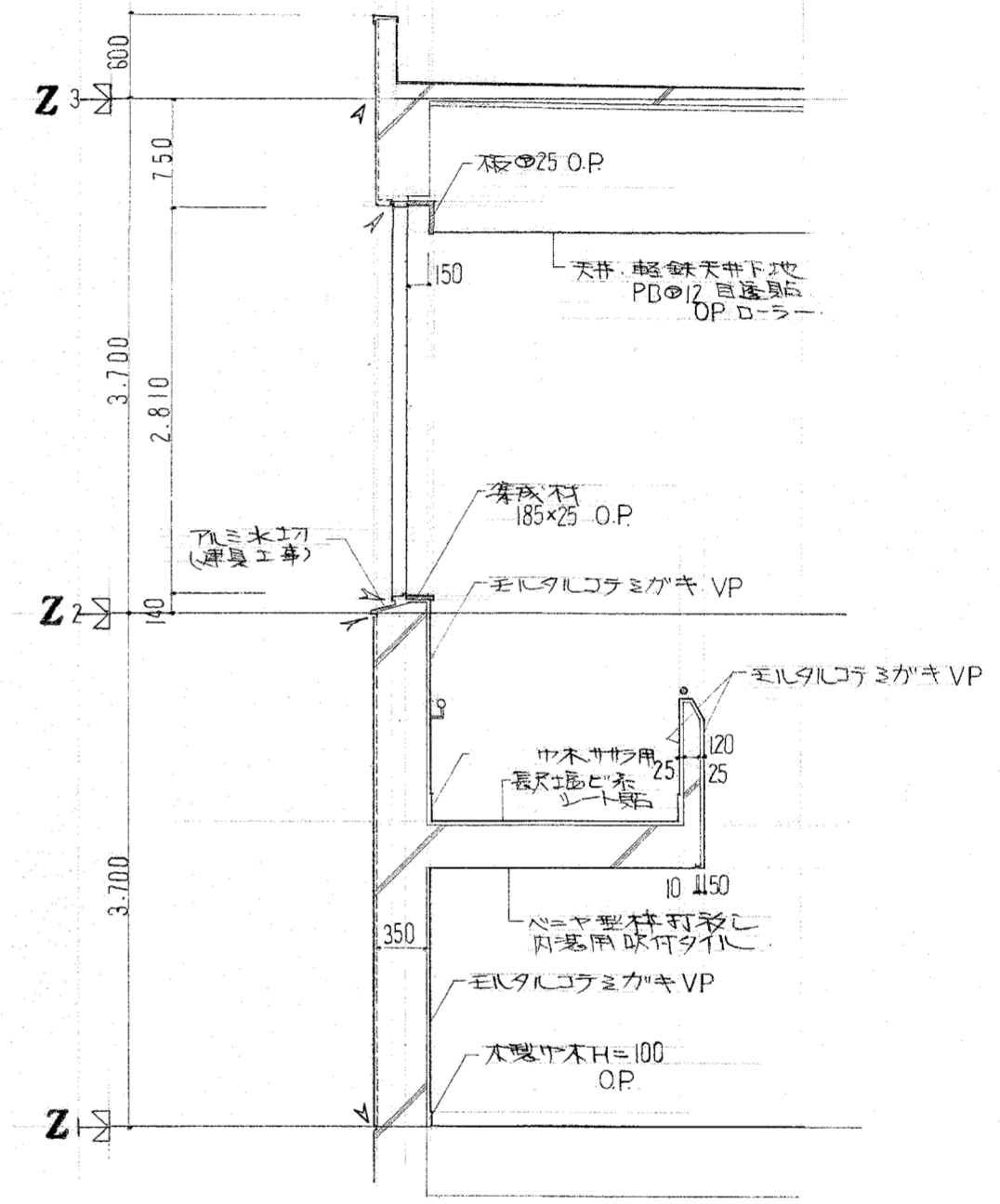
- ※ > : シリング打替えを示す。
- ※ 7M2 笠木、手摺、EXJは、既存のままとする。
- ※ 外壁面既存サッシ廻りシリング MS-2(10×10)二重水切り共、【撤去・新設】とする。
- ※ 目地シリング PS-2(15×15)たてよこ共、Z1目地シリングPS-2(20×10) 【撤去・新設】とする。
- ※ (文字)、【文字】の無いものは、既存のままとする。

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名 一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事	係 	係長 	課長補佐 	課長 	図面番号 A-19
図面名 北倉矩計図1	26.7	縮尺	1 / 50	作図 令和8年 2月 日	



A - 断面詳細図 1:50

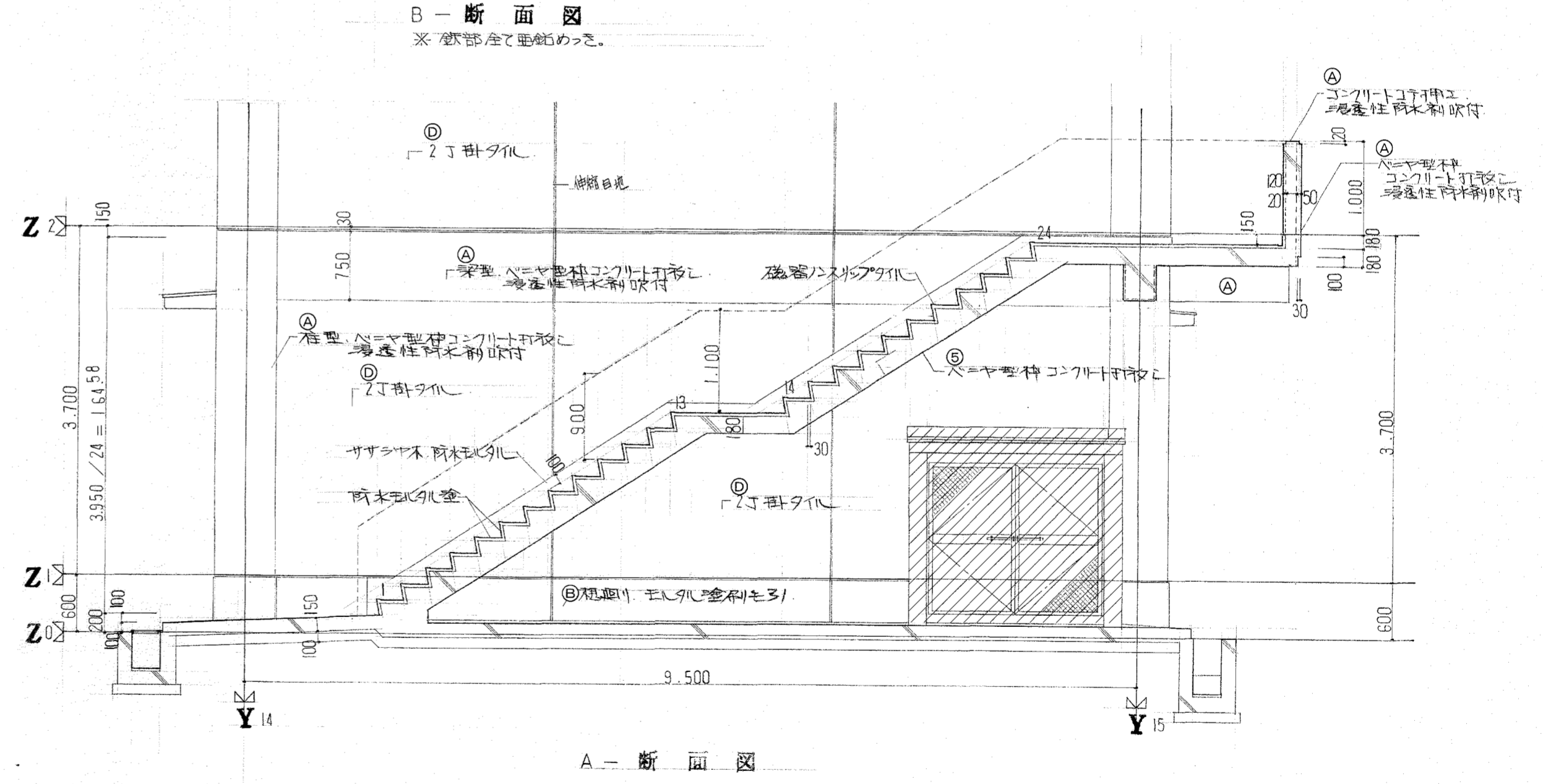
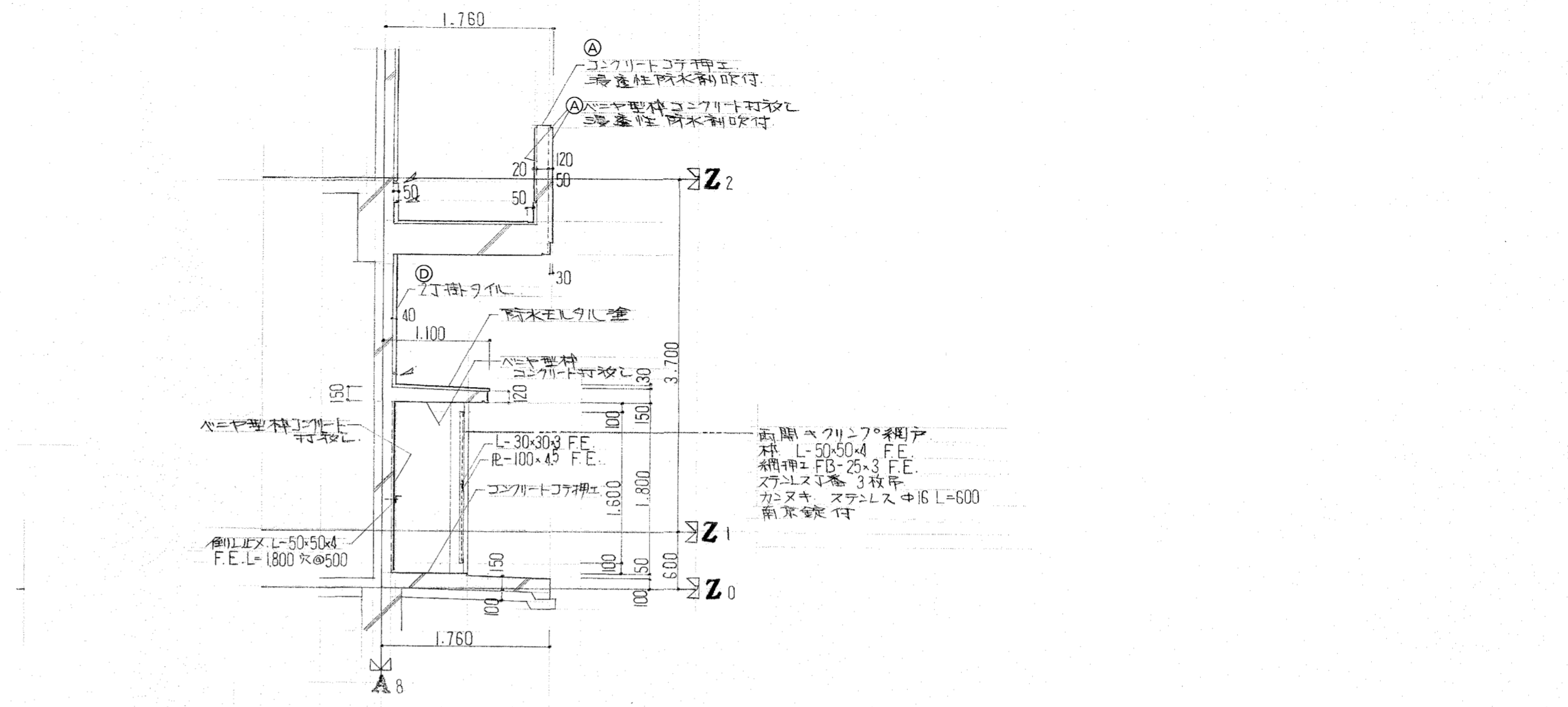
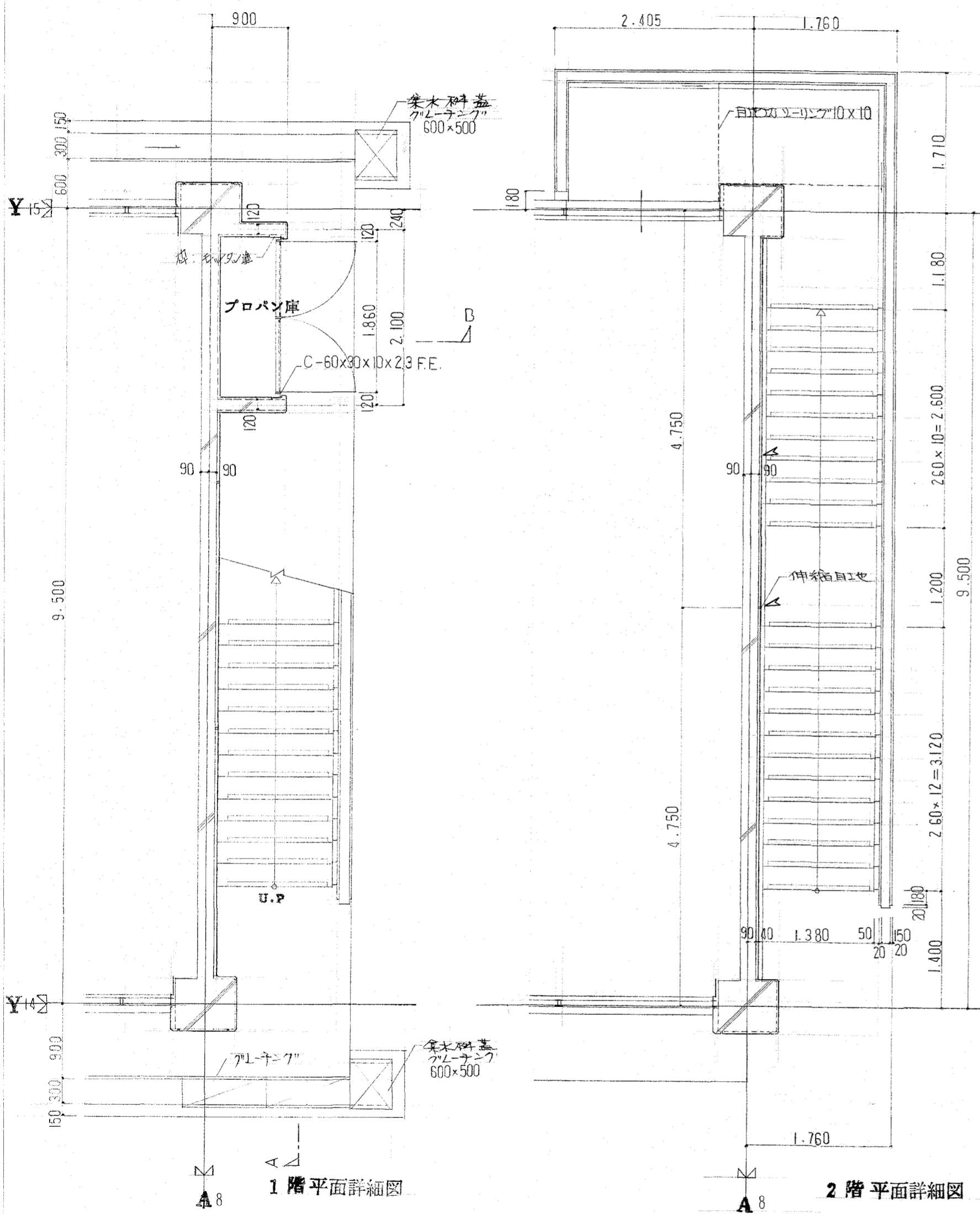


B - 断面詳細図 1:50

- ※ > : シリング 打替えを示す。
- ※ 7mm笠木、手摺、EXJは、既存のままとする。
- ※ 外壁面既存ツリ廻りシリング MS-2(10×10)二重水切り共、【撤去・新設】とする。
- ※ 目地シリング PS-2(15×15)たてよこ共、Z1目地シリング PS-2(20×10)【撤去・新設】とする。
- ※ (文字)、【文字】の無いものは、既存のままとする。

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事	和	田	津	松	A-20
図面名	縮尺	作図	年月日		
北倉矩計図2	1 / 50	令和8年 2月 日			

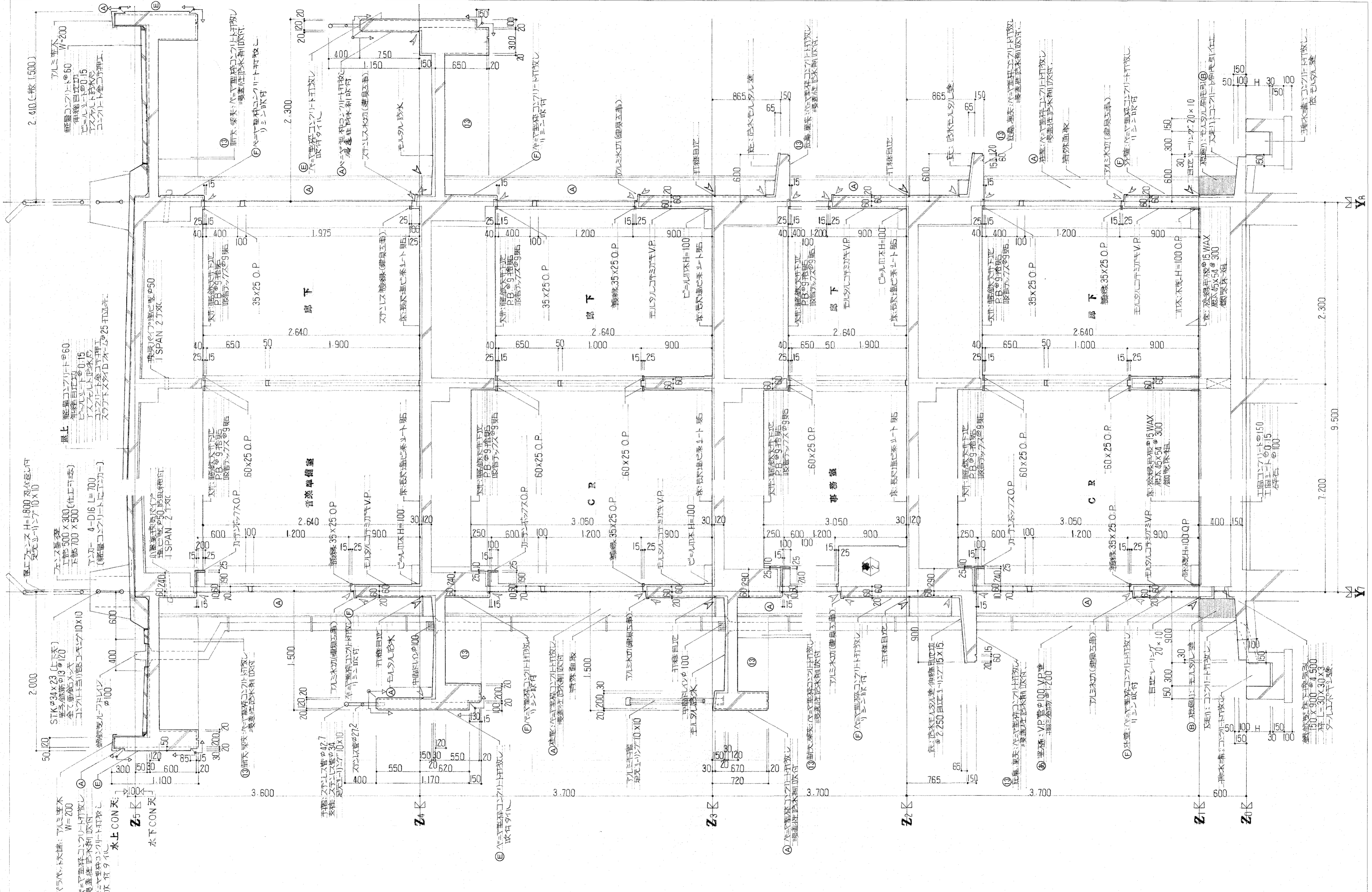


※ シリング打替えを示す。
 ※ 7材笠木、手摺、EKLは、既存のままとする。
 ※ プロパン庫は改修範囲対象外とする。

※ 外壁面既存サッシ廻りシリング MS-2(10×10)二重水切り共、【撤去・新設】とする。
 ※ 目地シリング PS-2(15×15)たてよこ共、Z1目地シリング PS-2(20×10) 【撤去・新設】とする。
 ※ (文字)、【文字】の無いものは、既存のままとする。

高知市 都市建設部 公共建築課

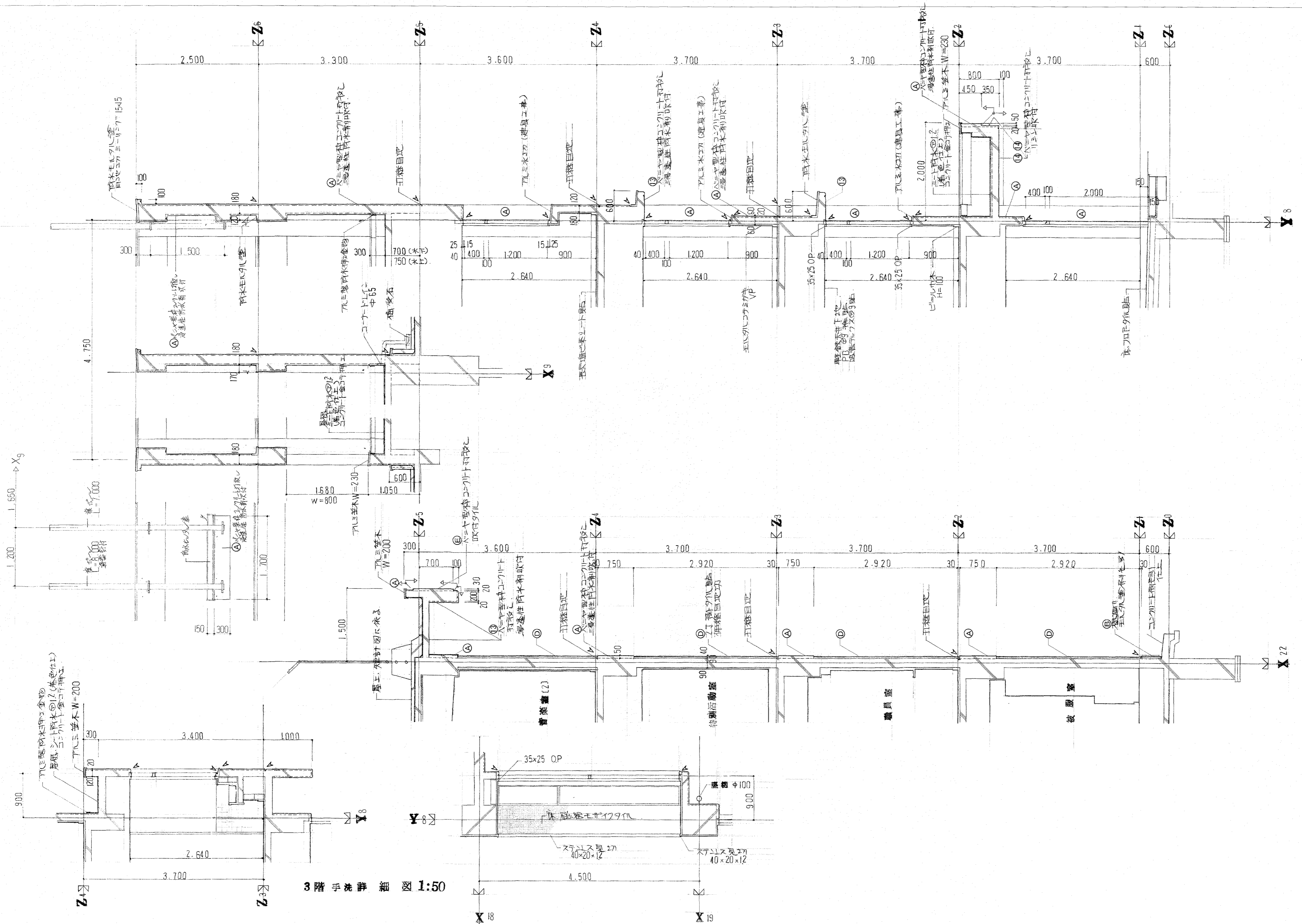
工事名	一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事	係	和田	係長	松本	課長補佐	濱口	課長	松本	図面番号	A-21
図面名	北倉屋外階段	縮尺	1 / 50	作図	令和8年	2月	日				



※ 〽 : シリング 打替えを示す。
 ※ 7号珪藻土、手摺、EXJは、既存のままとする。
 ※ 外壁面既存サッシ廻りシリング MS-2(10×10)二重切り共、【撤去・新設】とする。
 ※ 目地シリング PS-2(15×15)たてよ共、Z1目地シリング PS-2(20×10) 【撤去・新設】とする。
 ※ ⊗、【文字】の無いものは、既存のままとする。

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事
係長	和田 隆
課長補佐	吉田 浩
課長	松本 浩
図面番号	A-22
図面名	中舎設計図 1
縮尺	1 / 30
作図	令和8年 2月 日



3階平面詳細図 1:50

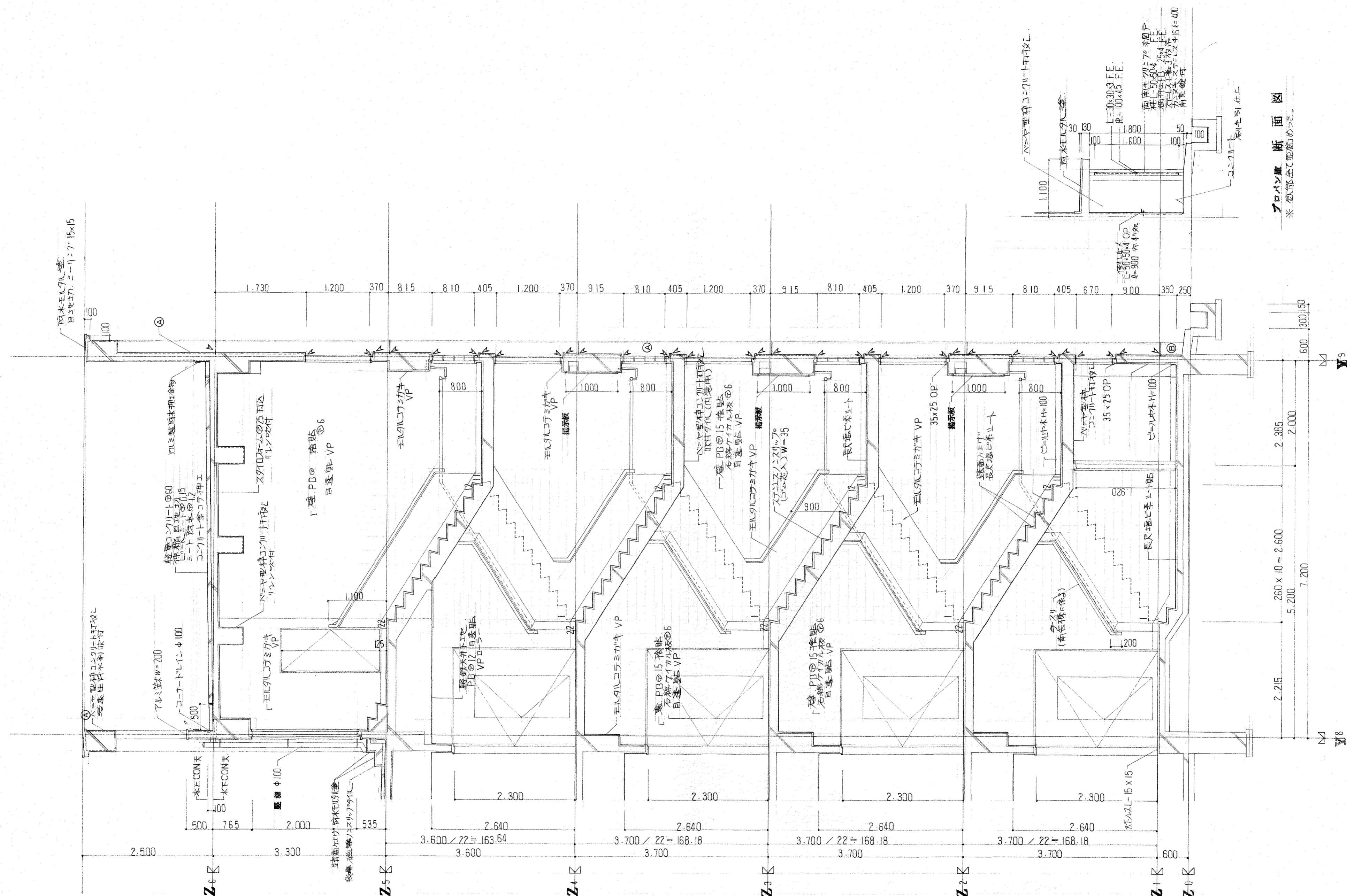
断面詳細図 1:50

断面詳細図 1:50
① 角合縁を準ずる。

- ※ ∇ : シリング 打替えを示す。
- ※ 7mm 鉄筋、手摺、EXJは、既存のままとする。
- ※ ①、【文字】の無いものは、既存のままとする。
- ※ 外壁面既存物廻りシリング MS-2(10×10) 二重水切り共、【撤去・新設】とする。
- ※ 目地シリング PS-2(15×15)たてよ共、Z1目地シリング PS-2 (20×10) 【撤去・新設】とする。

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事	和	田	濱	口	A-23
図面名 中舎矩計図2	26.7	縮尺	1 / 50	作図	令和8年 2月 日

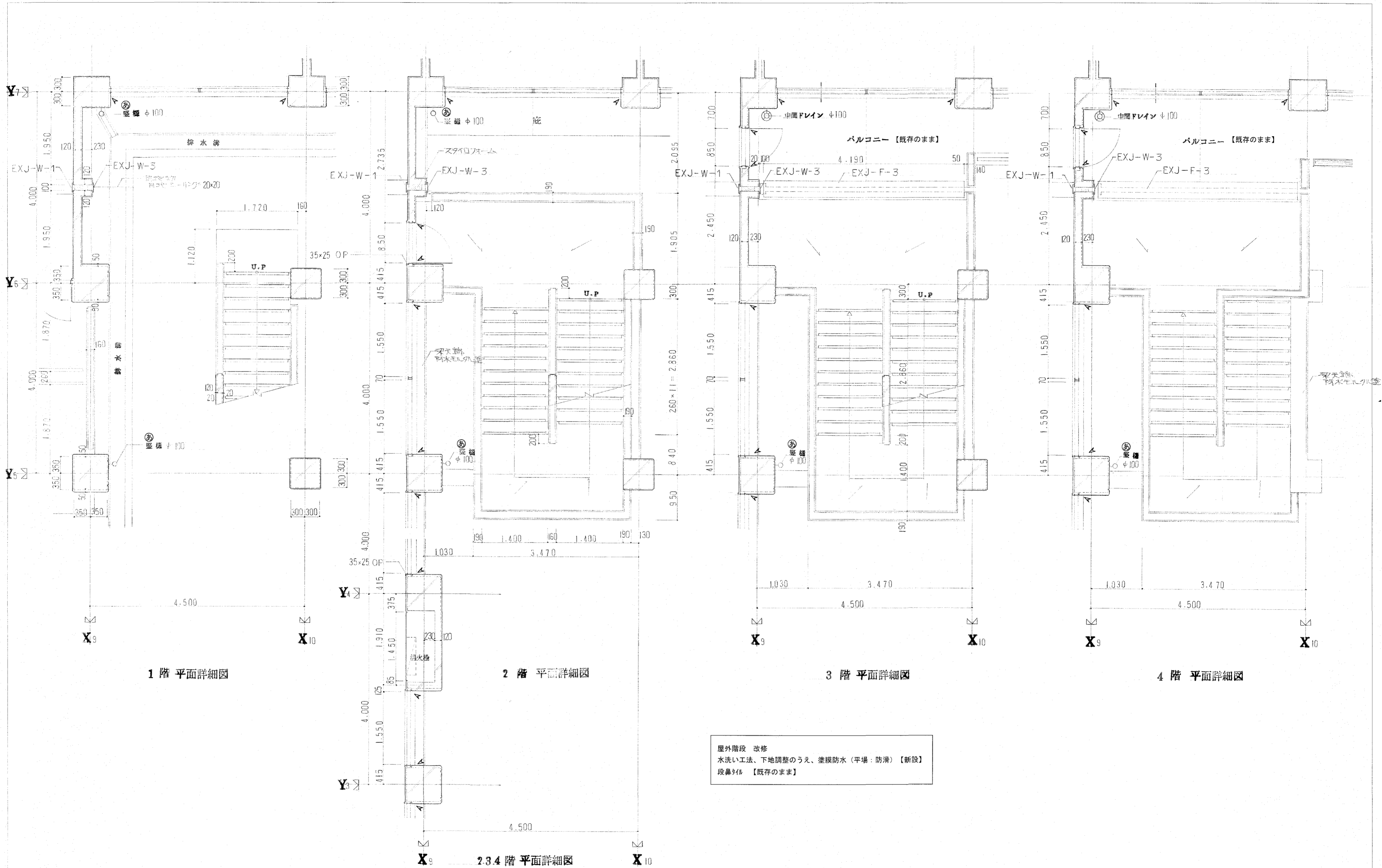


Z0-Y9 断面図
※ 鉄筋全て垂線のみ。

- ※ シーリング打替えを示す。
- ※ 外壁面既存サッシ廻りシーリング MS-2(10×10)二重水切り共、【撤去・新設】とする。
- ※ 70系笠木、手摺、EXJは、既存のままとする。
- ※ 目地シーリング PS-2(15×15)たてよこ共、Z1目地シーリング PS-2(20×10) 【撤去・新設】とする。
- ※ (文字)、【文字】の無いものは、既存のままとする。

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事			
係	和	田	長	補
係長	和	田	長	補
課長補佐	和	田	長	補
課長	和	田	長	補
図面番号	A-24			
図面名	中舎矩計図3	縮尺	1 / 50	作図
令和8年	2月	日		



1階 平面詳細図

2階 平面詳細図

3階 平面詳細図

4階 平面詳細図

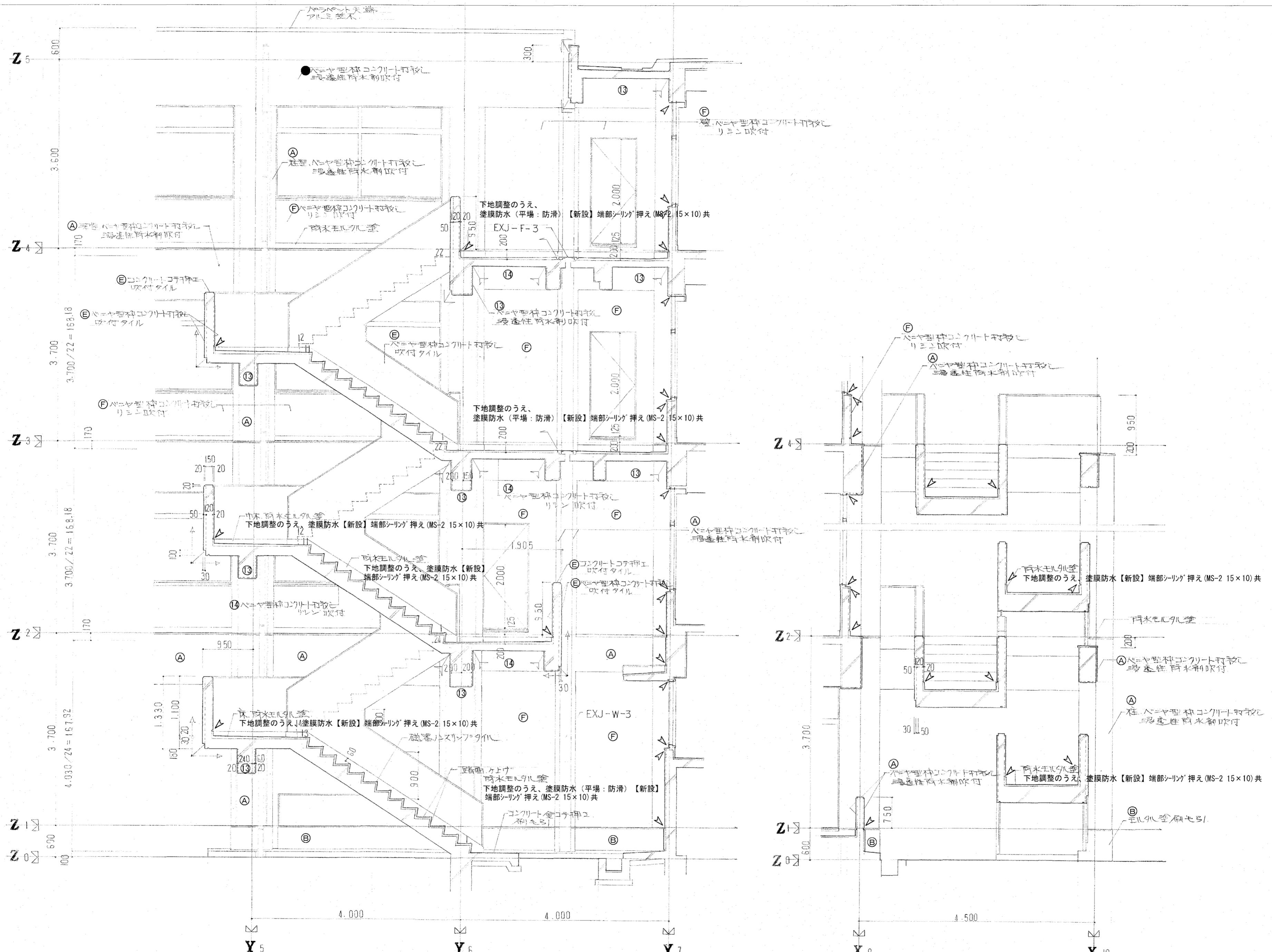
2,3,4階 平面詳細図

屋外階段 改修
 水洗い工法、下地調整のうえ、塗膜防水(平場:防滑)【新設】
 段鼻付体【既存のまま】

- ※ シーリング 打替えを示す。
- ※ 外壁面既存サッシ廻りシーリング MS-2(10×10)二重水切り共、【撤去・新設】とする。
- ※ 7系笠木、手摺、EXJは、既存のままとする。
- ※ 目地シーリング PS-2(15×15)たてよこ共、Z1目地シーリング PS-2 (20×10) 【撤去・新設】とする。
- ※ (文字)、【文字】の無いものは、既存のままとする。

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事	係	和	係長	田	課長補佐	濱	課長	松	図面番号	A-25
図面名	中倉屋外階段平面詳細図 26.7	縮尺	1 / 50	作図	令和8年	2月	日				

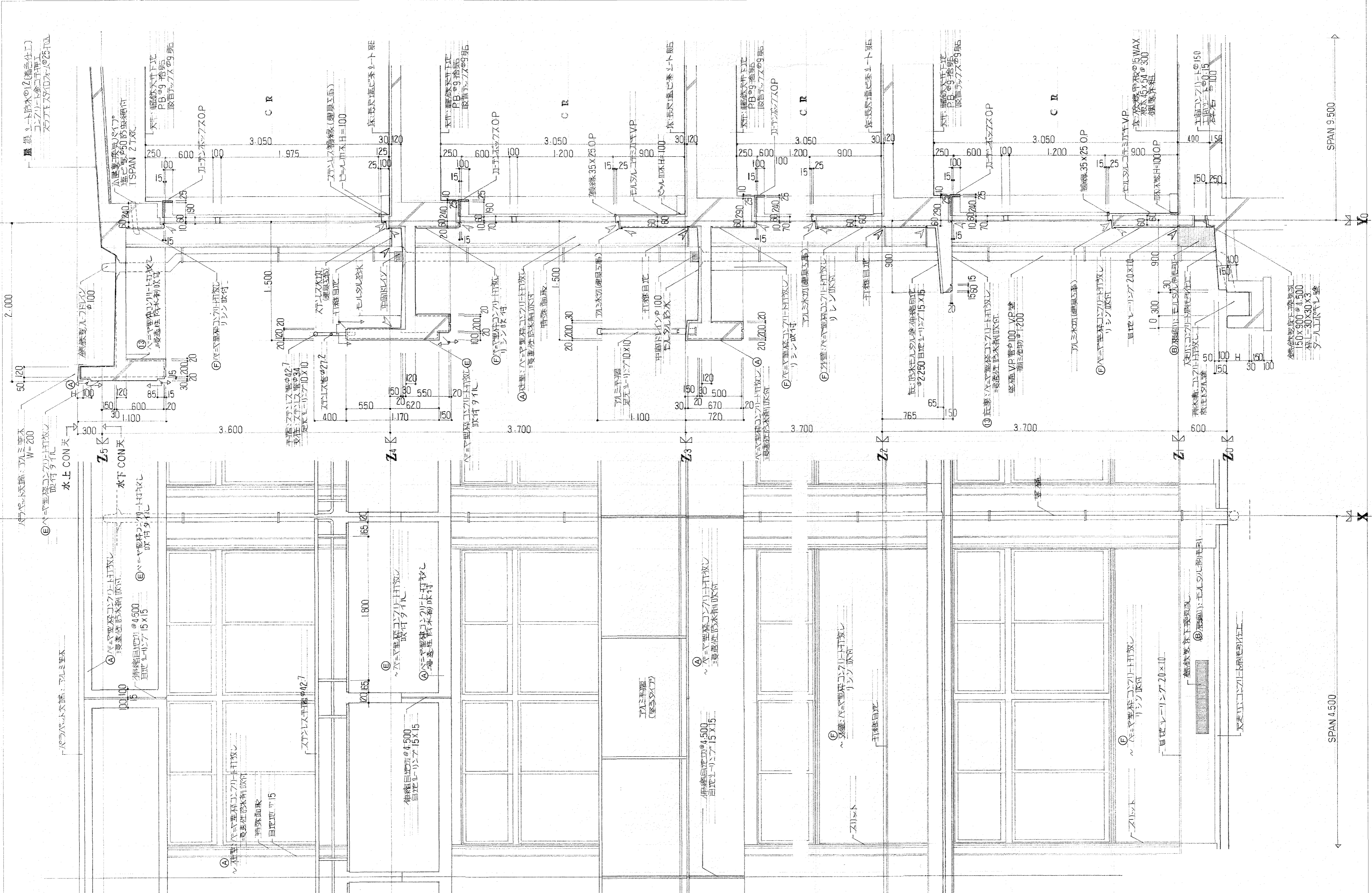


断面図 1:50

- ※ > : シリング 打替えを示す。
- ※ 7脚柱木、手摺、EXJは、既存のままとする。
- ※ 外壁面既存カッパ廻りシリング MS-2(10×10)二重水切り共、【撤去・新設】とする。
- ※ 目地シリング PS-2(15×15)たてよ共、Z1目地シリング PS-2(20×10) 【撤去・新設】とする。
- ※ (文字)、【文字】の無いものは、既存のままとする。

高知市 都市建設部 公共建築課

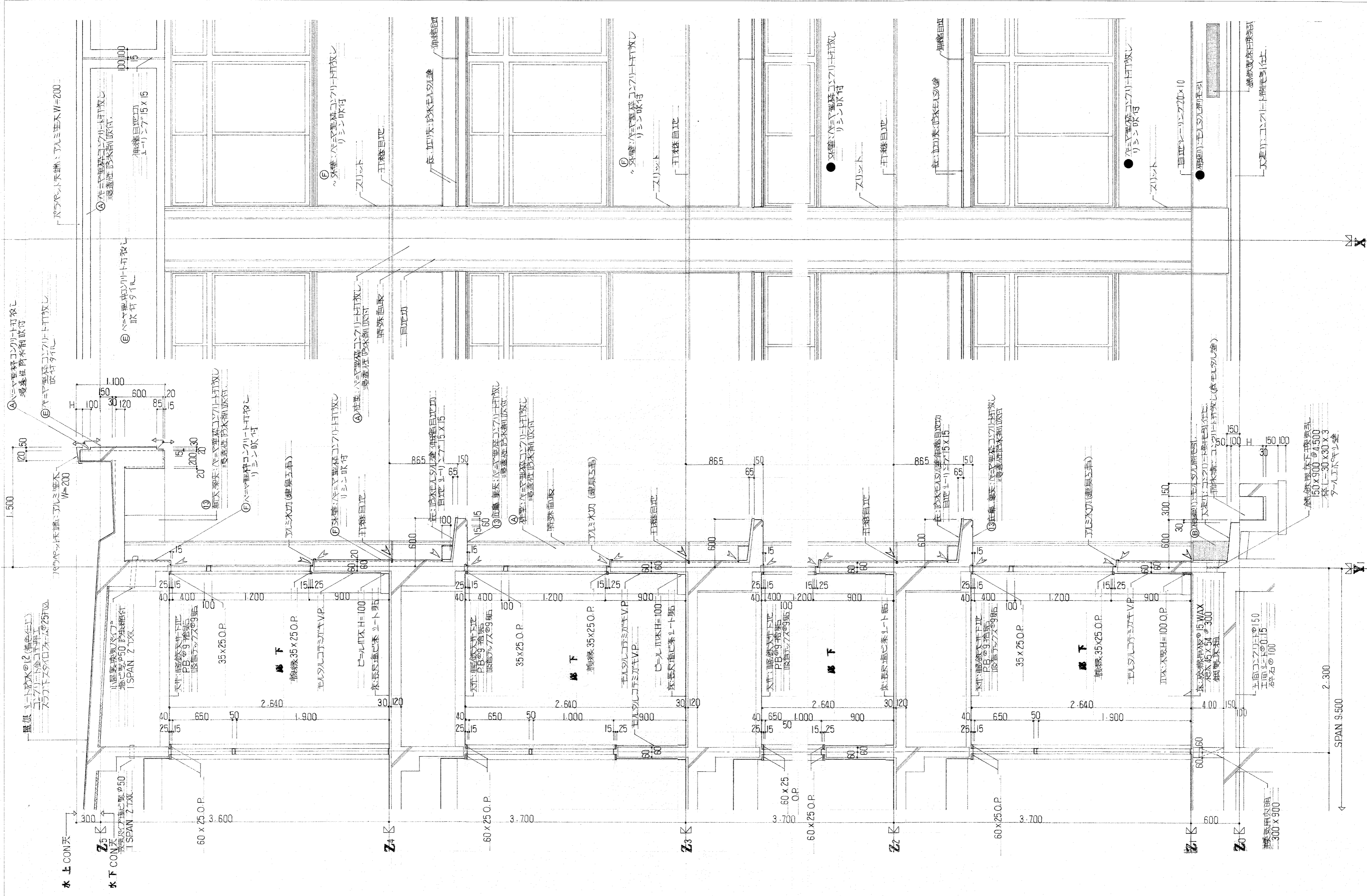
工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事	和	田	濱	松	A-26
図面名 中舎屋外階段断面図 26.7	縮尺 1 / 50	作図 令和8年 2月 日			



※ 〽 : シリング 打替えを示す。
 ※ 7が笠木、手摺、EXJは、既存のままとする。
 ※ 外壁面既存サッシ廻りシリング MS-2(10×10)二重水切り共、【撤去・新設】とする。
 ※ 目地シリング PS-2(15×15)たてよこ共、Z1目地シリングPS-2(20×10) 【撤去・新設】とする。
 ※ (※) 【文字】の無いものは、既存のままとする。

高知市 都市建設部 公共建築課

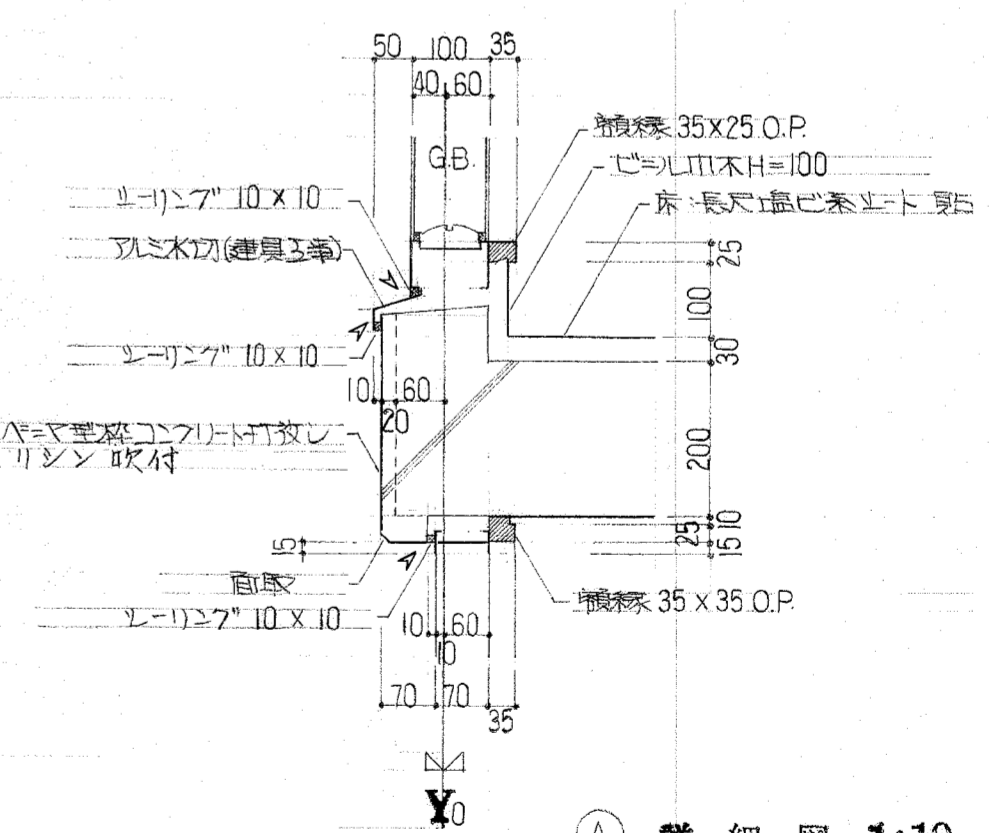
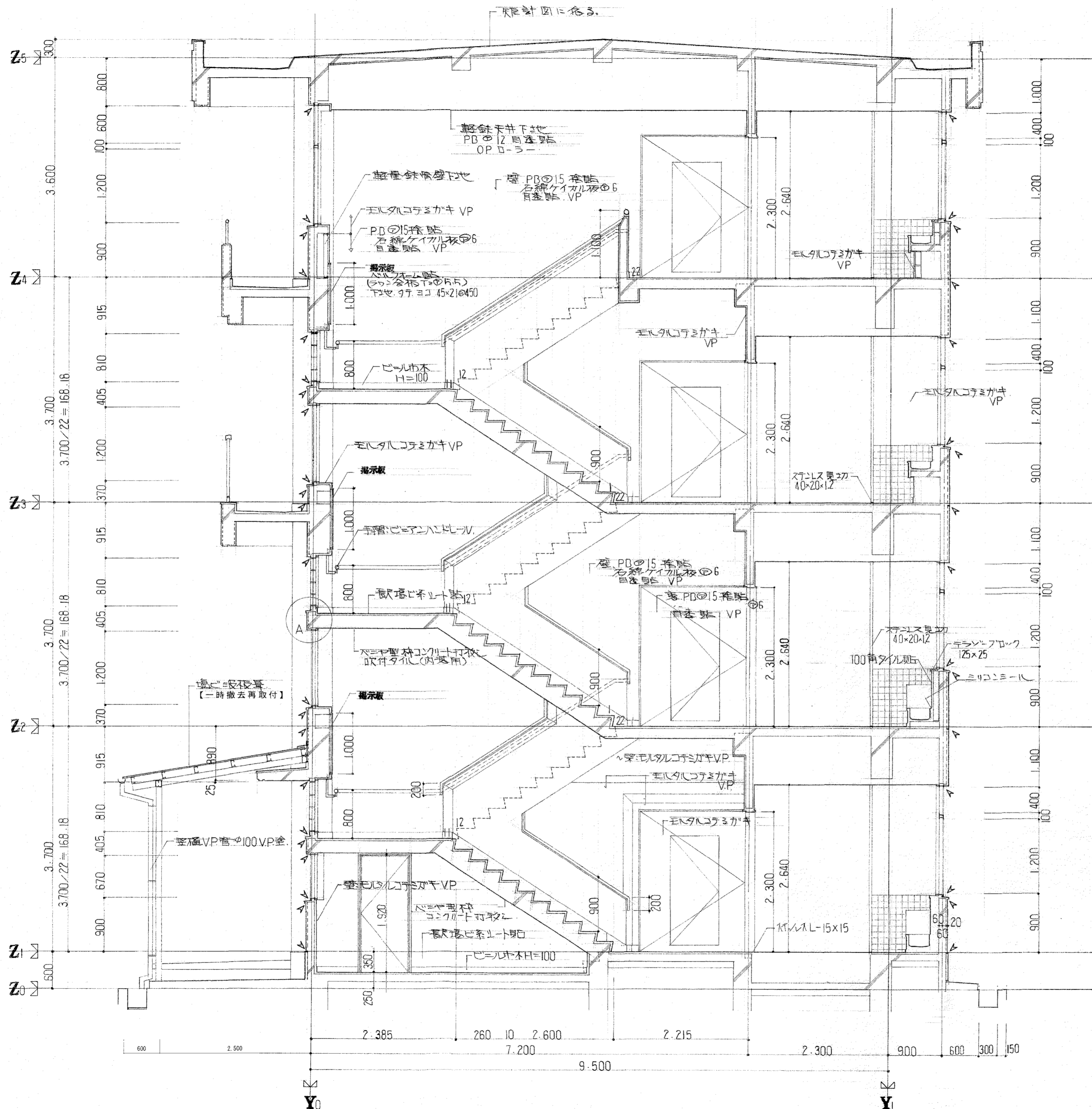
工事名	一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事
図面名	南舎短計図1
縮尺	1 / 30
作図	令和8年 2月 日
係長	和 田
課長補佐	津 口
課長	松 本
図面番号	A-27



- ※ ∇ : シリング打替えを示す。
- ※ 7mm 桟木、手摺、EXJは、既存のままとする。
- ※ 外壁面既存サッシ廻りシリング MS-2(10×10)二重水切り共、【撤去・新設】とする。
- ※ 目地シリング PS-2(15×15)たてよこ共、Z1目地シリング PS-2 (20×10) 【撤去・新設】とする。
- ※ $\text{\textcircled{X}}$ 、【文字】の無いものは、既存のままとする。

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名 一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事	係長 	課長補佐 	課長 	図面番号 A-28
図面名 南舎矩計図2	縮尺 1 / 30	作図 令和8年 2月 日		

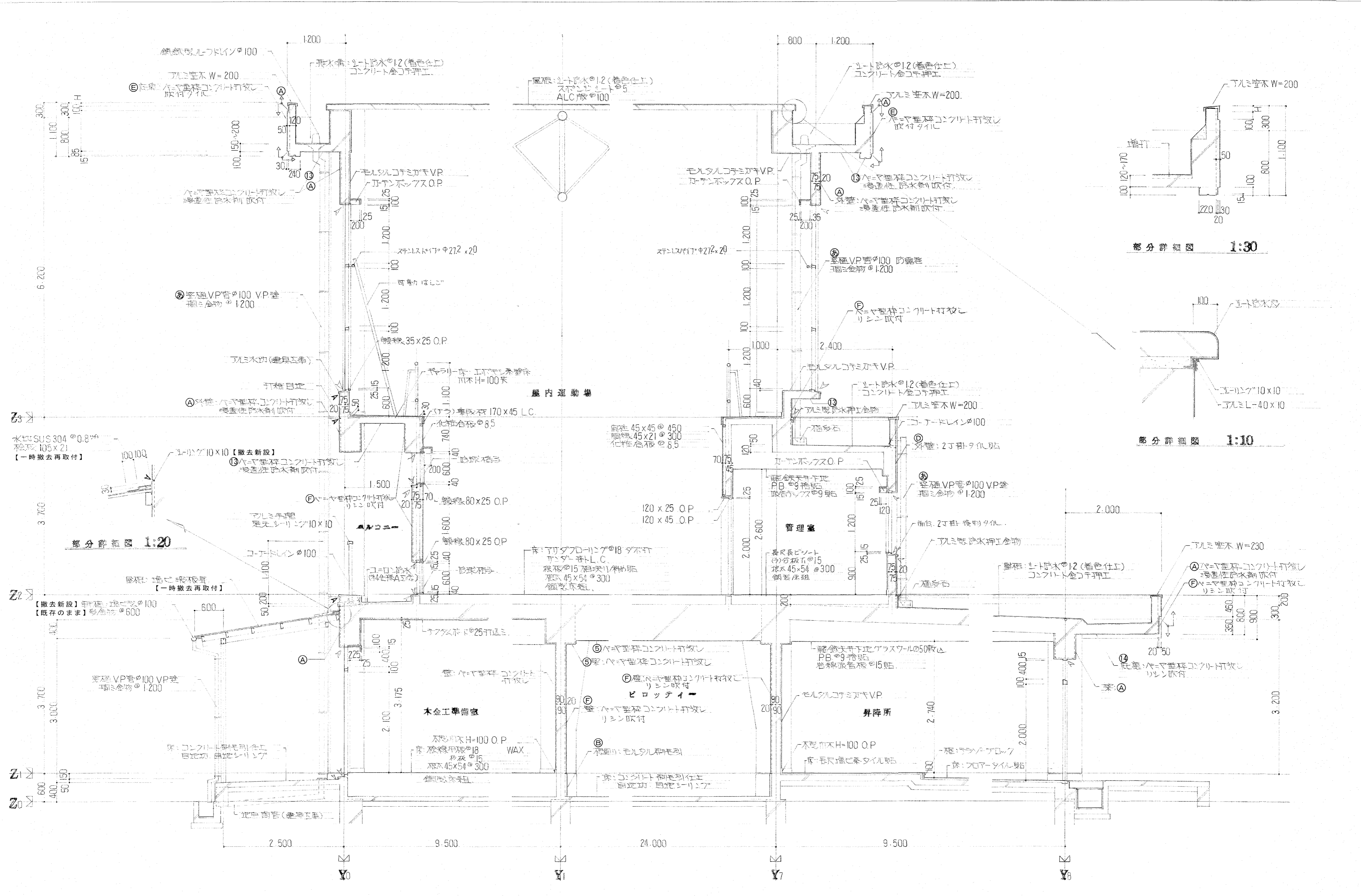


① 詳細図 1:10

※ > : シリング 打替えを示す。
 ※ 7A: 笠木、手摺、EXJは、既存のままとする。
 ※ 外壁面既存サッシ廻りシリング MS-2(10×10)二重水切り共、【撤去・新設】とする。
 ※ 目地シリング PS-2(15×15)たてよこ共、Z1目地シリング PS-2(20×10) 【撤去・新設】とする。
 ※ (文*)、【文字】の無いものは、既存のままとする。

高知市 都市建設部 公共建築課

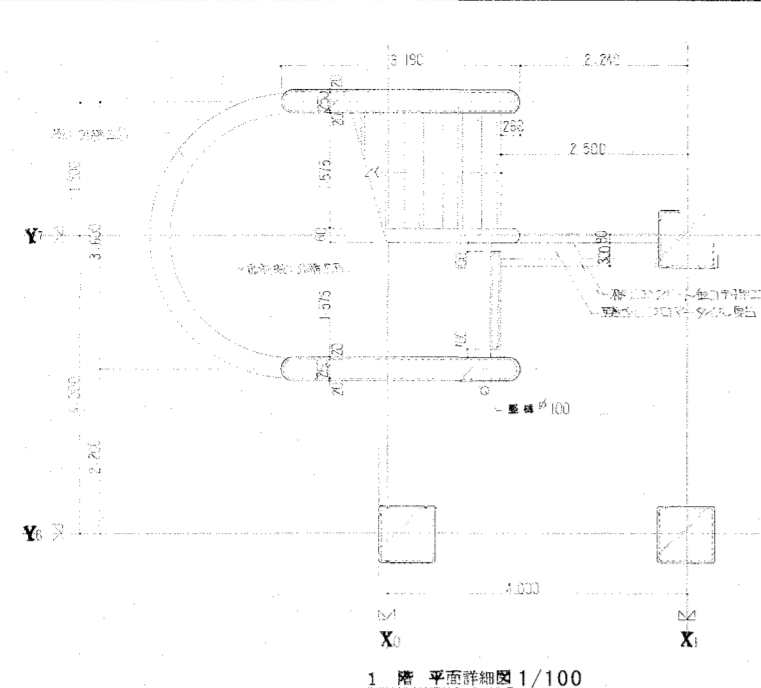
工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事	和	田	濱	松	A-29
図面名 南舎矩計図3	28.7	縮尺	1 / 50	作図	令和8年 2月 日



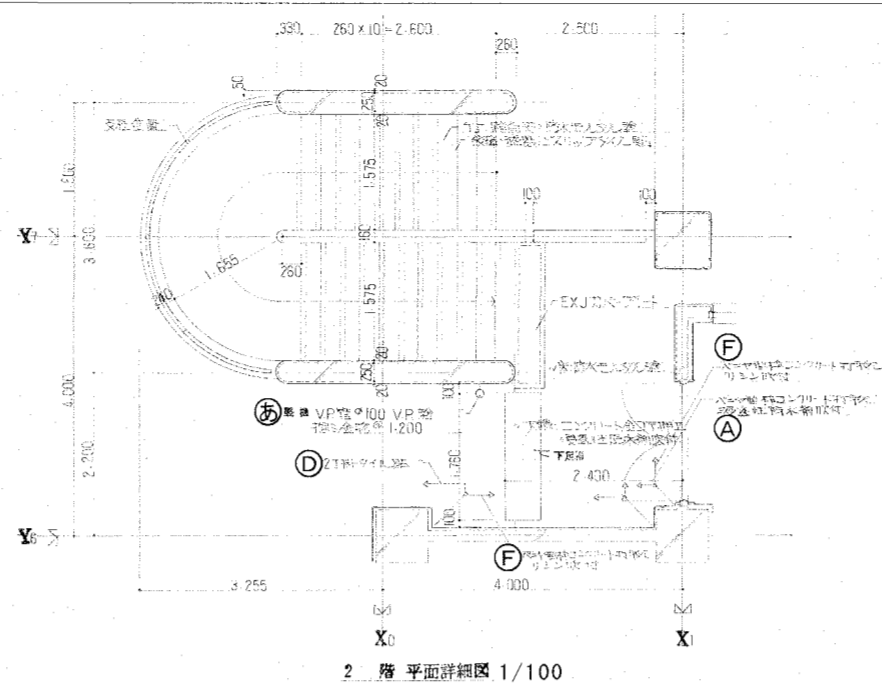
※ > シリング 打替えを示す。
 ※ 7A3窓木、手摺、EXJは、既存のままとする。
 ※ 外壁面既存サッシ廻りシリング MS-2(10×10)二重水切り共、【撤去・新設】とする。
 ※ 目地シリング PS-2(15×15)たてよこ共、Z1目地シリングPS-2(20×10)【撤去・新設】とする。
 ※ (※)、【文字】の無いものは、既存のままとする。

高知市 都市建設部 公共建築課

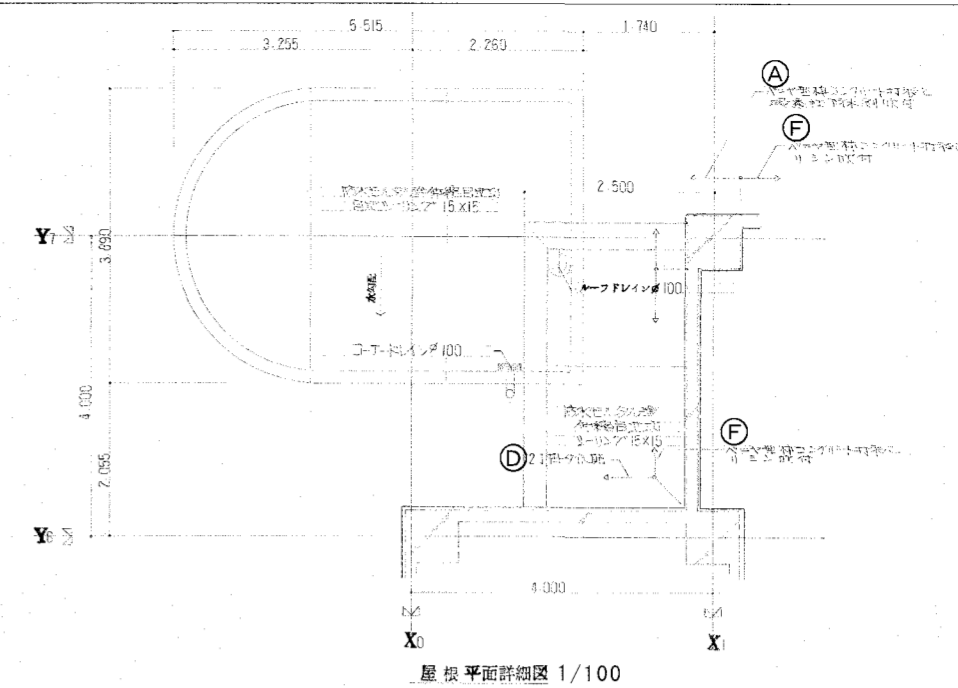
工事名	一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事	係長	和 田	課長補佐	濱 口	課長	松 本	図面番号	A-30
図面名	屋内運動場矩計図1	縮尺	1 / 50	作図	令和8年 2月 日				



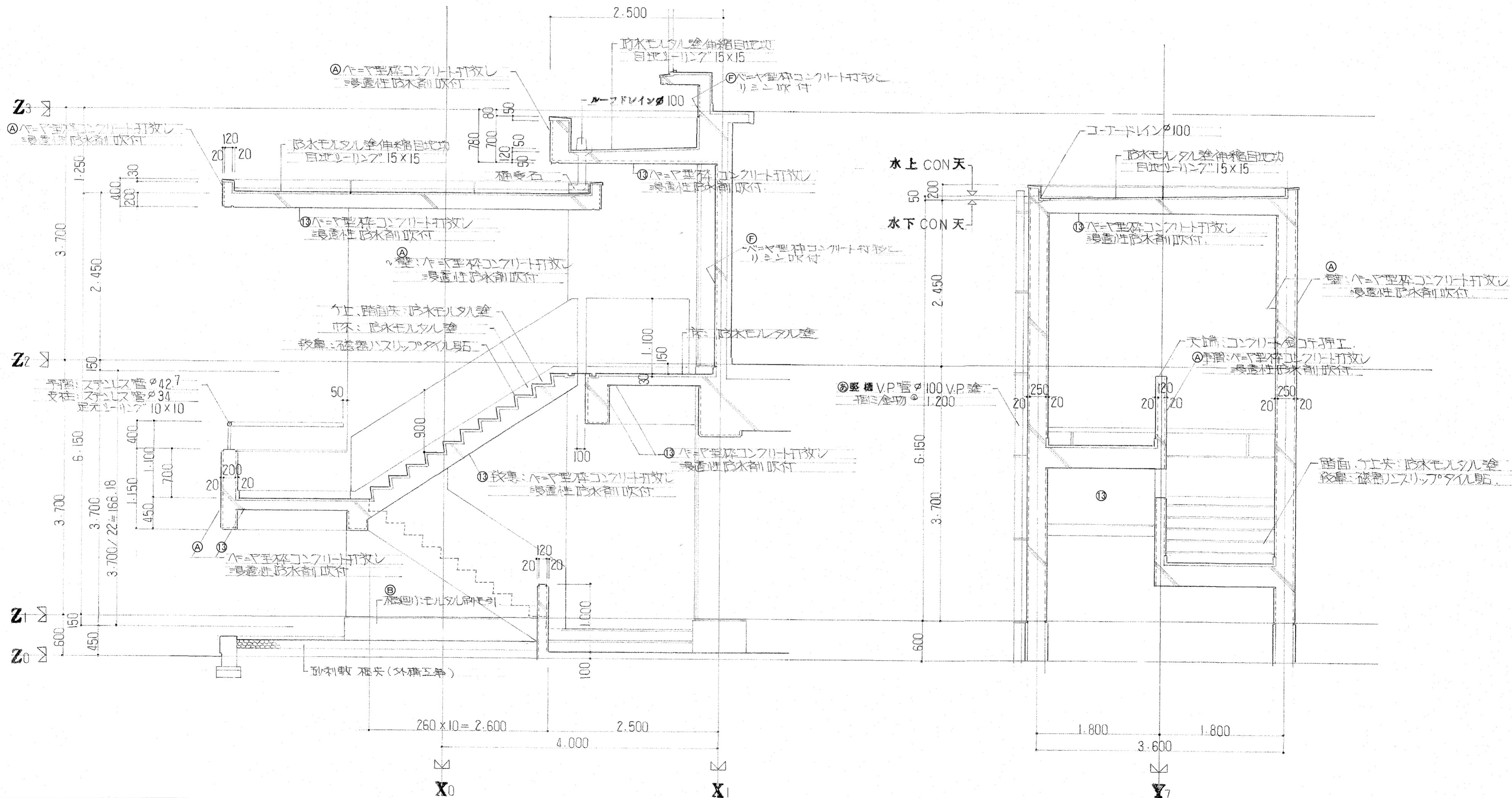
1階 平面詳細図 1/100



2階 平面詳細図 1/100



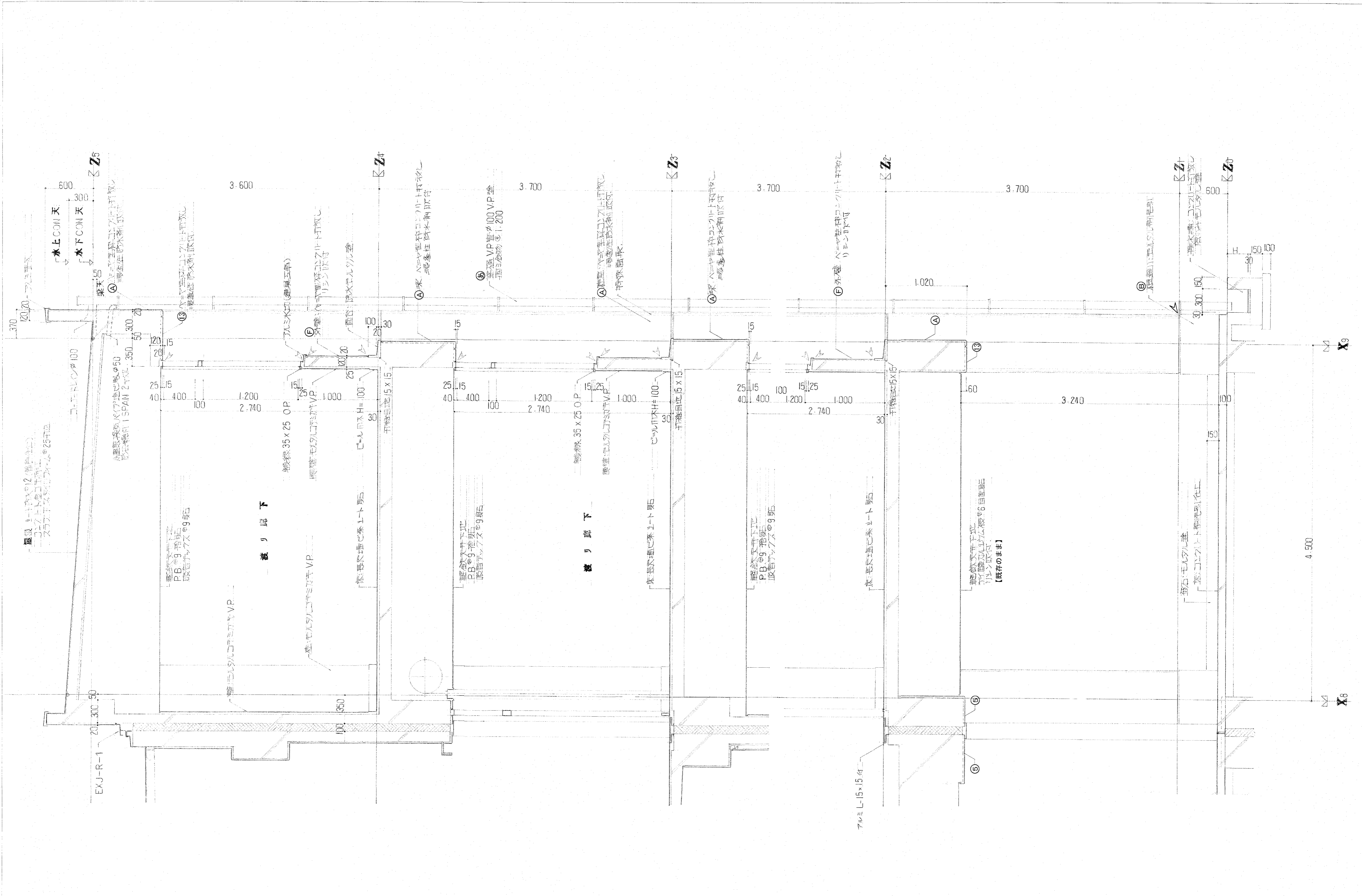
屋根 平面詳細図 1/100



※ > : シーリング 打替えを示す。
 ※ 7mm笠木、手摺、EXJは、既存のままとする。
 ※ 外壁面既存かつ廻りシーリング MS-2(10×10)二重水切り共、【撤去・新設】とする。
 ※ 目地シーリング PS-2(15×15)たよこ共、Z1目地シーリング PS-2 (20×10) 【撤去・新設】とする。
 ※ (文字)、【文字】の無いものは、既存のままとする。

高知市 都市建設部 公共建築課

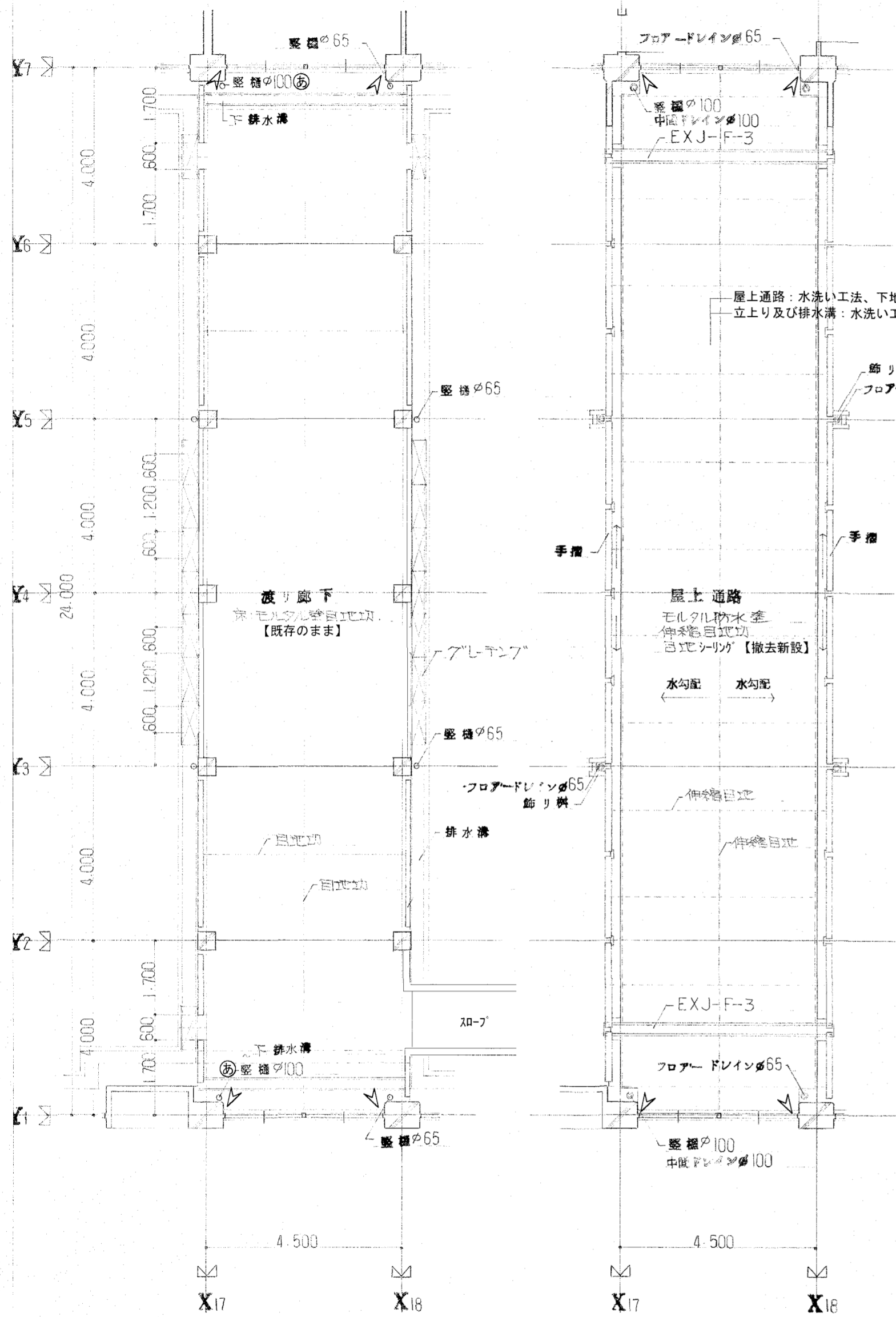
工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事	(和)	(田)	(濱)	(松)	A-32
図面名 屋内運動場屋外階段平面図・断面図	縮尺	1/50 1/100	作図	令和8年 2月 日	



※ ∇ : シリング打替えを示す。
 ※ 7mm板木、手摺、EXJは、既存のままとする。
 ※ 外壁面既存物砂りシリング MS-2(10×10)二重水切り共、【撤去・新設】とする。
 ※ 目地シリング PS-2(15×15)たてよこ共、Z1目地シリング PS-2(20×10) 【撤去・新設】とする。
 ※ $\text{\textcircled{A}}$ 、【文字】の無いものは、既存のままとする。

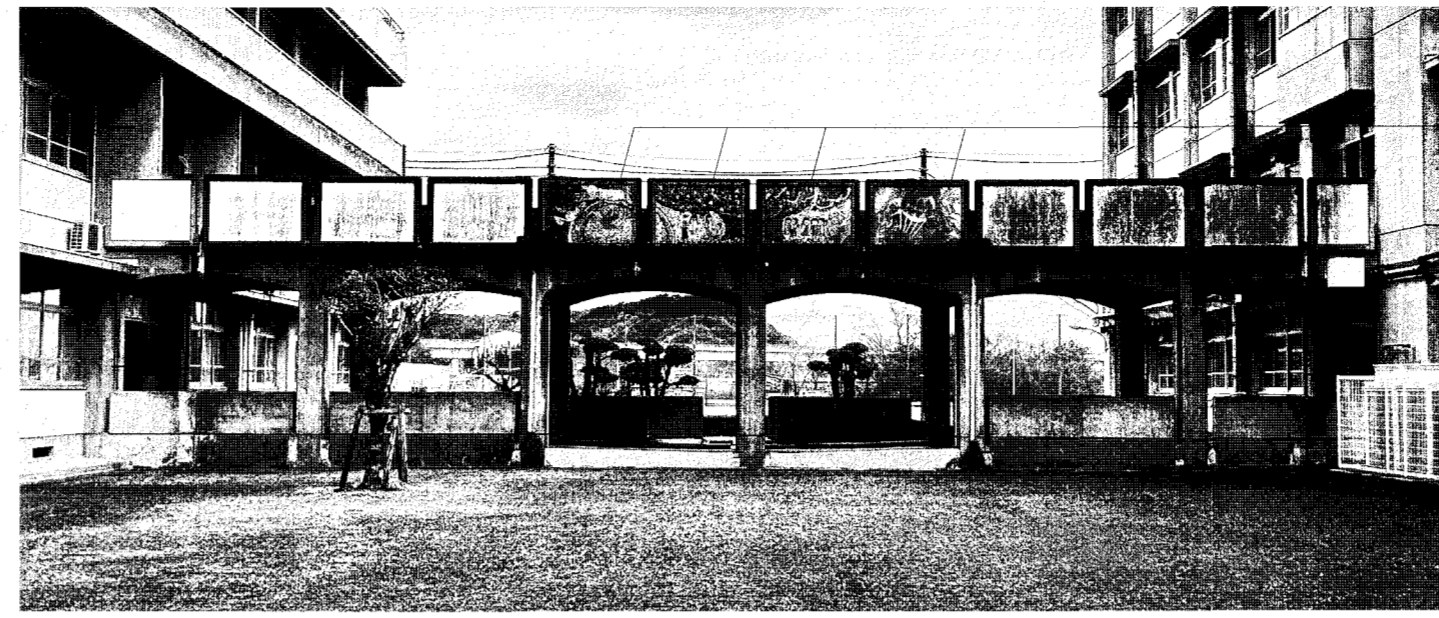
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事	係	和田	係長	田中	課長補佐	宮本	課長	松本	図面番号	A-33
図面名	渡り廊下1矩計図	縮尺	1 / 30	作図	令和8年	2月	日				

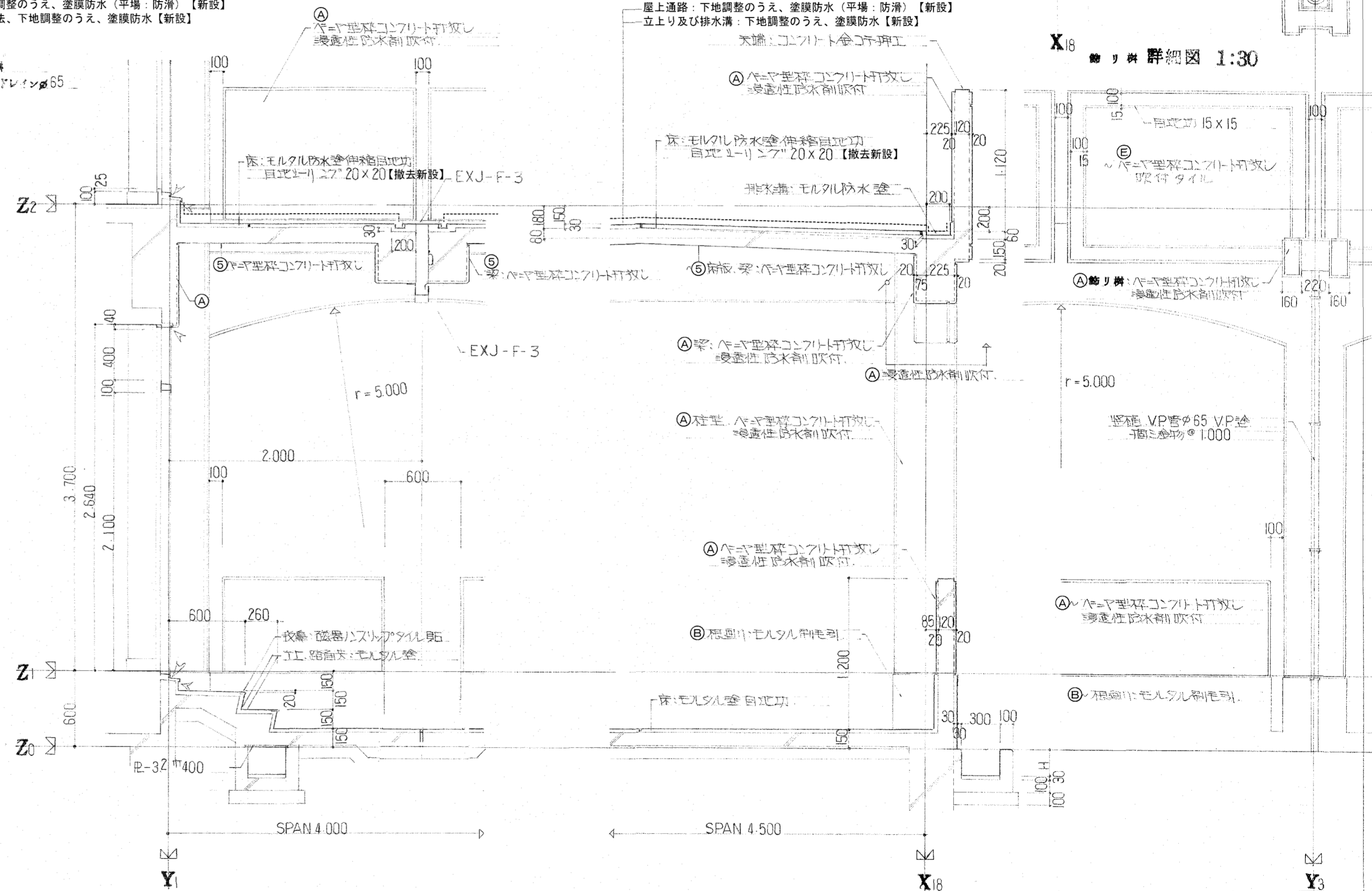


1階平面図 1:100

屋上平面図 1:100



ベニ型枠コンクリート打放し吹付4ヶ所、4ヶ所改修対象外

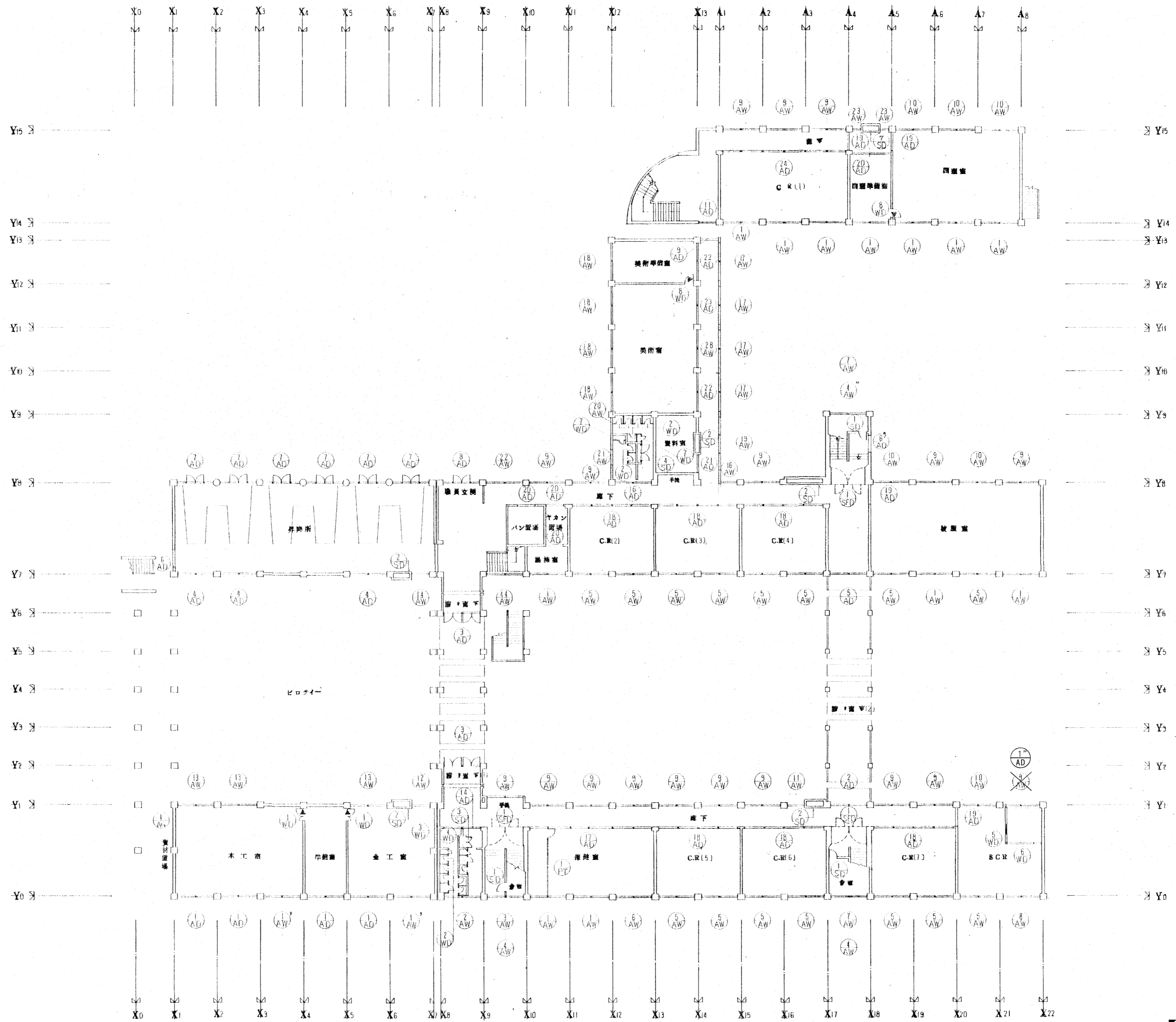


矩計図 1:30

※ > : シリング 打替えを示す。
 ※ 7脚型笠木、手摺、EXJは、既存のままとする。
 ※ 外壁面既存サッシ廻りシリング MS-2(10×10)二重水切り共、【撤去・新設】とする。
 ※ 目地シリング PS-2(15×15)たてよこ共、Z1目地シリングPS-2(20×10) 【撤去・新設】とする。
 ※ 文字、【文字】の無いものは、既存のままとする。

高知市 都市建設部 公共建築課

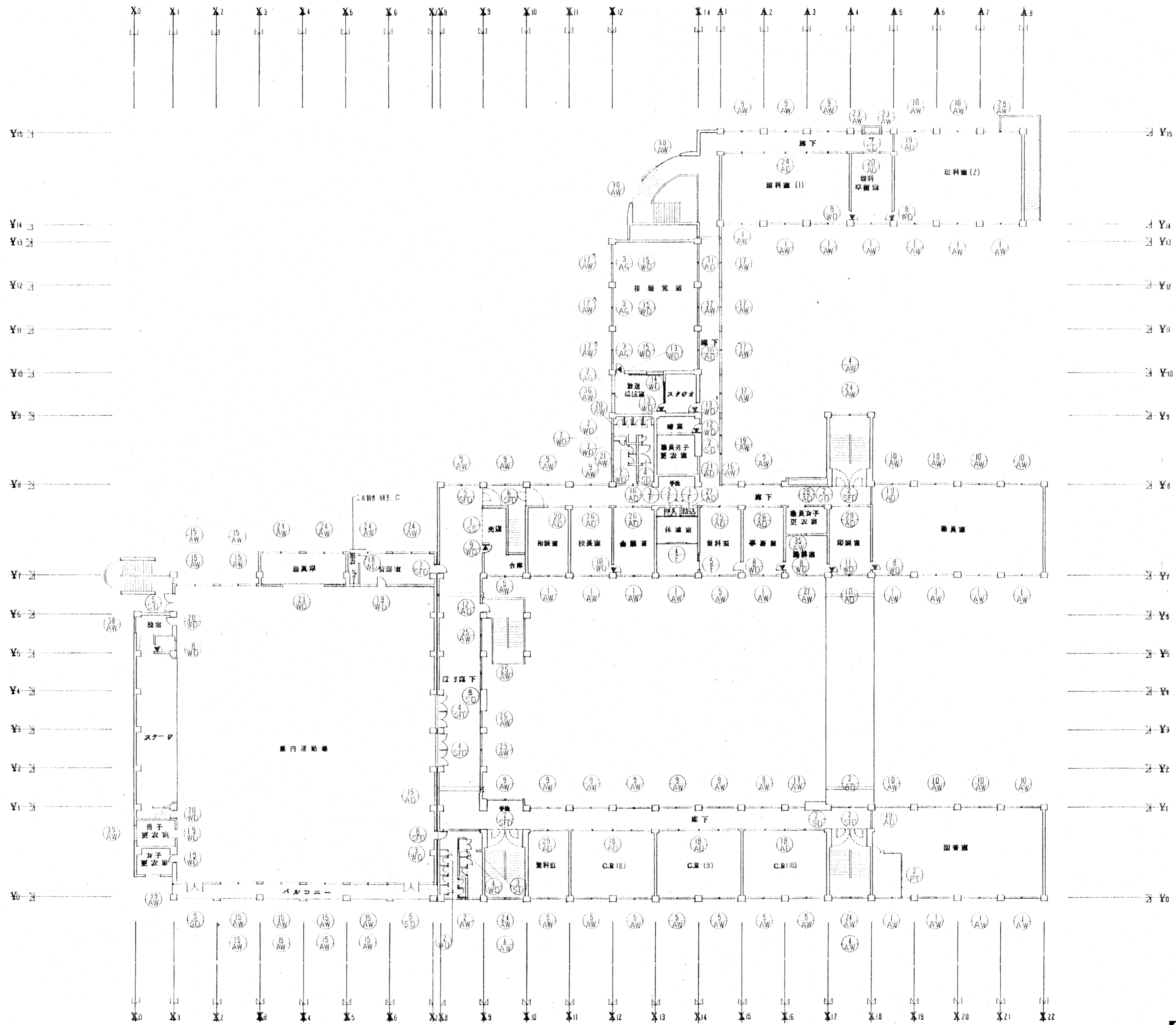
工事名	一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事	係長	和	課長補佐	田	課長	濱	図面番号	A-34
図面名	渡り廊下2矩計図	縮尺	1 / 30	作図	令和8年	2月	日		



1 階 建具記号表

【 参考図 】

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事					A-35
図面名		縮尺	作図		日		
1階建具位置図【参考図】		1 / 300	令和8年 2月				



2階 器具記号表

【 参考図 】

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事					A-36
図面名 1階建具位置図【参考図】	縮尺	1 / 300	作図	令和8年 2月 日	



【 参考図 】

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事					A-37
図面名	縮尺	作図			日
3階建具位置図【参考図】	1 / 300	令和8年	2月		

番号 (AD)	2段2連引違り戸 巾倉 4ヶ所	全戸 巾倉 2ヶ所	3 AD	散板し欄周付2連両開き戸 流り廊下(1) 2ヶ所	4 AD	2段2連引違り戸 巾倉 3ヶ所
	1 AD			2 AD		7 AD
姿 寸法						
見込材種	A (木金工標準窓枠 F)		7>A B, 下 F		A	
建具金物	附属金物一式、上下リフトφ2、上下リフト切 w=90、 アルミサッシL-15 3ヶ所、下板はステンレスアングル 15×15付		附属金物一式、上下リフトφ2、上下リフト切、取手(1=7/T-7150)4ヶ所、 アルミサッシL-15 3ヶ所、下板はステンレスアングル 15×15付		附属金物一式、上下リフトφ2、上下リフト切 w=90、 アルミサッシL-15 3ヶ所、下板はステンレスアングル 15×15付	
其ノ他			下板はステンレスアングル 15×15付			
番号 符号	5 AD	2段2連引違り戸 巾倉 1ヶ所	6 AD	6 AD	7 AD	8 AD
姿 寸法						
見込材種	A		上 B、下 F		全戸	
建具金物	附属金物一式、上下リフトφ2、上下リフト切 w=90、 アルミサッシL-15 3ヶ所、下板はステンレスアングル 15×15付		附属金物一式、上下リフトφ2、上下リフト切 w=90、150(各1ヶ所)、 アルミサッシL-15 3ヶ所		附属金物一式、上下リフトφ2、上下リフト切、取手(1=7/T-7150)2ヶ所、 アルミサッシL-15 3ヶ所	
其ノ他					アルミ線輪、35×25	
番号 符号	9 AD	2段引違り戸 巾倉 1ヶ所	10 AD	11 AD	12 AD	
姿 寸法						
見込材種	A		A		B	
建具金物	附属金物一式、上下リフトφ2、上下リフト切 w=90、 アルミサッシL-15 3ヶ所、下板はステンレスアングル 15×15付		附属金物一式、上下リフトφ2、上下リフト切 w=150、 アルミサッシL-15 3ヶ所、下板はステンレスアングル 15×15付		附属金物一式、上下リフトφ2、上下リフト切 w=60、 ドアチャック、アルミサッシL-15 3ヶ所	
其ノ他						
建具特記仕様						
(1) 特記仕様 (4ヶ所) 建具工事の項 参照。 (2) 製作に当たっては花工図を作成し、建具の前記を照し、製作する事。 (3) 附属金物一式の取付は、建具工事の項を参照し、金物取付及び 家板補強は、建築工事とする。 (4) 建具金物は、見本機出しの上決定する。(特記無き限り上下リフトとする。) (5) ナット・ナットは、平二、目録、三輪、YKKとする。 (6) アルミサッシL-15は、L-15×15、上下リフトは、SUS-304とする。 (7) 錠は可能な限り、金具製建具、不要建具に共通したタイプとする。 (8) アルミサッシL-15の色調は、建具の色調に合わせる。 (9) 外装カラーの塗入は、内装と同色とする。下板、取手は別記の仕様 を参照し、代金1-1を参照する。 (10) 不要建具の補修は、取付とせず。 (11) 出入口の取付、取付は、SUS-304 φ2加工とする。 (12) 自由開閉の欄 氏例。 A---建具70-Tφ3 B---建具70-Tφ5 C---建具70-Tφ6.8 D---建具70-Tφ130×190×95 E---建具70-Tφ4 F---建具70-Tφ6.8 (A) アルミ建具特記仕様 一次書						

【 参考図 】

番号 13 AD	数量 1	西向き戸 中倉1ヶ所	14 AD	数量 2	2連引違い戸 南倉3ヶ所	15 AD	数量 1	同左 南倉1ヶ所	16 AD	数量 1	同左 中倉4ヶ所
図面 寸法											
見込 窓 器具 その他	B 附属金物一式 (上:チェーン(ストロブ付)、フラスコ蓋、シリンドラロック錠、ステンレス水栓 W=90、アンブレビス4角、下枠ステンレス)		E 附属金物一式、ステンレス敷居φ20、引戸錠 (アルミガラリ)、アンブレビス3角、アルミ細鉄 25x60、1階のみ下枠はステンレスアンガル 15x15付		同左		同左				
番号 17 AD	数量 1	2段6連引違い戸 南倉1ヶ所					1 AD	数量 1	FIX付き2枚引込み心ガ-戸引付き (3方ガ-工法) 手動ド-7		
図面 寸法											
見込 窓 器具 その他	E, F, E 附属金物一式、ステンレス敷居φ20、引戸錠 (アルミガラリ)、アルミアンブレビス3角 (両面)、1階のみ下枠はステンレスアンガル 15x15付						7&3製 学校用強化透明ガ- t=4.0 7&3x3mm シリンドラ錠 SUS引手L=600 その他附属金物一式				
番号 18 AD	数量 1	2段4連引違い戸 南倉14ヶ所、中倉12ヶ所	19 AD	数量 1	2段2連引違い戸 北倉3ヶ所、中倉3ヶ所、南倉2ヶ所	20 AD	数量 1	同左 北倉2ヶ所、中倉4ヶ所			
図面 寸法											
見込 窓 器具 その他	E, A, F, E 附属金物一式、ステンレス敷居φ20、引戸錠、アルミアンブレビス3角、1階のみ下枠はステンレスアンガル 15x15付				E, A, F, E 附属金物一式、ステンレス敷居φ20、引戸錠、アルミガラリ、アルミアンブレビス3角、1階のみ下枠はステンレスアンガル 15x15付		同左				
<p>[A] アルミ建具特記仕様</p> <ol style="list-style-type: none"> 強度 240 MPa以上、水圧 35 MPa以上。 防犯性能 (P1) 見込 70%、枝組 アルミシルバー。 換気扇枠 → アルミパネルφ3 シルバー。 出入口扉パネル → アルミパネルφ3 カラー。 アミド → AFP/LK 可相。 相違の基本は標準通りとし、(ノン-ラ-者を除く) エで完全に正水したものを。 組立時の変形 歪に耐える様、取込、中取、脚取の取付時に補強取付可相。 <p>(14 AD) ~ (32 AD) (34 AD) ~ (36 AD) 見込 70、アルミ同仕切サッシ、メラミンフラッシュ (黒アルミ)。</p> <p>(8) 敷居上に自然曝露の心配を防止の考慮、垂れに立りの水平取りの補強としたもの、35MPa以上。</p>											

【 参考図 】

番号 符号	数量 AW/AW	2段2連引違窓 北窓14ヶ所、中舎12ヶ所、南舎6ヶ所	2 AW	同左 南舎4ヶ所	3 AW	2連引違窓 南舎1ヶ所	4 AW	FIX窓 (ガラスプロップ) FIX窓 (学校用強化ガラス) 南舎6ヶ所 中舎4ヶ所
窓図								
寸法	1.800 70 1.800 3.670		1.775 70 1.775 3.620		1.800 70 1.800 3.670		3.670	
見込	A, 両2ヶ所(保健室) E		C		A		100%	
窓装	A		A		A		D	
建具	附属金物一式 アルミ水切 W=90		附属金物一式 アルミ水切 W=90		附属金物一式 ステンレス水切 W=90 アルミ水切 W=90		附属金物一式 アルミ水切 W=90	
其ノ他	アルミアンクルピース 4方		アルミ額縁 25x60		アルミアンクルピース 3方、下枠ステンレスφ2		アンクルピース 4方	
番号 符号	数量 AW	2段2連引違窓 中舎24ヶ所、南舎27ヶ所	6 AW	同左 南舎1ヶ所	7 AW	2連引違窓 中舎1ヶ所、南舎1ヶ所	8 AW	2段2連引違窓 南舎1ヶ所
窓図								
寸法	1.800 70 1.800 3.670		1.800 70 1.800 3.670		1.800 70 1.800 3.670		1.800 70 1.800 3.670	
見込	A		A		A		A	
窓装	A		A		A		A	
建具	附属金物一式 アルミ水切 W=90		附属金物一式 ステンレス水切 W=90 アルミ水切 W=90		附属金物一式 アルミ水切 W=90		附属金物一式 ステンレス水切 W=90 アルミ水切 W=90	
其ノ他	アルミアンクルピース 4方		アルミアンクルピース 4方、下枠ステンレスφ2		アルミアンクルピース 4方		アルミアンクルピース 3方、下枠ステンレスφ2	
番号 符号	数量 AW	2段2連引違窓 北舎6ヶ所、中舎24ヶ所、南舎41ヶ所	10 AW	同左 北舎5ヶ所、中舎7ヶ所、南舎5ヶ所	11 AW	2段引違窓 中舎2ヶ所、南舎4ヶ所	12 AW	引違窓 南舎1ヶ所
窓図								
寸法	1.800 70 1.800 3.670		1.800 70 1.800 3.670		1.800 70 1.800 3.670		1.800	
見込	A		A		同左		A	
窓装	A		A		同左		A	
建具	附属金物一式 アルミ水切 W=90 両1ヶ所アルミ水切 W=380		附属金物一式 アルミ水切 W=90		同左		附属金物一式 アルミ水切 W=90	
其ノ他	アルミアンクルピース 4方		アルミアンクルピース 4方		同左		アルミアンクルピース 4方	

【 参考図 】

番号 符号	13 AW	FIX付引違窓 南倉3ヶ所	14 AW	引違窓 中倉1ヶ所	15 AW	2連引違窓 屋内運動場12ヶ所	16 AW	2段引違窓 中倉2ヶ所
	窓図 寸法							
見込材種 塗装 硝子 建具金物 其ノ他	A 附属金物一式 アルミ水切 W=90 アルミアンブレビス 4方		A 附属金物一式 アルミ水切 W=90 アルミアンブレビス 4方		A 附属金物一式 アルミ水切 W=120 アルミアンブレビス 4方		A 附属金物一式 アルミ水切 W=90 アルミアンブレビス 4方	
番号 符号	17 AW	2段2連引違窓 中倉8ヶ所	18 AW	同左 中倉4ヶ所	19 AW	2棟3連引違窓 中倉2ヶ所	20 AW	FIX付引違窓 中倉4ヶ所
	窓図 寸法							
見込材種 塗装 硝子 建具金物 其ノ他	A 附属金物一式 アルミ水切 W=90 アルミアンブレビス 4方		同左		同左		C 附属金物一式 アルミ水切 W=90 アルミ縦線 25×60	
番号 符号	21 AW	FIX付引違窓 中倉4ヶ所	22 AW	2段2連引違窓 中倉1ヶ所	23 AW	FIX窓 北倉4ヶ所	24 AW	2連引違窓 中倉4ヶ所, 南倉4ヶ所, 屋内運動場4ヶ所
	窓図 寸法							
見込材種 塗装 硝子 建具金物 其ノ他	C 附属金物一式 アルミ水切 W=90 アルミ縦線 25×60		A 附属金物一式 アルミ水切 W=90, ステンレス水切 W=90 アルミアンブレビス 3方, 下掛ステンレス 2		A 附属金物一式 アルミ水切 W=90 アルミアンブレビス 4方		A 内1ヶ所C 建具記号表参照 附属金物一式 アルミ水切 W=90 (屋内運動場4ヶ所を除く) アルミアンブレビス 4方	

【 参考図 】

番号 符号	25 AW	2段2連引違窓 張り廊下(1) 9ヶ所	26 AW	2段引違窓 張り廊下 3ヶ所	27 AW	2段2連引違窓 中倉1ヶ所	28 AW	同左 中倉1ヶ所
窓 寸法								
見込 窓 材種	A		同左		同左		E A F E	
建具 金物 其 他	附属金物一式 アルミ水切 W=90 アルミアンクルボス 4方		同左		同左		附属金物一式 アルミアンクルボス 4方両面	
番号 符号	29 AW	2段2連引違窓 北倉1ヶ所	30 AW	FIX窓 (学校用強化ガラス) 北倉2ヶ所	31 AW	2段2連引違窓 中倉10ヶ所、南倉9ヶ所	32 AW	同左 中倉1ヶ所
窓 寸法								
見込 窓 材種	A		100		A		同左	
建具 金物 其 他	附属金物一式 アルミ水切 W=90 ステンレス水切 W=90 アルミアンクルボス 4方 下枠ステンレスφ2		附属金物一式 アルミ水切 W=170 アルミアンクルボス 4方		附属金物一式 アルミ水切 W=90 ステンレス水切 W=90 アルミアンクルボス 4方 下枠ステンレスφ2		同左	
番号 符号	33 AW	2段2連引違窓 南倉1ヶ所	34 AW	同左 中倉1ヶ所	35 AW	引違窓 中倉1ヶ所	36 AW	2段2連引違窓 中倉1ヶ所
窓 寸法								
見込 窓 材種	A		A		E		A	
建具 金物 其 他	附属金物一式 アルミ水切 W=90 アルミアンクルボス 4方		附属金物一式 アルミ水切 W=90 ステンレス水切 W=90 アルミアンクルボス 4方 下枠ステンレスφ2		附属金物一式 アルミアンクルボス 4方(両面)		附属金物一式 アルミ水切 W=90 アルミアンクルボス 4方 取合アルミφ1.5加工	

【 参考図 】

番号 記号	数量	37 AW	2段2窓引違い窓 中窓1ヶ所	38 AW	引違い窓 屋内運動場1ヶ所	39 AW	同左 屋内運動場2ヶ所	45 AW	2段2窓引違い窓 中窓6ヶ所
窓図									
寸法									
見込材種		上A, 下E		A	C	A			
塗装硝子									
建具金物		附属金物一式		附属金物一式 アルミ水切 W=90	附属金物一式 アルミ水切 W=90	附属金物一式 ステンレス水切 W=90			
其ノ他		アルミアンブレビス 4片 (両面)		アルミアンブレビス 4片	アルミアンブレビス 4片	アルミアンブレビス 3片			

番号 記号	数量	1 AG	図圧カラリ 中窓1ヶ所	2 AG	同左 中窓1ヶ所	3 AG	同左 中窓3ヶ所	4 AG	同左 中窓1ヶ所
窓図									
寸法									
見込材種									
塗装硝子									
建具金物		附属金物一式 アルミ水切 W=150		附属金物一式 アルミ水切 W=90		附属金物一式 アルミ水切 W=90		附属金物一式 アルミ水切 W=90	
其ノ他		アルミアンブレビス 4片 ステンレス網張		ステンレス網張		アルミアンブレビス 4片 ステンレス網張		ステンレス網張	

【 参考図 】

番号 符号	数量 40 AW	3段19連引違い窓 屋内運動場1ヶ所	41 AW	FIX付3段3連引違い窓 屋内運動場1ヶ所
姿 図 寸 法				
見込材種 種 類	B 窓 子 種 類 附 属 金 物 一 式 ア ル ミ 水 切 W=120 ア ル ミ ア ン グ ル レ ビ ス 4 方		B 窓 子 種 類 附 属 金 物 一 式 ア ル ミ 水 切 W=120 ア ル ミ ア ン グ ル レ ビ ス 4 方	
番号 符号	数量 42 AW	3段5連引違い窓 屋内運動場3ヶ所	43 AW	FIX窓 屋内運動場2ヶ所
姿 図 寸 法				
見込材種 種 類	B 窓 子 種 類 附 属 金 物 一 式 ア ル ミ 水 切 W=120 ア ル ミ ア ン グ ル レ ビ ス 4 方		F 窓 子 種 類 附 属 金 物 一 式	
番号 符号	数量 44 AW	FIX窓(ガラスブローワ) 中倉1ヶ所		
姿 図 寸 法				
見込材種 種 類	D 窓 子 種 類 附 属 金 物 一 式 ア ル ミ 水 切 W=120 ア ル ミ ア ン グ ル レ ビ ス 4 方		100%	

【 参考図 】

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	一宮中学校校舎・屋内運動場外壁改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	建具表7【参考図】	縮尺	1 / 60	作図	令和8年 2月 日	A-45